

**我孫子市子ども総合計画に係る意識調査  
調査結果報告書**

令和6年3月

我孫子市

# 目次

I 調査の概要 .....	1
1 調査の目的と方法等について .....	1
2 生活困難度について .....	2
3 当報告書の見方 .....	3
II 調査結果 .....	4
1 子ども本人 .....	4
2 保護者 .....	29
(1) 本人と子どもについて .....	29
(2) 子育て全般について .....	33
(3) お子さんについて .....	40
(4) 地域や友人・知人、社会との関係について .....	51
(5) 家庭の就労等について .....	56
(6) 現在の暮らしについて .....	64
(7) 子育てに関する情報や相談などについて .....	74

# I 調査の概要

## 1 調査の目的と方法等について

本調査は、令和7年度を初年度とする「第五次我孫子市子ども総合計画」の策定にあたり、日常生活や習慣、意識など、子育て・子どもの育ちに関する現状を把握し、基礎資料とするために、調査を実施するものです。

また、子どもの貧困対策に係る計画の策定にあたり、子どもがいる世帯の生活状況などの実態を把握することを目的とし、調査を実施しました。

### (1) 調査対象者

小学生児童及びその保護者、中学生生徒及びその保護者

### (2) 調査方法

WEB アンケートによるオンライン調査にて実施

### (3) 調査期間

令和6年1月9日～1月31日

### (4) 配付方法

学校を通じて配付

①小学5年生：996通、その保護者：996通

②中学2年生：943通、その保護者：943通

### (5) 回収結果

- ・児童票 1,645件（小学5年生：956件、中学2年生：679件、不明：10件）
- ・保護者票 904件（小学5年生の保護者：558件、中学2年生の保護者：346件）

## 2 生活困難度について

### (1) 判定基準について

本調査では、「千葉県子どもの生活実態調査」「国民生活基礎調査」を参考に、以下の3要素から子どもの生活困難度を「困窮層」、「周辺層」、「一般層」に分類しています。

<p>1. 低所得 〈基準額〉 141 万円</p>	<p>以下の方式で算出した各回答者の等価世帯所得が左記の基準を下回った世帯を「該当」とします。 等価世帯所得：世帯収入÷√世帯人員</p> <p>〈基準額の算出方法〉 「千葉県子どもの生活実態調査報告書（令和元年度）」の算出式に「令和4年国民生活基礎調査」の世帯所得の中央値および平均世帯人員を用いて、算出します。</p> <p>世帯所得の中央値 423 万円÷√平均世帯人員 2.25 人×50% =141 万円</p>
<p>2. 家計のひっ迫</p>	<p>保護者票において、問 26 で「支払えないことはなかった」以外に回答があった場合、「該当」とします。</p>
<p>3. 子どもの体験や所有物の欠如</p>	<p>保護者票において、問 27 で「していない（経済的に）」の回答があった場合、「該当」とします。</p>

上記の3つの要素について、該当する要素の数に応じて以下のとおり生活困難度を分類しました。

<p>①困窮層</p>	<p>2つ以上の要素に「該当」</p>
<p>②周辺層</p>	<p>いずれか1つの要素に「該当」</p>
<p>③一般層</p>	<p>いずれの要素にも「該当」しない</p>

なお、上記3要素について、無回答などで「該当」の判定が不能な要素があった場合は他の要素の「該当」状況によらず、無効としたため、生活困難度を算出できるサンプルは822件（保護者票ベース）となっています。また子どもの生活困難度はアンケートの管理番号を用いて、保護者票と紐づけたため、サンプルは694件となっています。

## (2) 判定結果について

保護者票における生活困難度の割合をみると、困窮層は約6%、周辺層は約11%となっています。

	保護者		子ども	
	件数	割合	件数	割合
①困窮層	55	6.7%	47	6.8%
②周辺層	95	11.6%	77	11.1%
③一般層	672	81.8%	570	82.1%
合計	822	100.0%	694	100.0%

	小学5年生		中学2年生	
	件数	割合	件数	割合
①困窮層	30	6.7%	17	7.0%
②周辺層	42	9.3%	35	14.4%
③一般層	379	84.0%	191	78.6%
合計	451	100.0%	243	100.0%

## 3 当報告書の見方

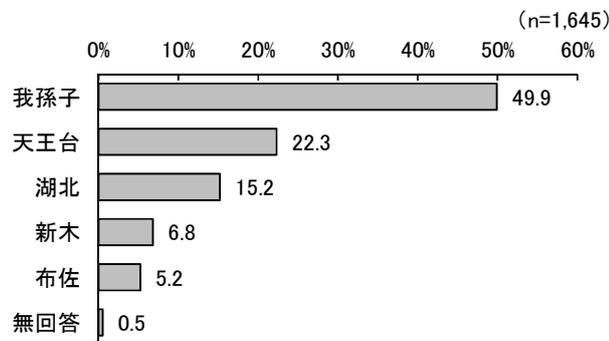
- 表中の「単一回答」とは、質問の回答肢から一つを選択、「複数回答」は回答肢から一つ以上を選択して回答する質問であることを表しています。
- グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表しています。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出しているため、四捨五入の関係で合計が100.0%にならない場合があります。なお、「複数回答」では合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計では性別・年齢といった質問の回答を回答者属性に設定し、属性ごとの回答の内訳を表しています。そのため、属性が得られなかった回答は対象外となるため、同じ質問であっても、単純集計とクロス集計の回答者数に差異が生じる場合があります。

## II 調査結果

### 1 子ども本人

問1 あなたがお住まいの地区はどちらですか。

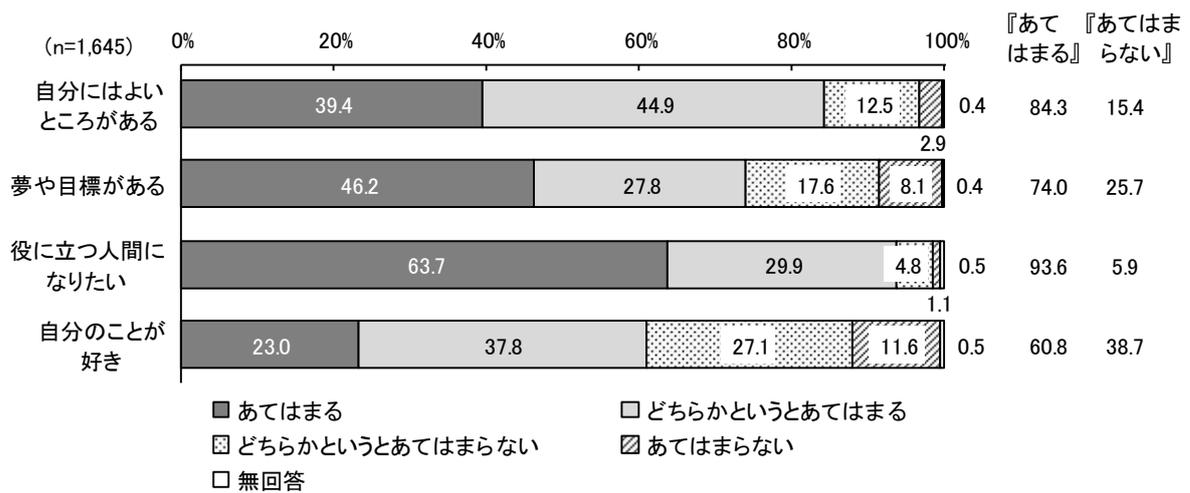
「我孫子」49.9%が最も多く、次いで「天王台」22.3%、「湖北」15.2%となっています。



問2 次のことは、どれくらいあてはまりますか。

『あてはまる』(=「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)は「役に立つ人間になりたい」93.6%が最も多く、次いで「自分にはよいところがある」84.3%、「夢や目標がある」74.0%となっています。

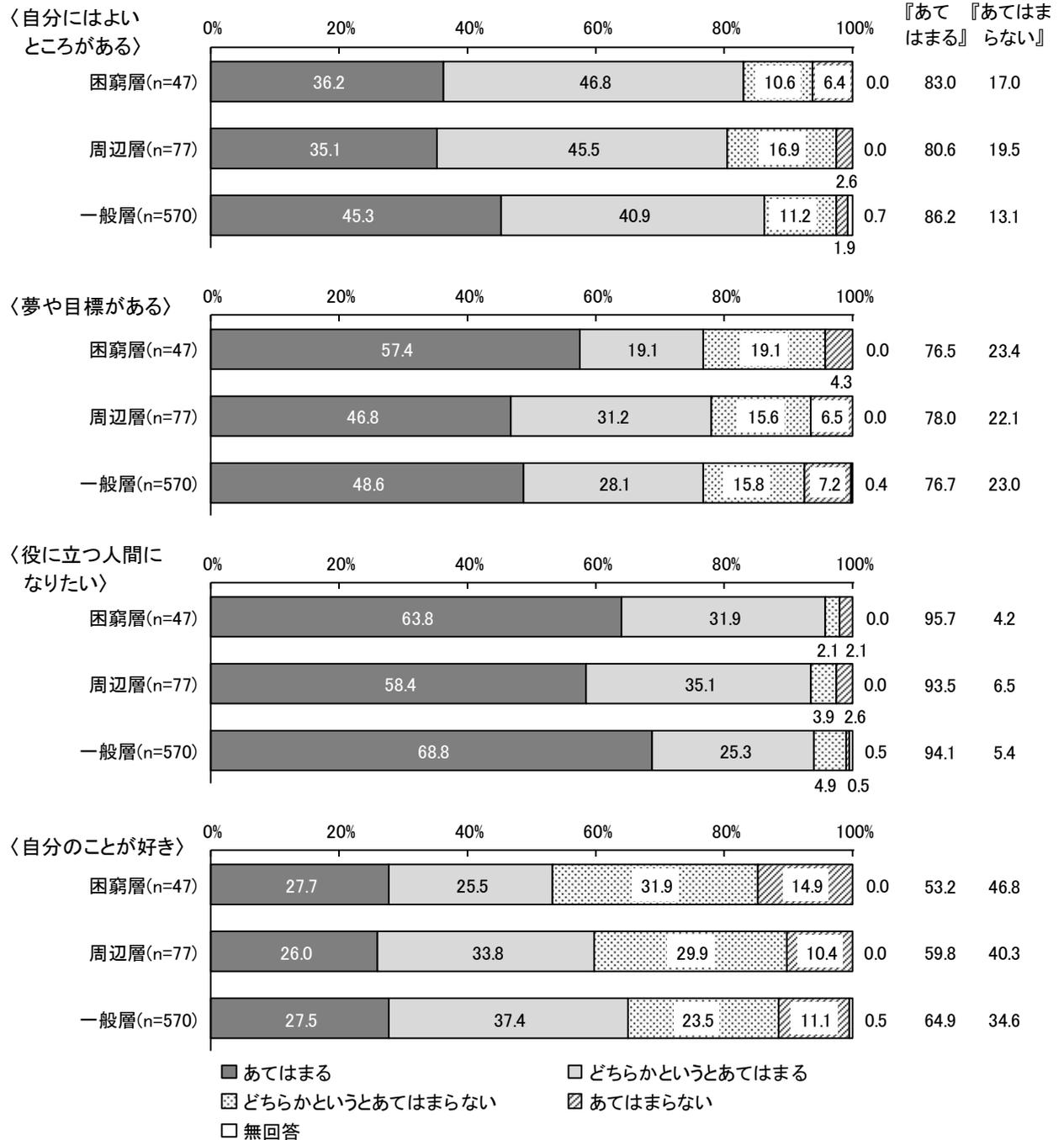
『あてはまらない』(=「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」)は「自分のことが好き」38.7%が最も多く、次いで「夢や目標がある」25.7%、「自分にはよいところがある」15.4%となっています。





## 【生活困難度別】

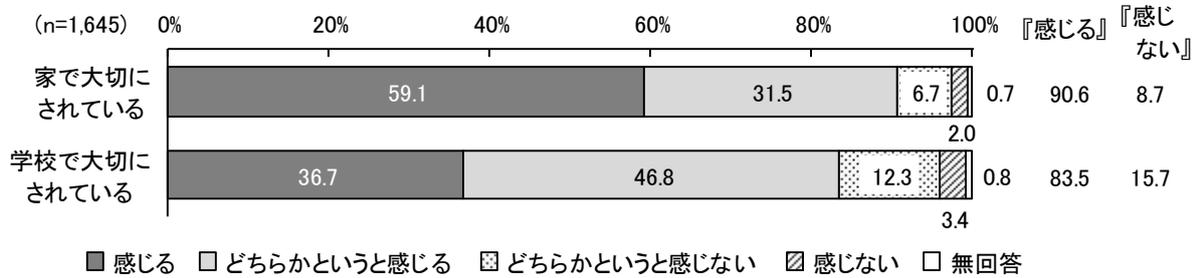
生活困難度別でみると、「自分にはよいところがある」や「自分のことが好き」の『当てはまらない』で困窮層、周辺層の方が一般層よりも多くなっています。特に「自分のことが好き」の『あてはまらない』は一般層が34.6%に対し、困窮層は46.8%となっています。



問3 ふだん生活している中で「みんなから大切にされている」と感じますか。

「家で大切にされている」では『感じる』(=「感じる」+「どちらかというと感じる」)が90.6%、「学校で大切にされている」では83.5%となっています。

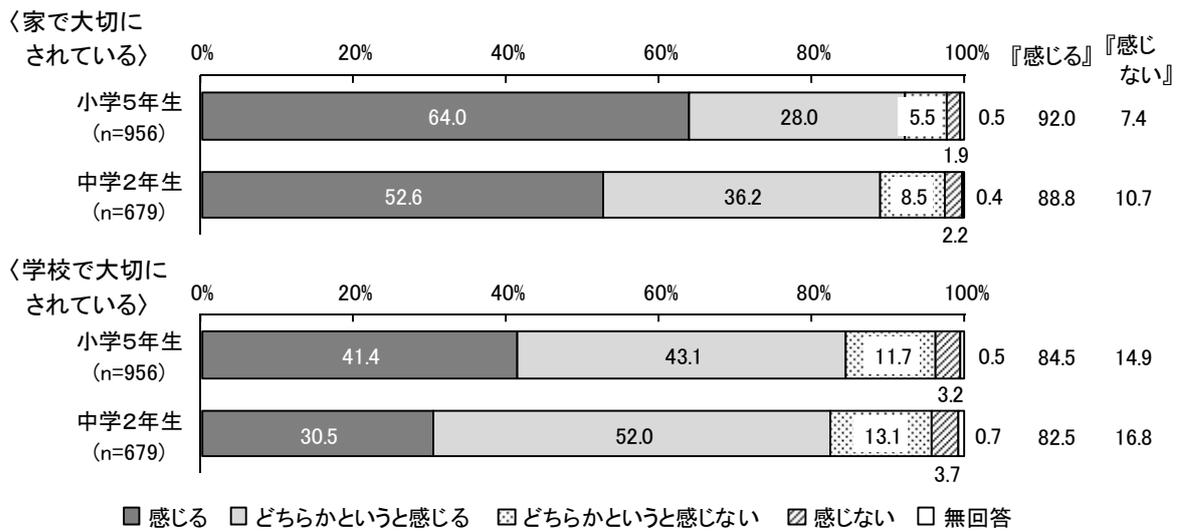
また、家で「感じる」59.1%に対して、学校で「感じる」は36.7%となっています。



【小中学生別】

小中学生別にみると、家、学校ともに『感じる』は中学生よりも小学生の方が多くなっています。

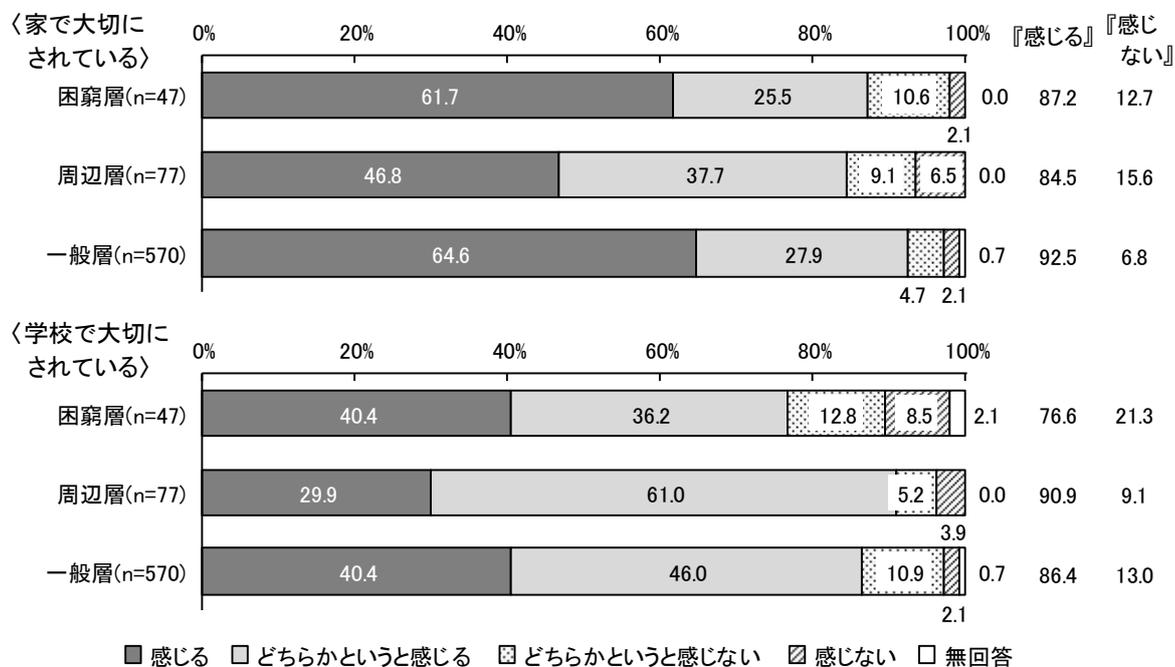
また家・学校ともに「どちらかというと感じる」については、小学生よりも中学生の方が多くなっています。



## 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、『感じない』(=「どちらかというと感じない」+「感じない」)は家では周辺層、学校では困窮層で多くなっています。

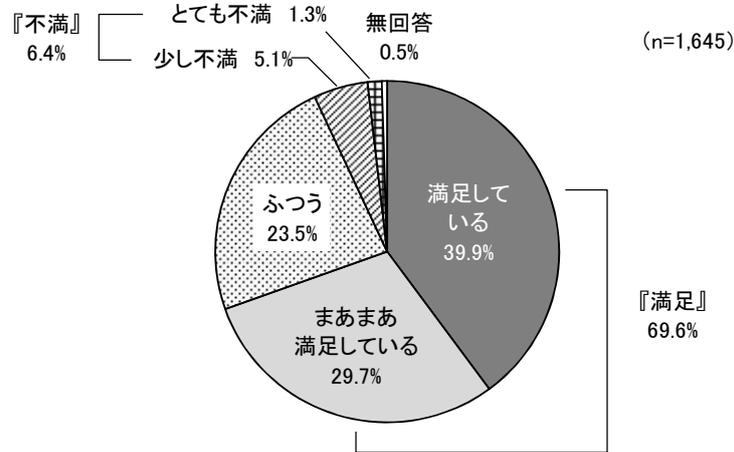
また『感じる』は家では一般層が最も多くなっていますが、学校では周辺層が最も多く、特に「どちらかというと感じる」が周辺層61.0%になっています。



問4 今の生活についてどう思いますか。

「満足している」39.9%が最も多く、次いで「まあまあ満足している」29.7%、「ふつう」23.5%となっています。

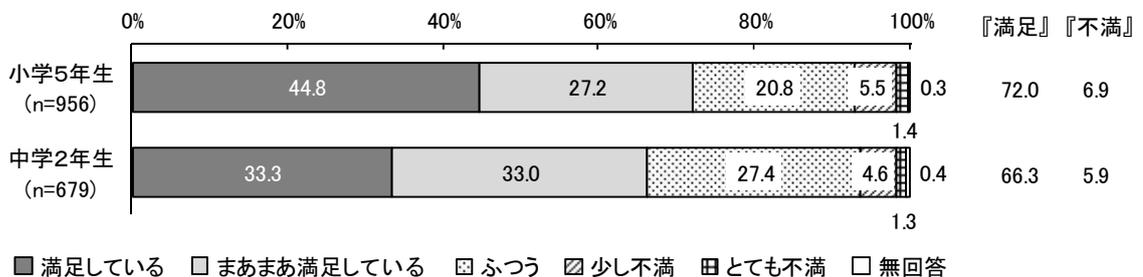
『満足』（＝「満足している」＋「まあまあ満足している」）69.6%、『不満』（＝「少し不満」＋「とても不満」）6.4%となっています。



【小中学生別】

小中学生別にみると、『満足』、『不満』ともに中学生より小学生の方が多くなっています。

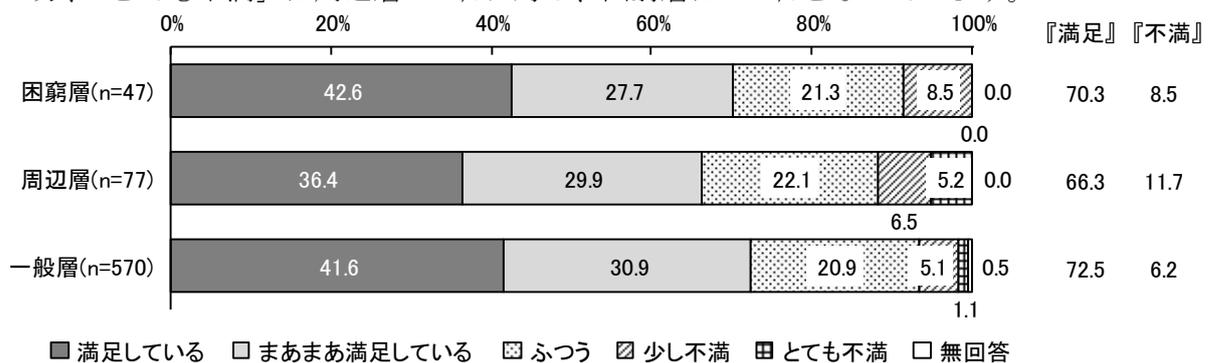
小学生では「満足」44.8%、「少し不満」5.5%が、中学生では「満足」33.3%、「少し不満」4.6%となっています。



【生活困難度別】

生活困難度別にみると、『満足』は一般層72.5%が最も多く、次いで困窮層70.3%、周辺層66.3%となっています。

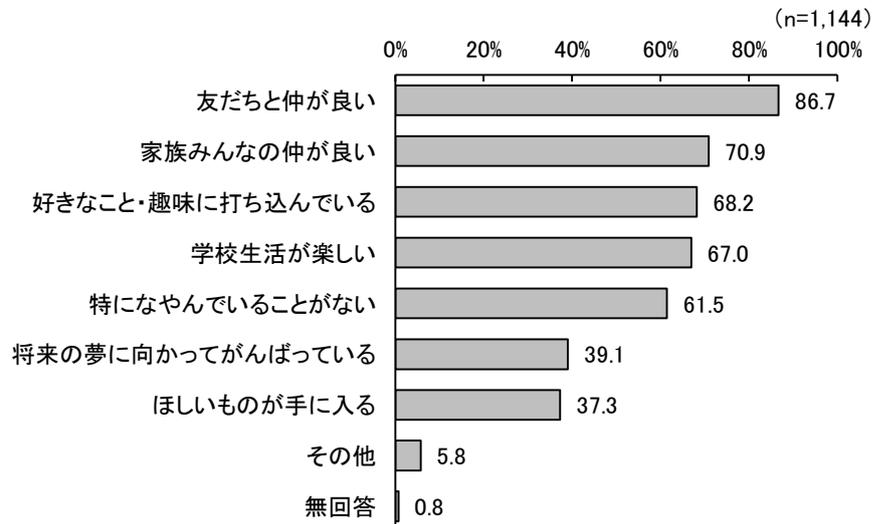
一方、「とても不満」は周辺層5.2%に対し、困窮層は0.0%となっています。



問4で「満足している」「まあまあ満足している」と回答した方

問4-1 満足しているまたはまあまあ満足していると思う理由として、あてはまるものをつくつでも選んでください。

「友だちと仲が良い」が 86.7%で最も多く、次いで「家族みんなの仲が良い」が 70.9%、「好きなこと・趣味に打ち込んでいる」が 68.2%、「学校生活が楽しい」が 67.0%となっています。



### 【小中学生・生活困難度別】

小中学生別にみると、ともに「友だちと仲が良い」が最も多くなっています。「好きなこと・趣味に打ち込んでいる」は中学生の方が多く、「将来の夢に向かってがんばっている」は小学生の方が多くなっています。

生活困難度別にみると、ともに「友だちと仲が良い」が最も多くなっています。次いで、困窮層と一般層では「家族みんなの仲が良い」、周辺層では「好きなこと・趣味に打ち込んでいる」が多くなっています。

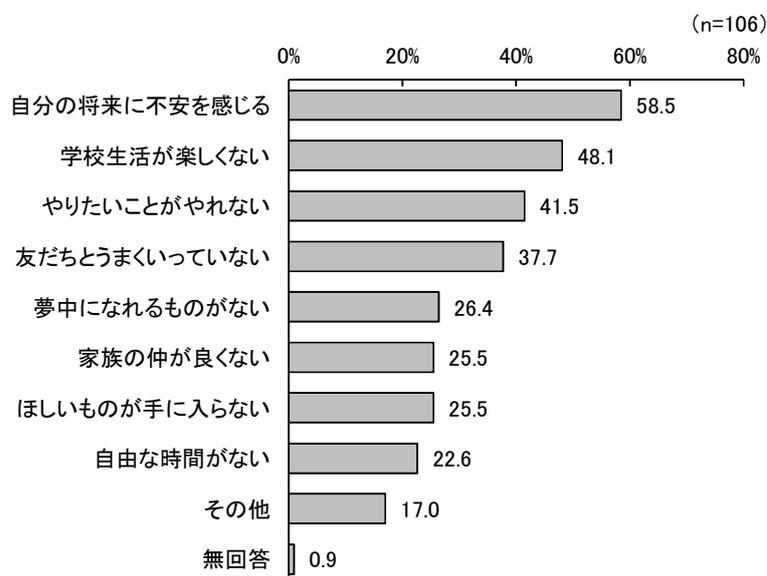
単位: %

	(n=)	特になやんでいることがない	家族みんなの仲が良い	友だちと仲が良い	学校生活が楽しい	好きなこと・趣味に打ち込んでいる	将来の夢に向かってがんばっている	ほしいものが手に入る	その他	無回答
小学5年生	688	60.6	72.7	88.1	68.9	63.8	45.6	37.2	8.3	0.9
中学2年生	450	62.4	68.4	85.3	64.0	74.9	29.3	37.8	2.0	0.7
困窮層	33	60.6	72.7	84.8	60.6	66.7	57.6	57.6	3.0	0.0
周辺層	51	56.9	62.7	92.2	64.7	66.7	39.2	29.4	7.8	2.0
一般層	413	60.5	74.1	89.6	68.5	67.6	42.4	41.4	6.5	0.2

問4で「少し不満」「とても不満」と回答した方

問4-2 少し不満またはとても不満と思う理由として、あてはまるものをいくつでも選んでください。

「自分の将来に不安を感じる」が 58.5%で最も多く、次いで「学校生活が楽しくない」が 48.1%、「やりたいことがやれない」が 41.5%となっています。



【小中学生・生活困難度別】

小中学生別にみると、ともに「自分の将来に不安を感じる」が最も多くなっています。「友だちとうまくいっていない」は中学生より小学生の方が多く、「家族の仲が良くない」では小学生より中学生の方が多くなっています。

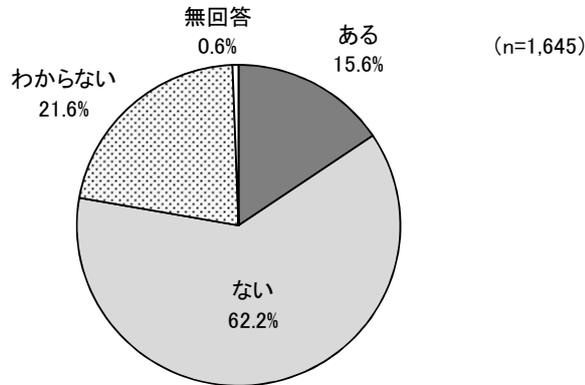
生活困難度別にみると、生活困難度によらず「自分の将来に不安を感じる」が最も多くなっています。困窮層では「ほしいものが手に入らない」も同様に多くなっています。次いで一般層では「学校生活が楽しくない」、周辺層では「やりたいことがやれない」が多くなっています。

単位: %

	(n=)	自分の将来に不安を感じる	学校生活が楽しくない	やりたいことがやれない	友だちとうまくいっていない	夢中になれるものがない	家族の仲が良くない	ほしいものが手に入らない	自由な時間がない	その他	無回答
小学5年生	66	53.0	53.0	39.4	43.9	25.8	19.7	27.3	25.8	15.2	1.5
中学2年生	40	67.5	40.0	45.0	27.5	27.5	35.0	22.5	17.5	20.0	0.0
困窮層	4	75.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	75.0	50.0	0.0	0.0
周辺層	9	77.8	44.4	66.7	33.3	11.1	33.3	33.3	22.2	22.2	0.0
一般層	35	60.0	51.4	42.9	31.4	17.1	34.3	25.7	28.6	22.9	2.9

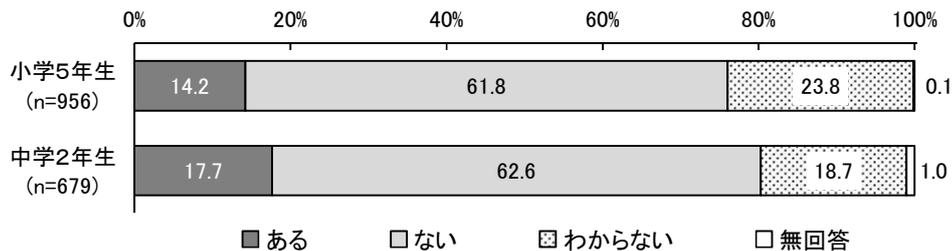
問5 あなたは今なやんでいることがありますか。

「ない」が62.2%で最も多く、次いで「わからない」が21.6%、「ある」が15.6%となっています。



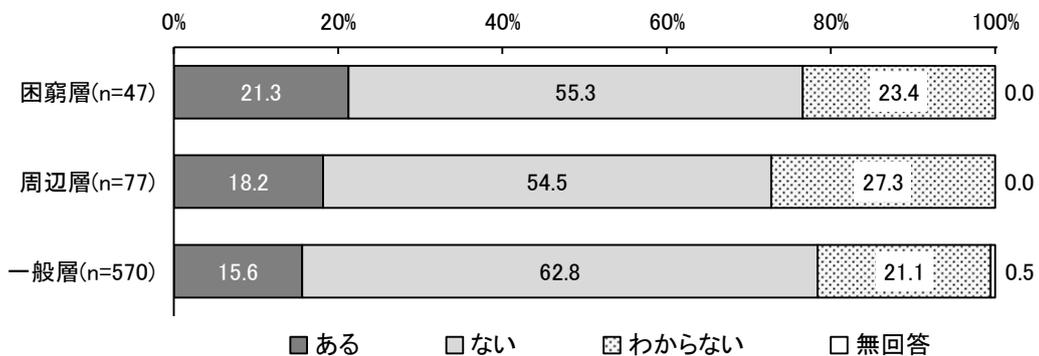
【小中学生別】

小中学生別にみると、「わからない」は中学生より小学生の方が多く、「ある」、「ない」については、どちらも小学生より中学生の方が多くなっています。



【生活困難度別】

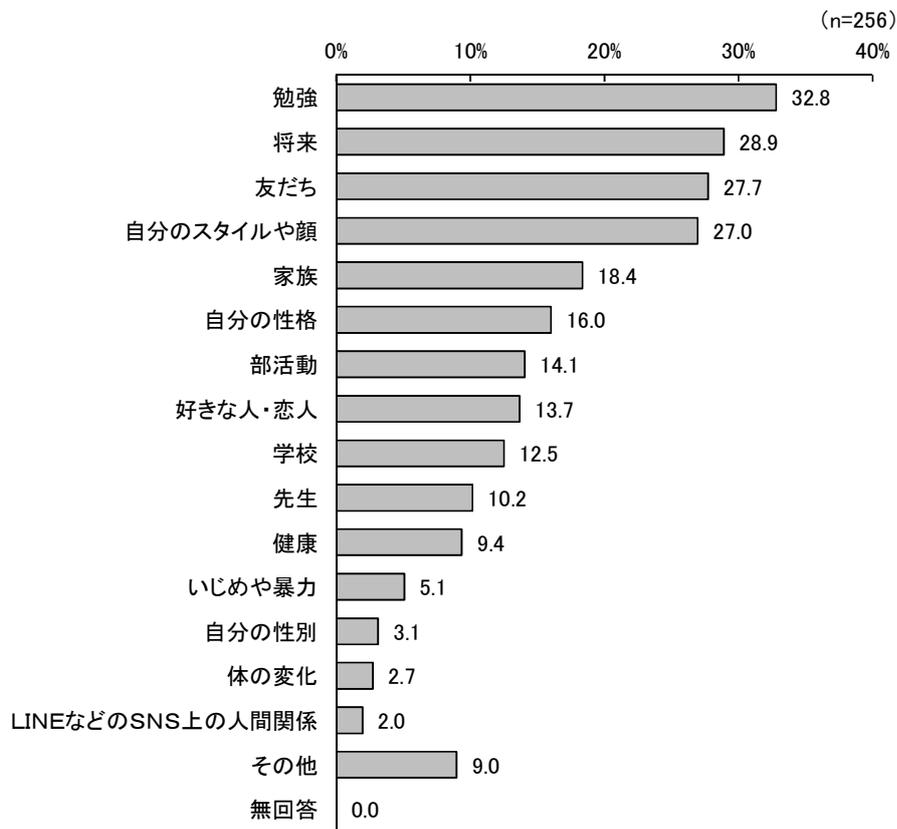
生活困難度別にみると、「ない」は一般層が最も多くなっています。また「ある」は困窮層、「わからない」は周辺層が最も多くなっています。



問5で「ある」と回答した方

問5-1 特になやんでいることはどんなことですか。あてはまるものを1～3つまで選んでください。

「勉強」が32.8%で最も多く、次いで「将来」が28.9%、「友だち」が27.7%となっています。



【小中学生・生活困難度別】

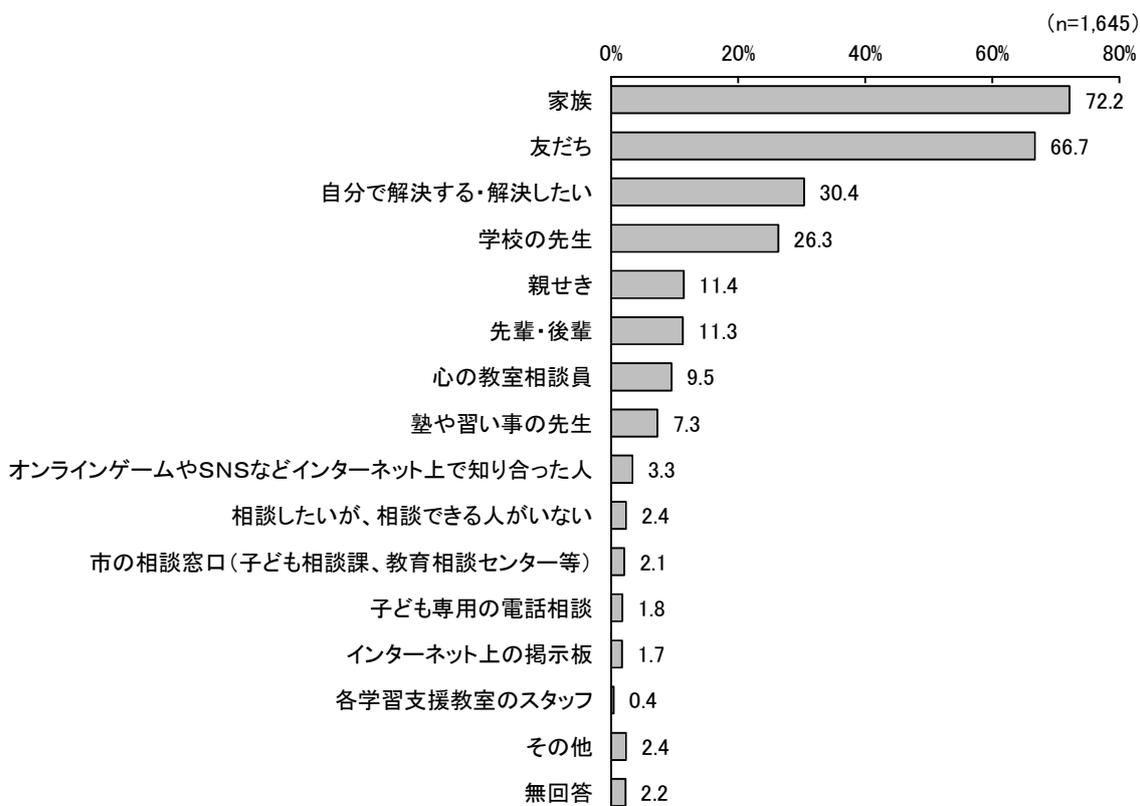
小中学生別にみると、小学生は「友だち」が最も多く、中学生は「勉強」が最も多くなっています。

生活困難度別にみると、一般層、周辺層については「勉強」が最も多く、困窮層は「自分のスタイルや顔」、「自分の性格」が多くなっています。

	(n=)	単位:%																
		勉強	将来	友だち	自分のスタイルや顔	家族	自分の性格	部活動	好きな人・恋人	学校	先生	健康	いじめや暴力	自分の性別	体の変化	LINEなどのSNS上の人間関係	その他	無回答
小学5年生	136	22.1	19.9	33.1	29.4	21.3	17.6	7.4	11.0	15.4	12.5	11.0	9.6	2.9	3.7	2.9	10.3	0.0
中学2年生	120	45.0	39.2	21.7	24.2	15.0	14.2	21.7	16.7	9.2	7.5	7.5	0.0	3.3	1.7	0.8	7.5	0.0
困窮層	10	20.0	10.0	0.0	40.0	20.0	40.0	30.0	30.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
周辺層	14	57.1	28.6	21.4	28.6	14.3	7.1	21.4	14.3	28.6	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般層	89	32.6	28.1	29.2	25.8	23.6	14.6	13.5	12.4	9.0	10.1	13.5	1.1	2.2	2.2	2.2	11.2	0.0

問6 困ったとき、だれに相談しますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

「家族」が72.2%で最も多く、次いで「友だち」が66.7%、「自分で解決する・解決したい」が30.4%となっています。



【小中学生・生活困難度別】

小中学生別にみると、小学生では「家族」、中学生では「友達」が最も多くなっています。

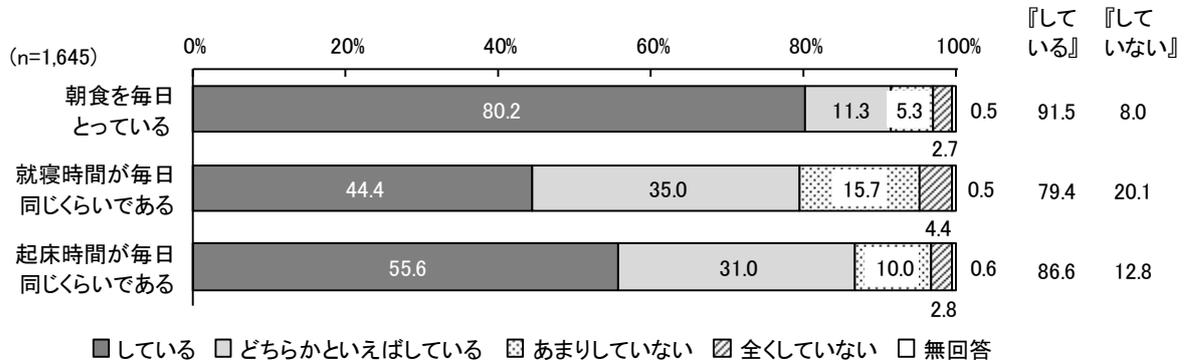
生活困難度別にみると、いずれも「家族」が最も多く、次いで「友だち」となっています。

「自分で解決する・解決したい」が一般層で3番目に多くなっていますが、周辺層では「学校の先生」となっています。困窮層では「自分で解決する・解決したい」、「学校の先生」とともに3番目に多くなっています。

	(n=)	家族	友だち	自分で解決する・解決したい	学校の先生	親せき	先輩・後輩	心の教室相談員	塾や習い事の先生	オンラインゲームやSNSなどインターネット上で知り合った人	相談したいが、相談できる人がいない	市の相談窓口(子ども相談課、教育相談センター等)	子ども専用の電話相談	インターネット上の掲示板	各学習支援教室のスタッフ	その他	無回答
小学5年生	956	77.2	64.6	28.6	28.0	13.8	7.5	13.4	4.9	2.4	2.4	2.8	2.4	1.2	0.4	2.1	1.3
中学2年生	679	65.4	69.8	33.1	24.0	8.1	16.8	4.0	10.8	4.6	2.4	1.0	0.9	2.5	0.4	2.8	3.4
困窮層	44	74.5	53.2	23.4	23.4	12.8	10.6	4.3	4.3	2.1	8.5	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0
周辺層	76	71.4	63.6	27.3	33.8	9.1	9.1	11.7	3.9	3.9	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3
一般層	574	73.0	67.4	31.8	28.1	12.3	9.8	11.8	8.8	3.2	2.1	3.2	2.6	1.2	0.5	2.3	2.6

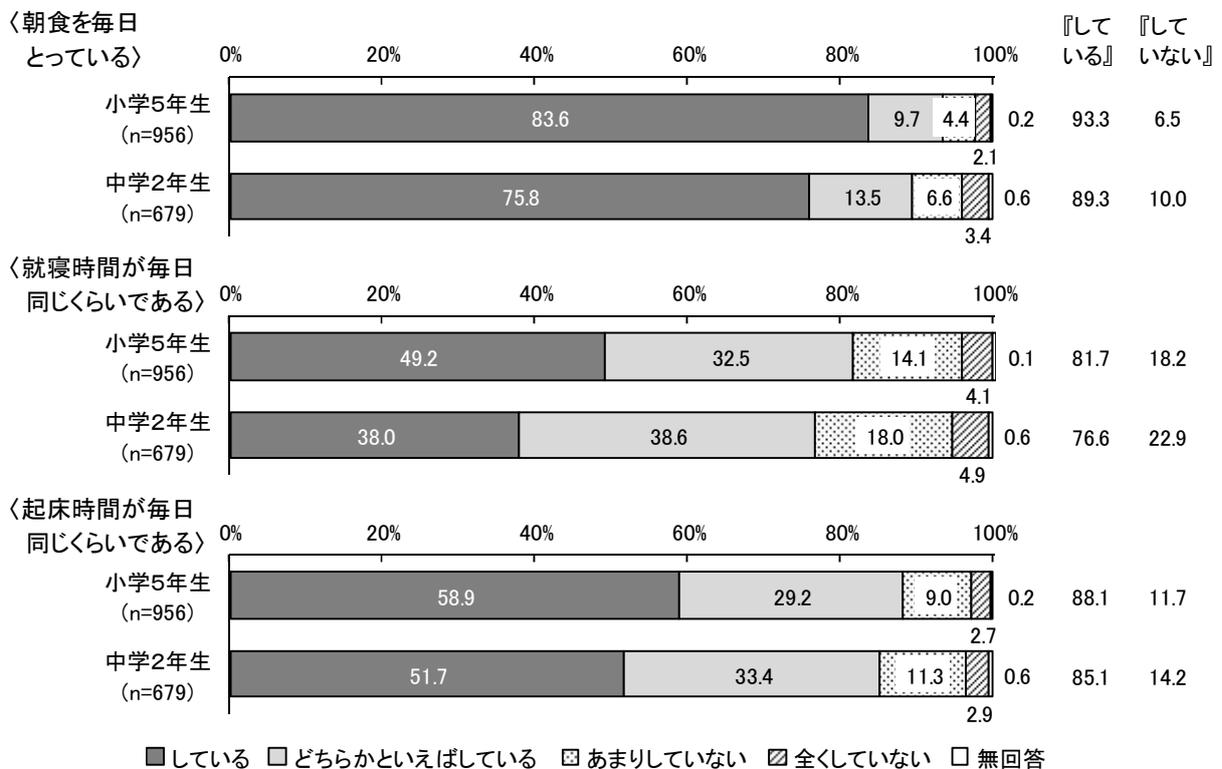
問7 あなたは、次のことがどれくらいありますか。

『している』(=「している」+「どちらかといえばしている」)は、「朝食を毎日とっている」91.5%で最も多く、次いで「起床時間が毎日同じくらいである」、「就寝時間が毎日同じくらいである」となっています。



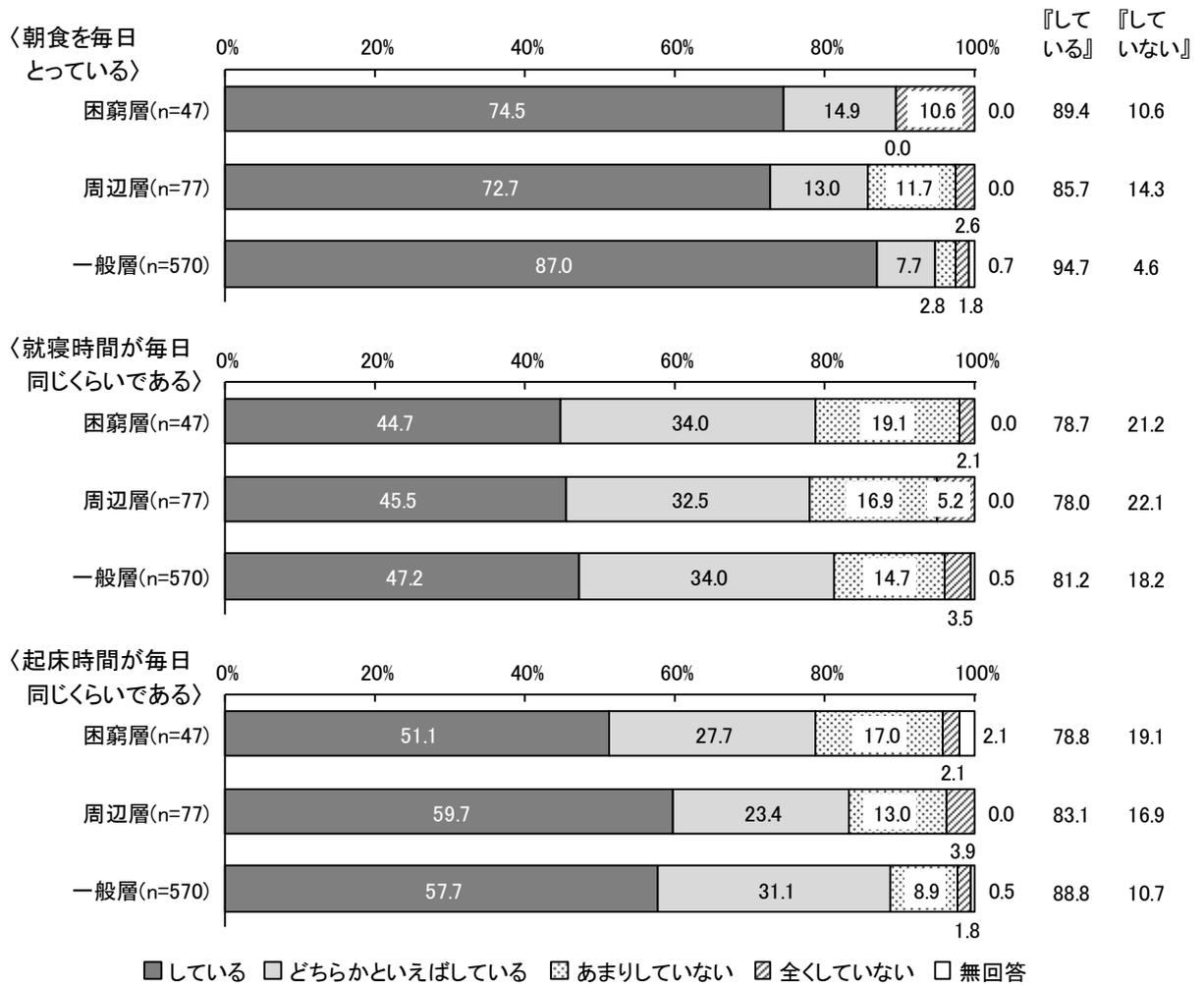
【小中学生別】

小中学生別にみると、いずれも『している』は中学生より小学生の方が多く、『していない』は小学生より中学生の方が多くなっています。



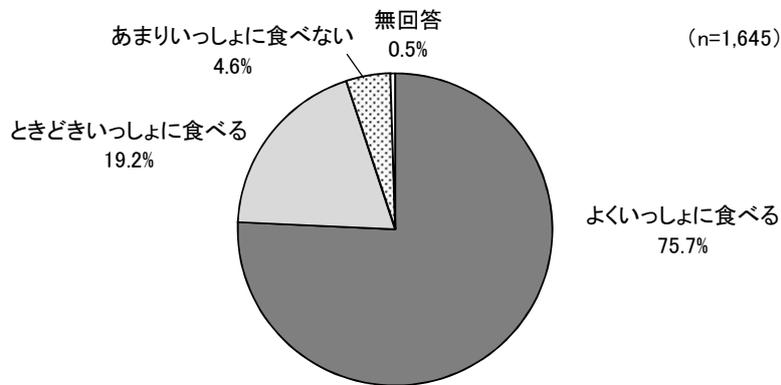
## 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、いずれも『している』は一般層が最も多くなっています。一方で『していない』は「朝食を毎日とっている」、「就寝時間が毎日同じくらいである」は周辺層で最も多く、「起床時間が毎日同じくらいである」は困窮層が最も多くなっています。



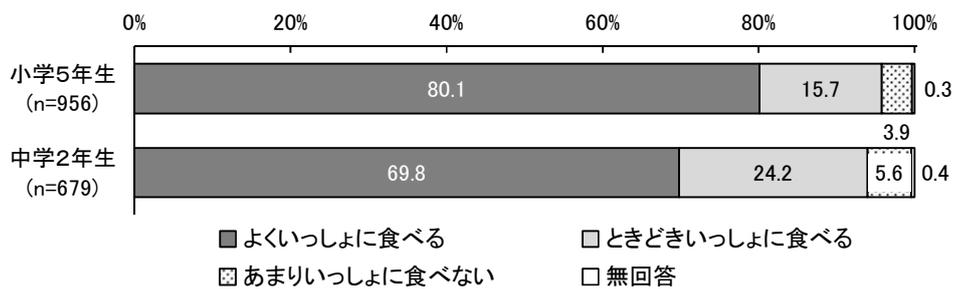
問8 家族といっしょにごはんを食べますか。

「よくいっしょに食べる」が75.7%で最も多く、次いで「ときどきいっしょに食べる」が19.2%、「あまりいっしょに食べない」が4.6%となっています。



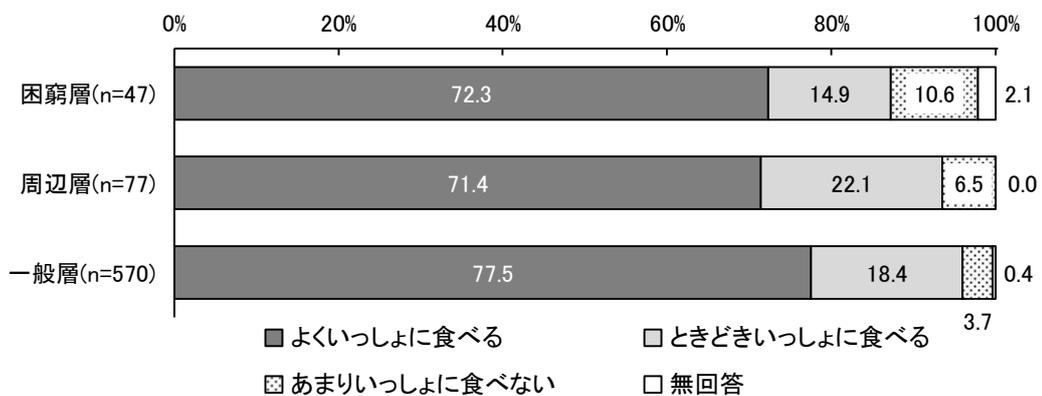
【小中学生別】

小中学生別にみると、いずれも「よくいっしょに食べる」が最も多くなっていますが、小学生80.1%に対して、中学生69.8%になっています。



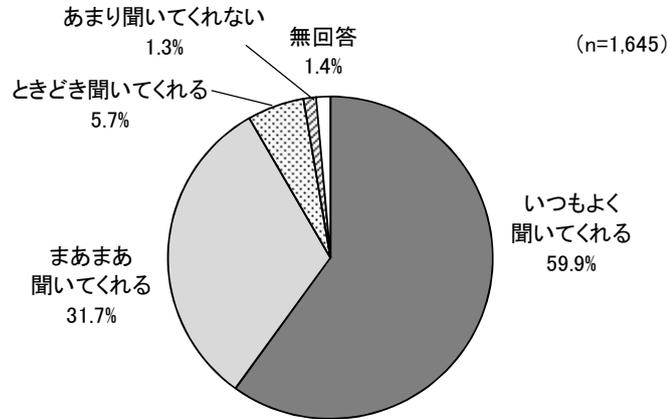
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、いずれも「よくいっしょに食べる」が最も多くなっていますが、一般層77.5%に対して、困窮層72.3%、周辺層71.4%となっています。



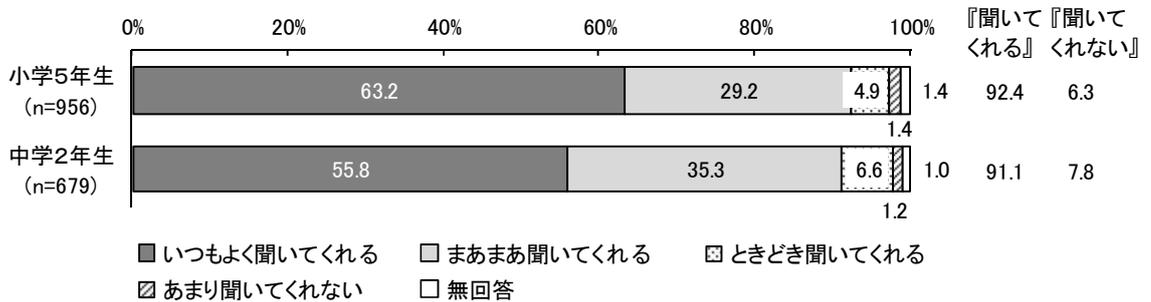
問9 家族はあなたの話を聞いてくれますか。

「いつもよく聞いてくれる」が59.9%で最も多く、次いで「まあまあ聞いてくれる」が31.7%、「ときどき聞いてくれる」が5.7%、「あまり聞いてくれない」が1.3%となっています。



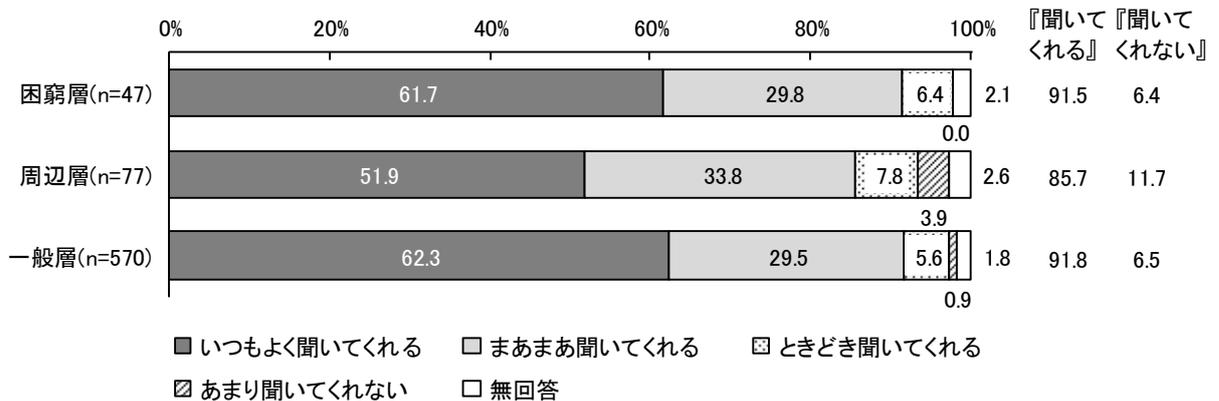
【小中学生別】

小中学生別にみると、『聞いてくれる』(=「いつもよく聞いてくれる」+「まあまあ聞いてくれる」)は中学生よりも小学生の方が多くなっています。



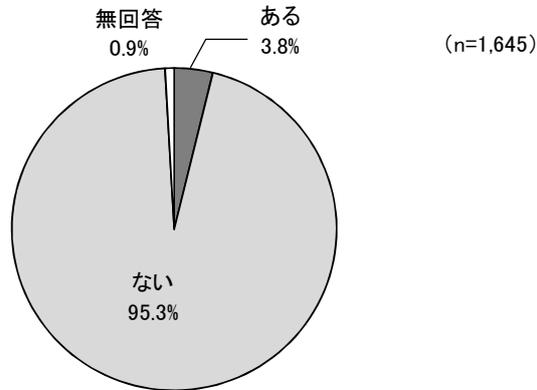
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、『聞いてくれる』は一般層91.8%が最も多く、次いで困窮層91.5%、周辺層85.7%となっています。



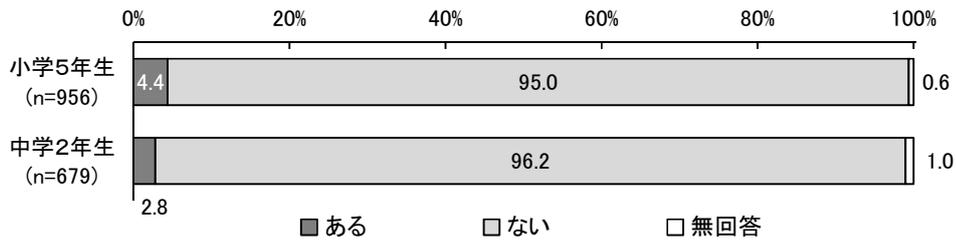
問 10 あなたは家族から、理由もなく どちらでもなく、強くとたかれたり、食事をもらえなかつたりしたことはありますか。

「ない」が95.3%、「ある」が3.8%となっています。



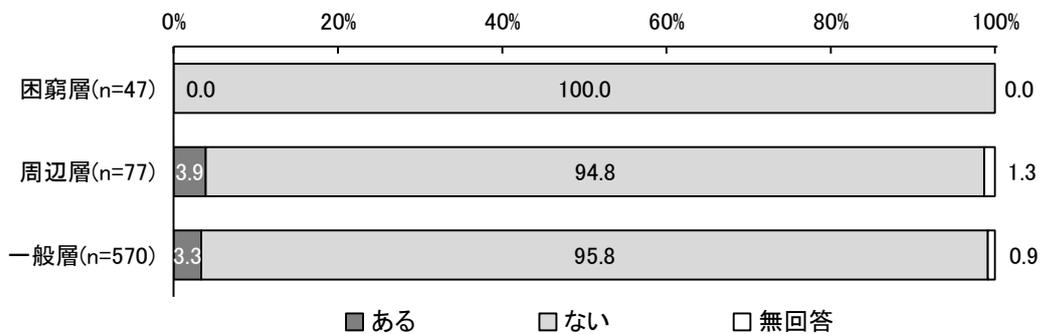
#### 【小中学生別】

小中学生別にみると、いずれも「ない」が最も多く、「ある」は中学生よりも小学生の方が多くなっています。



#### 【生活困難度別】

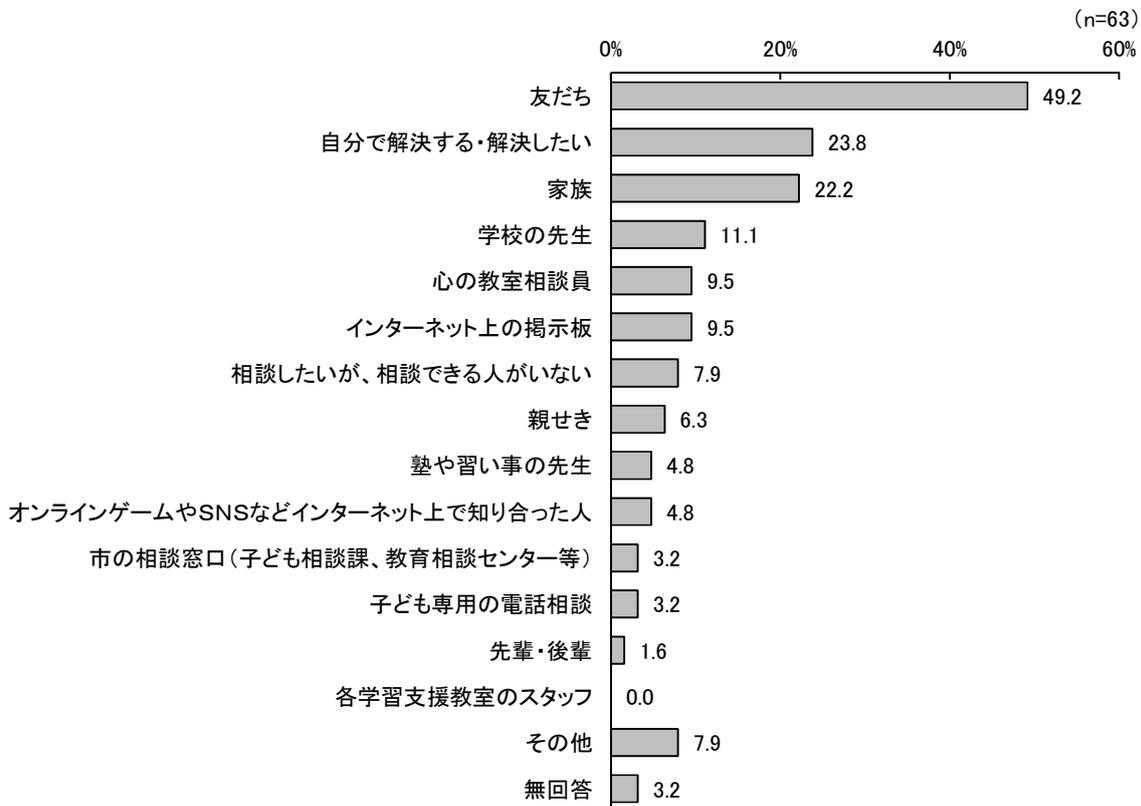
生活困難度別にみると、いずれも「ない」が最も多く、「ある」は周辺層3.9%、一般層3.3%、困窮層0.0%となっています。



問 10 で「ある」と回答した方

問 10-1 家族からそのようなことをされたとき、だれに相談しますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

「友だち」が 49.2% で最も多く、次いで「自分で解決する・解決したい」が 23.8%、「家族」が 22.2% となっています。



【小中学生・生活困難度別】

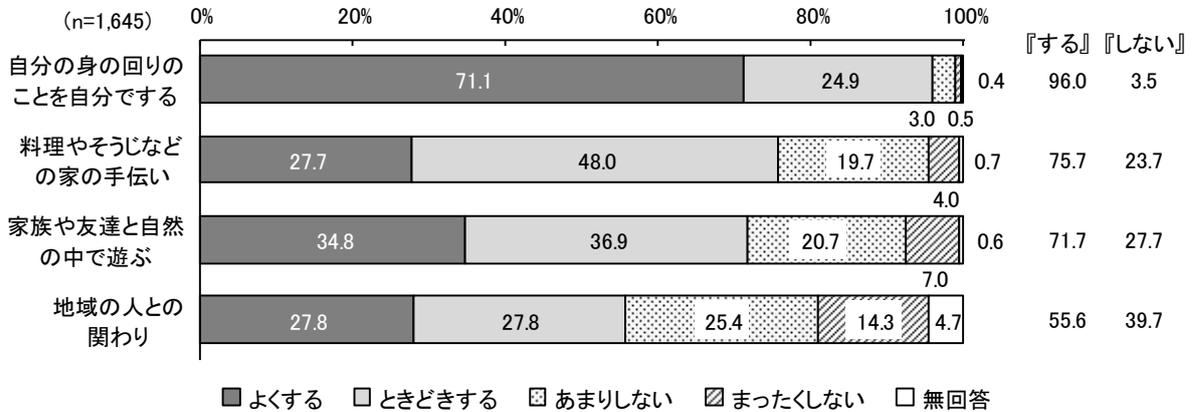
小中学生別にみると、いずれも「友だち」が最も多く、次いで小学生では「家族」、中学生では「自分で解決する・したい」となっています。

生活困難度別にみると、一般層では「友だち」が最も多く、次いで「家族」となっています。周辺層でも「友だち」が最も多い一方で、「家族」との回答はありませんでした。

	(n=)	友だち	自分で解決する・解決したい	家族	学校の先生	心の教室相談員	インターネット上の掲示板	相談したいが、相談できる人がいない	親せき	塾や習い事の先生	オンラインゲームやSNSなどインターネット上で知り合った人	市の相談窓口(子ども相談課、教育相談センター等)	子ども専用の電話相談	先輩・後輩	各学習支援教室のスタッフ	その他	無回答
小学5年生	42	52.4	19.0	23.8	9.5	9.5	7.1	11.9	9.5	7.1	4.8	2.4	2.4	0.0	0.0	4.8	2.4
中学2年生	19	42.1	36.8	15.8	10.5	10.5	15.8	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	15.8	5.3
困窮層	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周辺層	3	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般層	19	47.4	15.8	26.3	15.8	15.8	10.5	0.0	15.8	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3

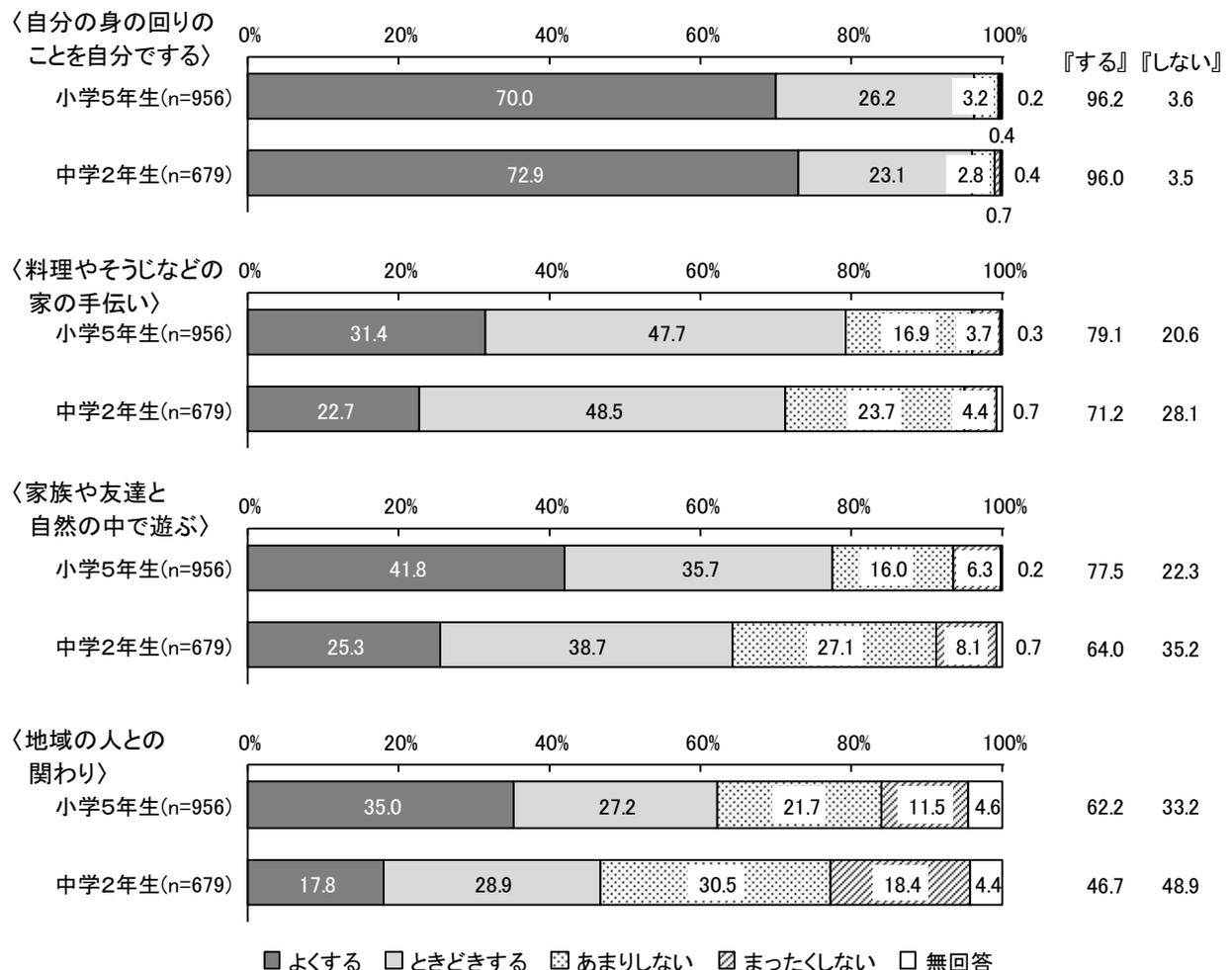
問 11 あなたは、次のようなことをどれだけやりますか。

『する』(=「よくする」+「ときどきする」)は「自分の身の回りのことを自分でする」96.0%が最も多く、次いで「料理やそうじなどの家の手伝い」75.7%、「家族や友達と自然の中で遊ぶ」71.7%となっています。



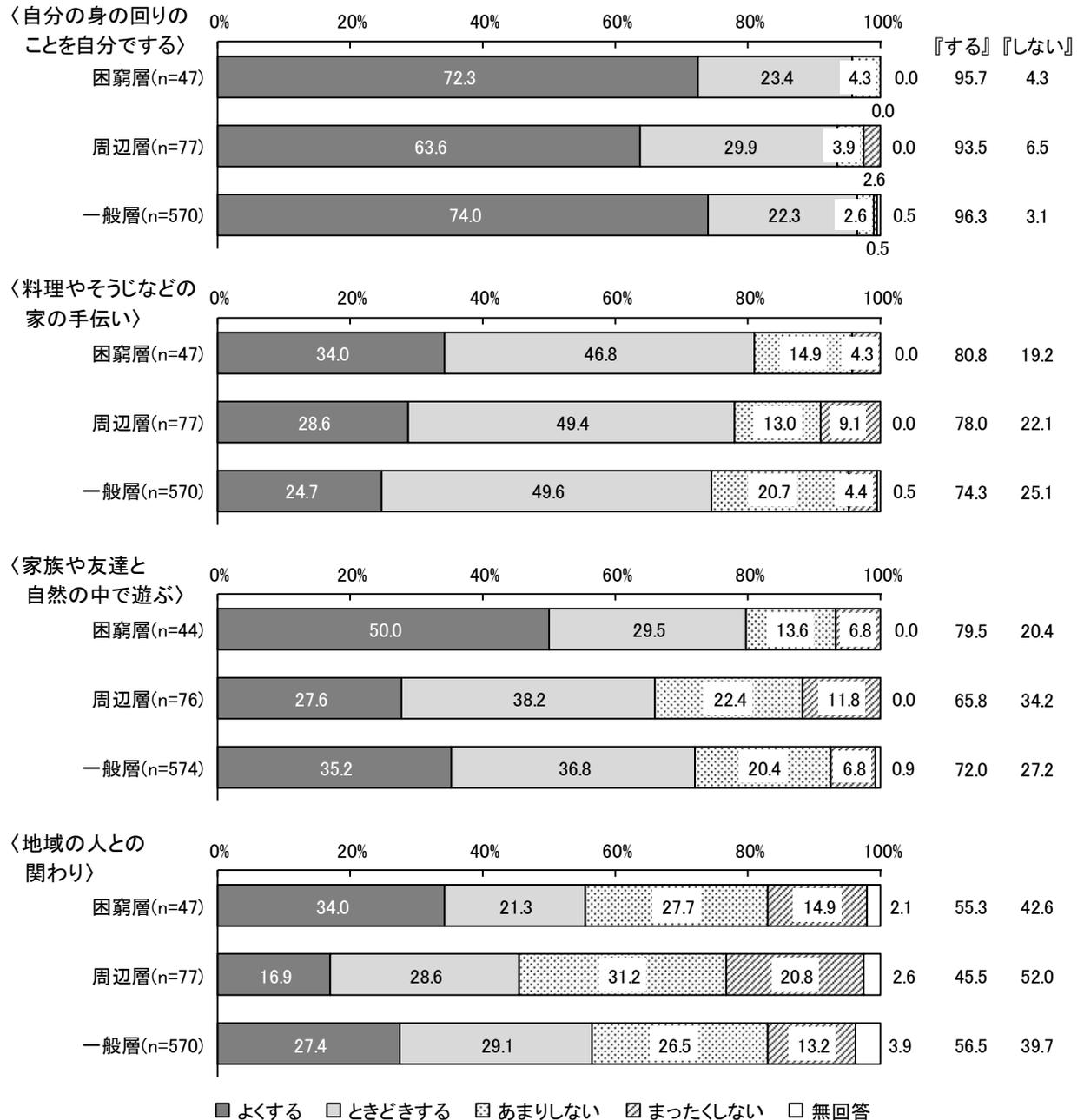
【小中学生別】

小中学生別にみると、『する』は中学生より小学生の方が多くなっています。「自分の身の回りのことを自分でする」で「よくする」は小学生 70.0%に対して、中学生 72.9%となっています。



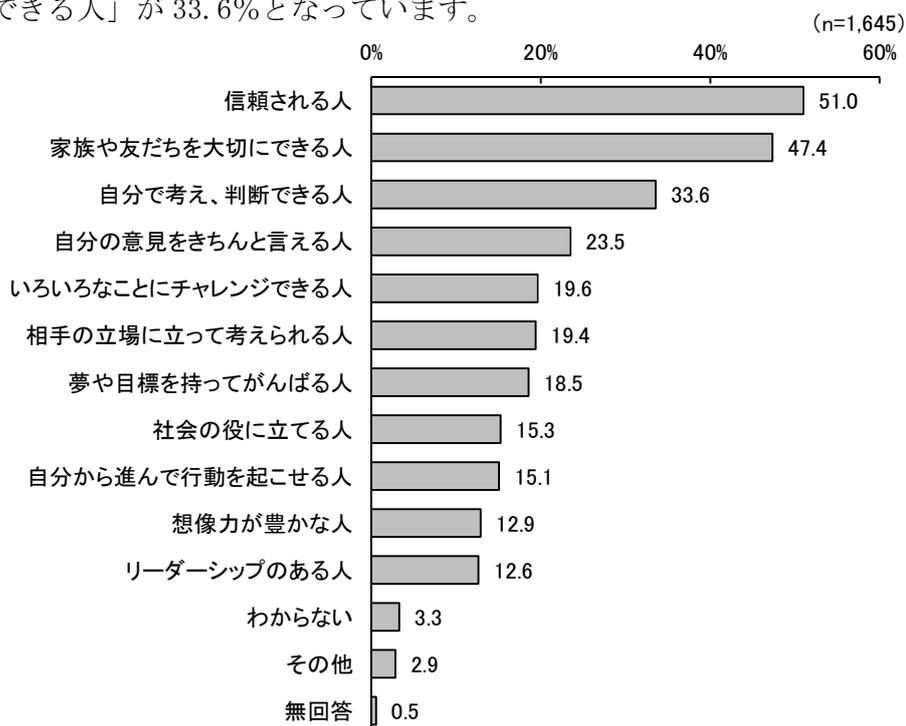
## 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、『する』は「自分の身の回りのことを自分でする」、「地域の人とのか  
関わり」では一般層が最も多く、他の項目では困窮層が最も多くなっています。『しない』(=  
「あまりしない」+「まったくしない」)は「料理やそうじなどの家の手伝い」では一般層が最  
も多く、他の項目では周辺層が最も多くなっています。



問 12 将来どのような人になりたいですか。あてはまるものを1～3つまで選んでください。

「信頼される人」が51.0%で最も多く、次いで「家族や友だちを大切にできる人」が47.4%、「自分で考え、判断できる人」が33.6%となっています。



### 【小中学生・生活困難度別】

小中学生別にみると、いずれも「信頼される人」が最も多く、次いで「家族や友だちを大切にできる人」、「自分で考え、判断できる人」となっています。「信頼される人」、「自分で考え、判断できる人」は小学生より中学生の方が多くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「家族や友だちを大切にできる人」、「信頼される人」が最も多く、周辺層、一般層では「信頼される人」が最も多くなっています。「信頼される人」は一般層では5割以上となっていますが、困窮層と周辺層では5割を下回っています。

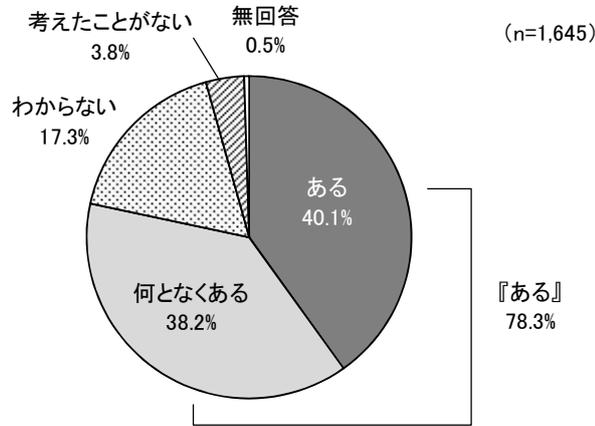
単位: %

	(n=)	リーダーシップのある人	自分の意見をきちんと言える人	いろいろなことにチャレンジできる人	家族や友だちを大切にできる人	自分から進んで行動を起こせる人	想像力が豊かな人	夢や目標を持ってがんばる人	自分で考え、判断できる人	相手の立場に立って考えられる人	信頼される人	社会の役に立てる人	わからない	その他	無回答
小学5年生	956	14.2	22.6	22.7	47.8	14.7	14.2	20.5	30.4	16.8	49.1	15.3	3.6	3.2	0.1
中学2年生	679	10.5	25.0	15.3	47.1	15.8	10.8	15.9	38.3	23.1	54.1	15.2	2.9	2.2	0.9
困窮層	47	8.5	27.7	17.0	48.9	17.0	6.4	31.9	36.2	12.8	48.9	19.1	2.1	2.1	0.0
周辺層	77	13.0	19.5	16.9	46.8	13.0	19.5	20.8	33.8	18.2	48.1	15.6	5.2	2.6	0.0
一般層	570	12.3	22.6	19.1	48.6	14.0	13.0	17.4	33.2	20.0	56.0	15.8	3.9	3.0	0.4

問 13 将来やりたいと思う仕事はありますか。

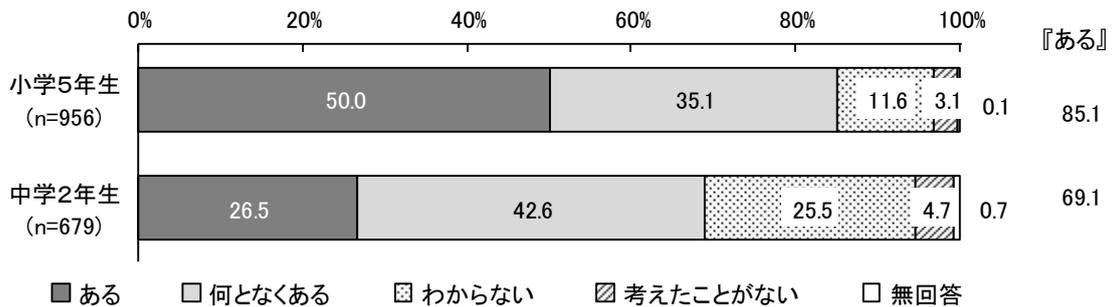
「ある」が40.1%で最も多く、次いで「何となくある」が38.2%、「わからない」が17.3%、「考えたことがない」が3.8%となっています。

『ある』（＝「ある」＋「何となくある」）は78.3%となっています。



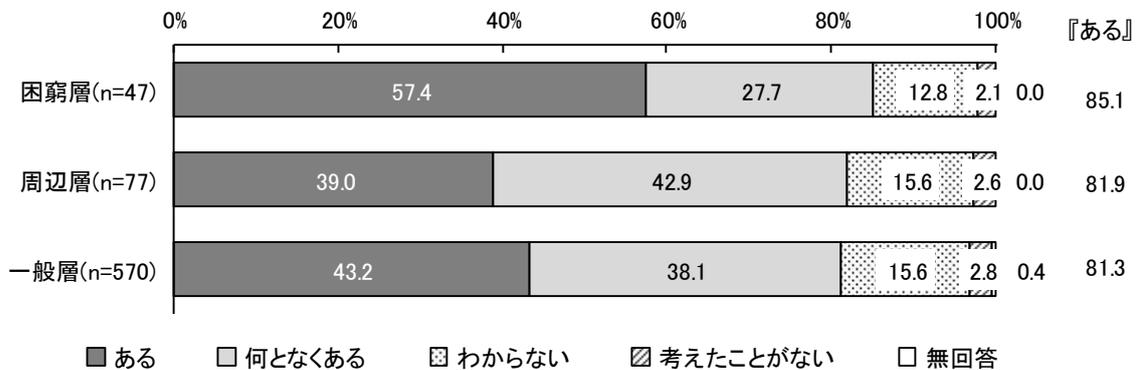
【小中学生別】

小中学生別にみると、小学生では「ある」が、中学生では「何となくある」が最も多くなっています。また中学生では「考えたことがない」が25.5%で「ある」26.5%と同程度の割合となっています。



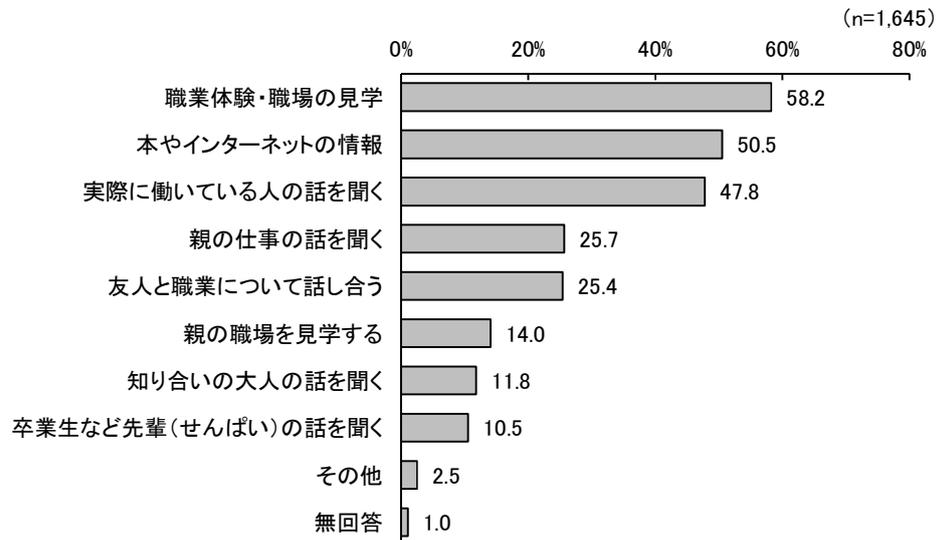
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困窮層、一般層で「ある」が最も多く、周辺層では「何となくある」が最も多くなっています。



問 14 仕事について知るために役立つものはなんだと思いますか。あてはまるものを1～3つまで選んでください。

「職業体験・職場の見学」が 58.2%で最も多く、次いで「本やインターネットの情報」が 50.5%、「実際に働いている人の話を聞く」が 47.8%となっています。



#### 【小中学生・生活困難度別】

小中学生別にみると、いずれも「職業体験・職場の見学」が最も多くなっています。次いで小学生では「実際に働いている人の話を聞く」、中学生では「本やインターネットの情報」が多くなっています。

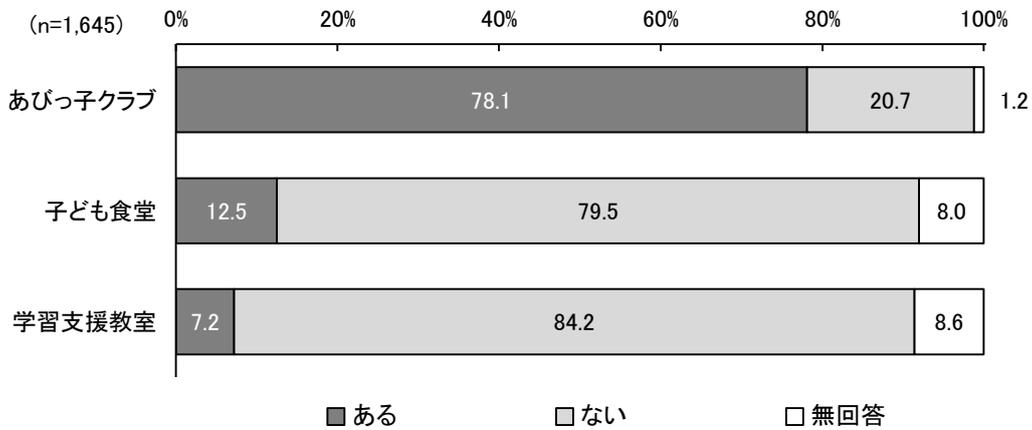
生活困難度別にみると、いずれも「職業体験・職場の見学」が最も多くなっています。次いで困窮層、一般層では「本やインターネットの情報」、周辺層では「実際に働いている人の話を聞く」が多くなっています。

単位: %

	(n=)	職業体験 職場の見学	実際に働いている人の話を聞く	本やインターネットの情報	知り合いの大人の話聞く	親の仕事の話聞く	親の職場を見学する	卒業生など先輩の話聞く	友人と職業について話し合う	その他	無回答
小学5年生	956	55.9	48.8	44.7	11.1	26.7	16.8	9.2	26.7	3.3	0.6
中学2年生	679	61.6	46.8	59.1	13.0	24.4	10.2	12.4	23.7	1.3	1.3
困窮層	47	63.8	42.6	44.7	17.0	12.8	14.9	21.3	29.8	2.1	0.0
周辺層	77	57.1	54.5	45.5	18.2	22.1	14.3	11.7	16.9	0.0	1.3
一般層	570	60.4	48.8	51.8	10.4	26.3	15.3	8.6	26.5	2.8	0.7

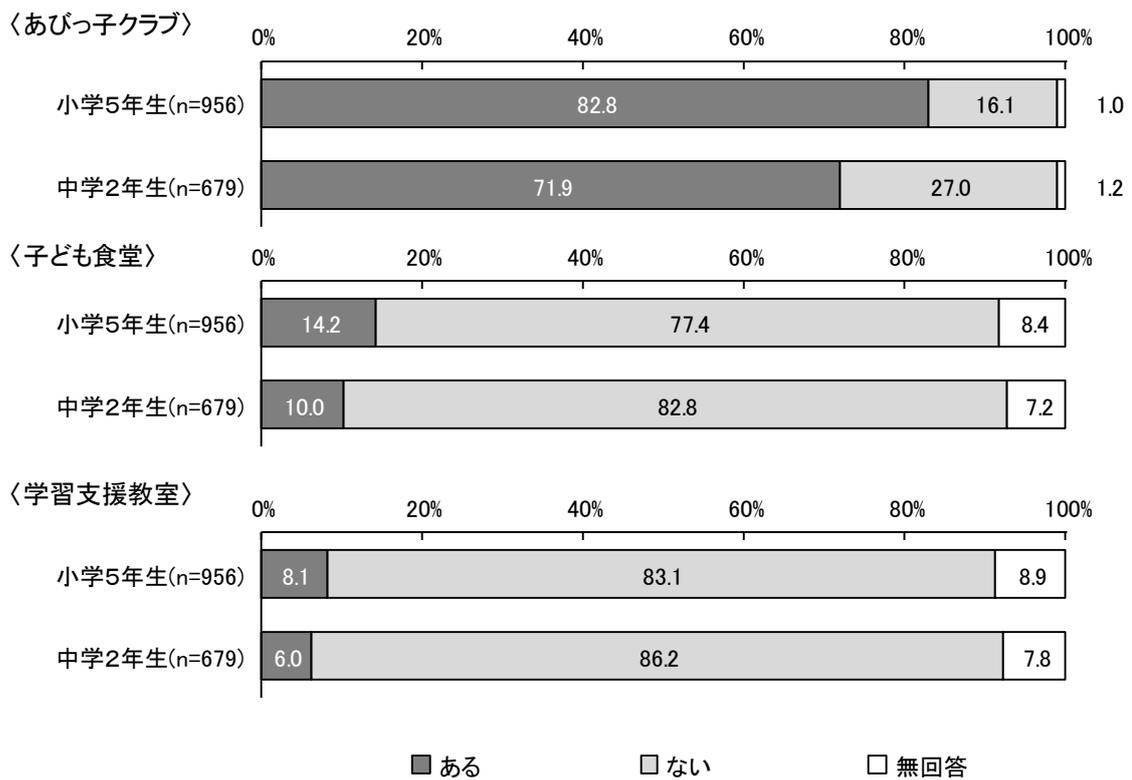
問 15 次の場所に行ったことがありますか。

あびっ子クラブでは「ある」78.1%、子ども食堂では「ない」79.5%、学習支援教室では「ない」84.2%が最も多くなっています。



【小中学生別】

小中学校別にみると、いずれも「ある」は中学校より小学校の方が多くなっています。

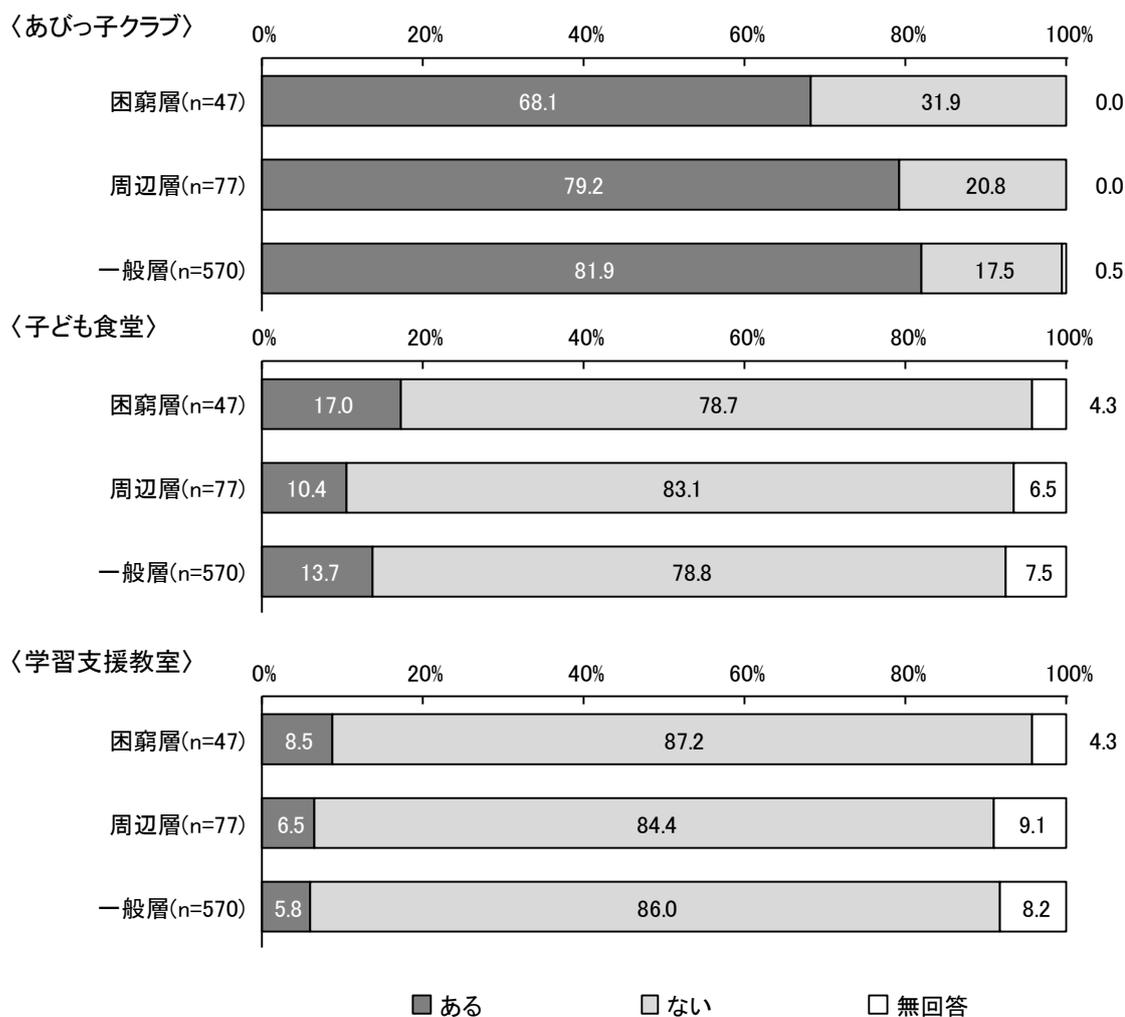


## 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、あびっこクラブで「ある」は一般層 81.9%が最も多く、周辺層 79.2%、困窮層 68.1%となっています。

子ども食堂で「ある」は困窮層 17.0%が最も多く、一般層 13.7%、周辺層 10.4%となっています。

学習支援教室で「ある」は困窮層 8.5%が最も多く、周辺層 6.5%、一般層 5.8%となっています。



問 16 みなさんが我孫子市で楽しく生活したり学校に行けたりするように、意見や希望、なやんでいることがあったら、何でも教えてください。書くことがないときは「次へ」で次のページにすすんでください。

普段の生活や学校に関する意見を、自由記入方式でたずねました。157人（全体の9.5%）の回答者から計164件の意見があり、その内容を項目別にまとめると、以下のようになります。意見については、延べ件数でまとめています。

大分類	小分類	回答件数	順位
(1)人間関係について	①親子関係について	6	9
	②友人関係について	15	4
(2)学校について	①学校生活について	57	1
	②授業・勉強について	11	6
	③部活動や設備・備品について	17	2
(3)我孫子市について	①市政について	9	7
	②地域活動・イベントについて	7	8
	③市内の緑地等の整備について	11	6
	④市内への誘致・まちづくりについて	12	5
(4)その他について	①将来について	2	10
	②その他	17	2

その内、上位3項目について、主な意見を抜粋して掲載します。

(件)

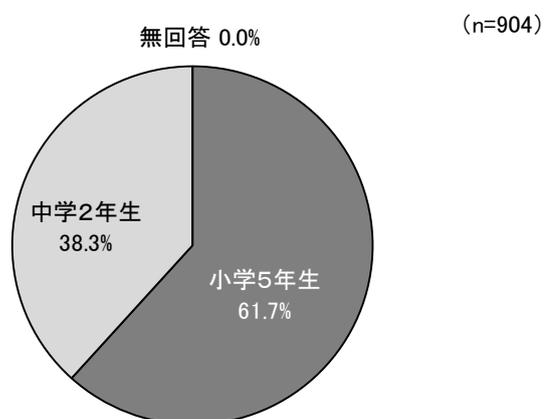
(2)－①学校生活について	57
<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく安全を守る為に反射板がついているのにジャージで登下校できないのでせめて暗い時間だけでもジャージで帰れるようにしてほしい。</li> <li>・普段おいしい給食をありがとうございます。宜しければハンバーグの回数増やしてほしいです。ご検討宜しくお願い致します。</li> <li>・体育の長距離走で、男子は1500m、女子は1000mの理由がよくわかりません。特に理由がないのでしたらジェンダー平等の観点から見直してほしいと思います。</li> <li>・団結力を高めたり、ほかの学年の人との交流を深めるために、学校の行事をもっと増やしてほしいです。</li> </ul>	
(2)－③部活動や設備・備品について	17
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活の時間を増やしてほしい。</li> <li>・新しいバスケットゴールが欲しい。</li> <li>・体育館トイレを新しくして欲しい。</li> </ul>	
(1)－②友人関係について	15
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当の友達の作り方が分からない。</li> <li>・友達と喧嘩したときにどうすればいいか。</li> </ul>	

## 2 保護者

### (1) 本人と子どもについて

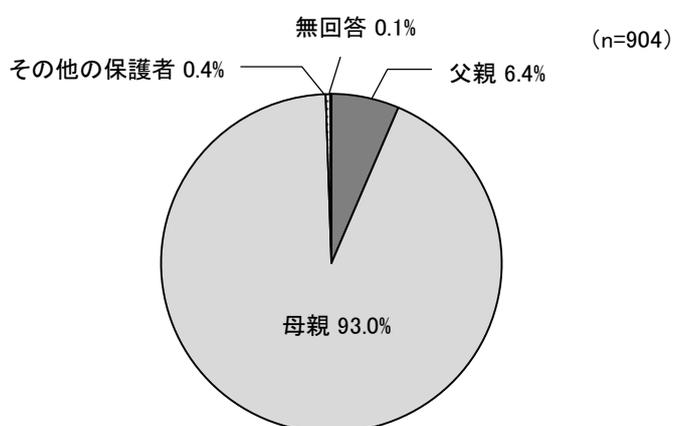
問1 この手紙を持ち帰ったお子さんは何年生ですか。

「小学5年生」が61.7%で、「中学2年生」が38.3%となっています。



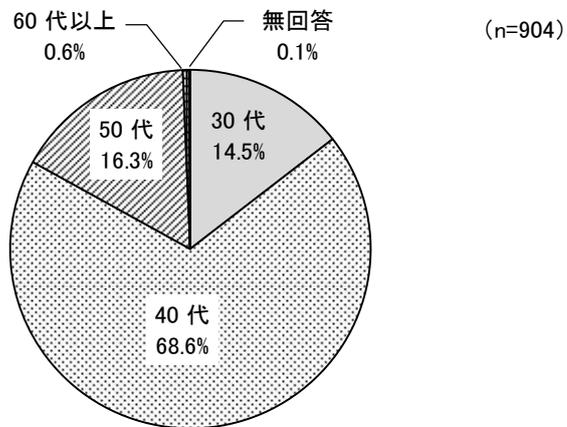
問2 この調査へご回答いただく方はどなたですか。

「母親」が93.0%で最も多く、次いで「父親」が6.4%、「その他の保護者」が0.4%となっています。



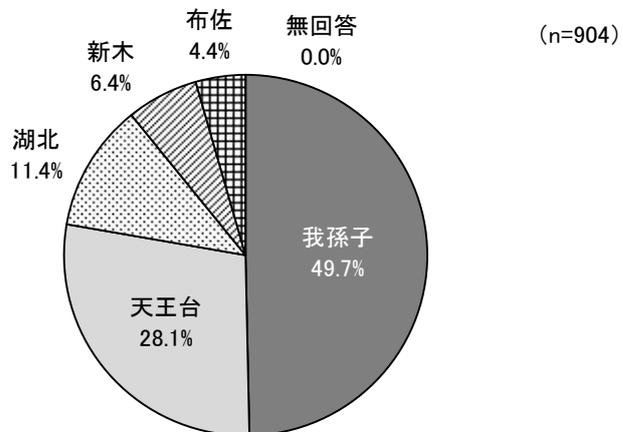
問3 あなたの年齢についてうかがいます。

「40代」が68.6%で最も多く、次いで「50代」が16.3%、「30代」が14.5%となっています。



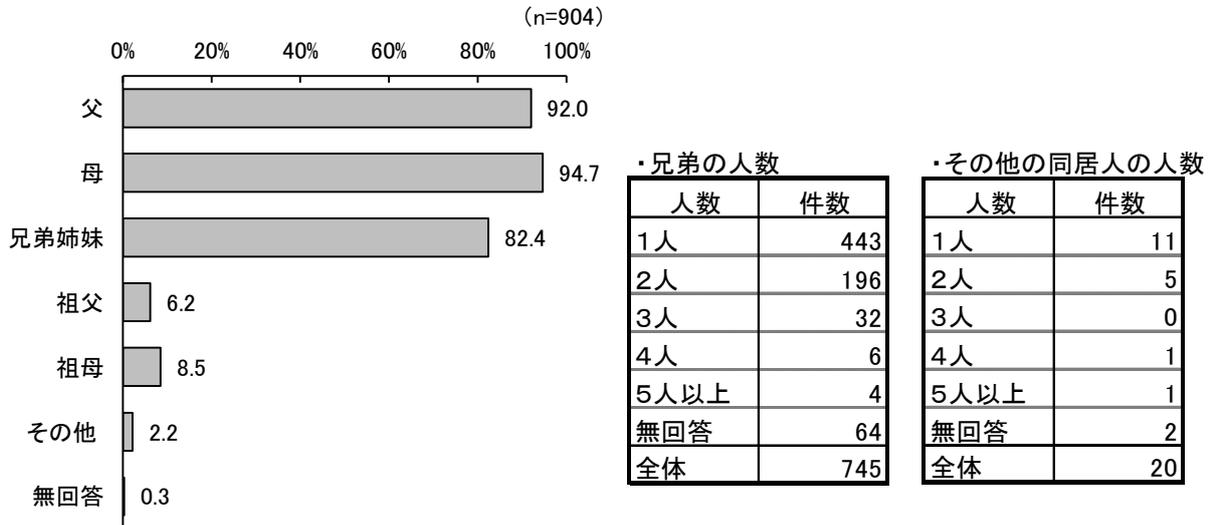
問4 お住まいの地区はどちらですか。

「我孫子」が49.7%で最も多く、次いで「天王台」が28.1%、「湖北」が11.4%となっています。



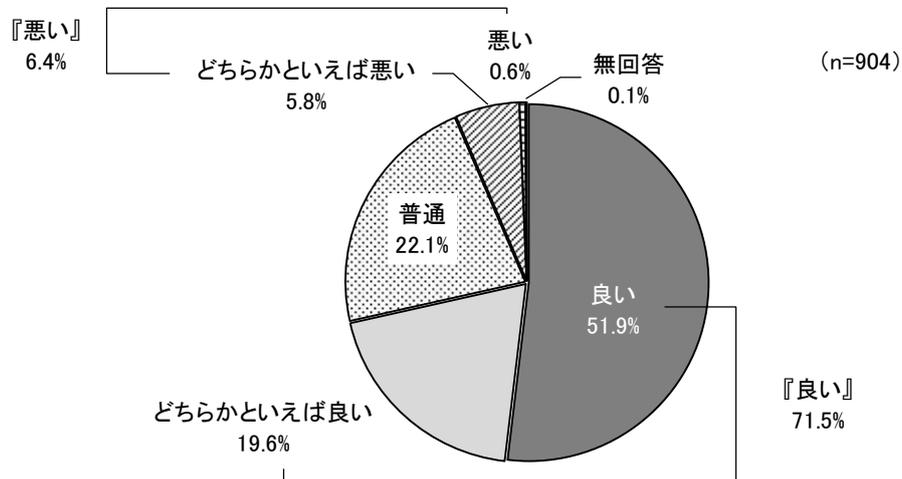
問5 お子さんと同居している家族は誰ですか。あてはまるものをすべて選んでください。「兄弟姉妹」または「その他」を選んだ方は、手紙を持ち帰ったお子さんを除いた人数を記入してください。

「母」が94.7%で最も多く、次いで「父」が92.0%、「兄弟姉妹」が82.4%となっています。



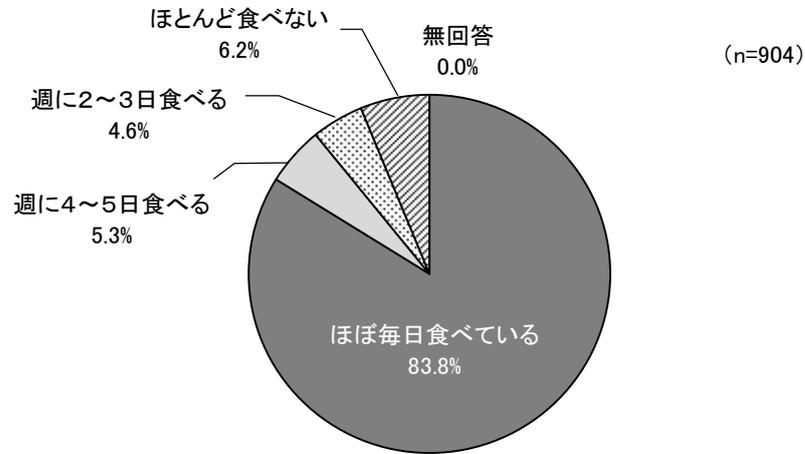
問6 あなたの健康状態についてうかがいます。

『良い』(=「良い」+「どちらかといえば良い」)が71.5%で、「普通」が22.1%、『悪い』(=「どちらかといえば悪い」+「悪い」)が6.4%となっています。



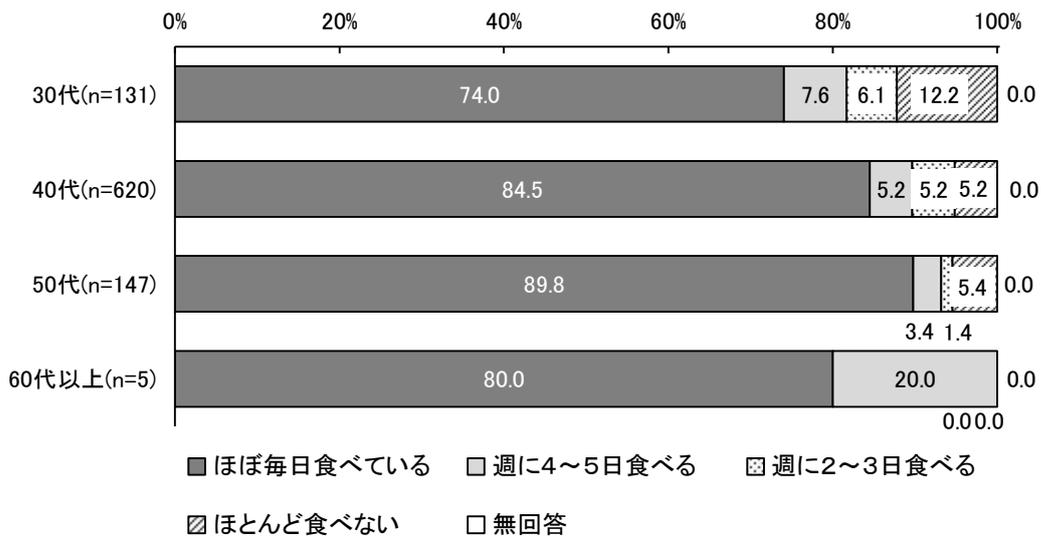
問7 あなたは朝食を食べていますか。

「ほぼ毎日食べている」が83.8%で最も多く、次いで「ほとんど食べない」が6.2%、「週に4～5日食べる」が5.3%となっています。



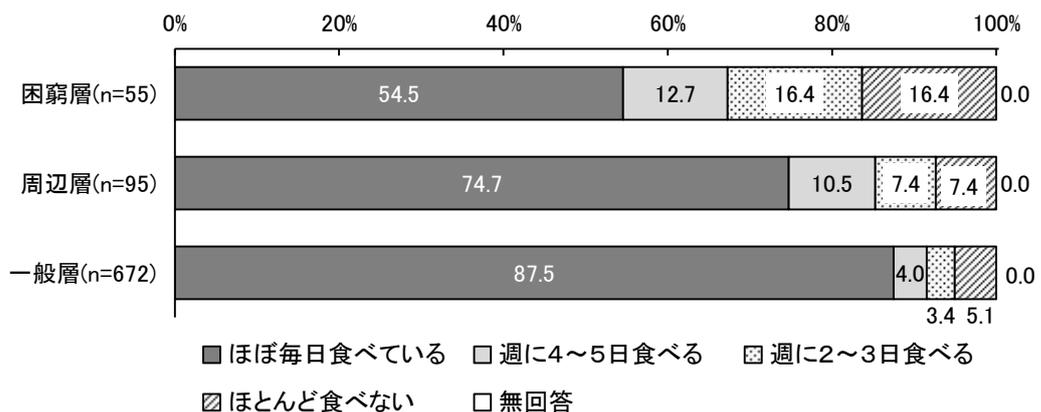
【年齢別】

年齢別にみると、いずれも「ほぼ毎日食べる」が最も多くなっています。「ほぼ毎日食べる」は40代以上で8割以上となっていますが、30代では74.0%となっています。



【生活困難度別】

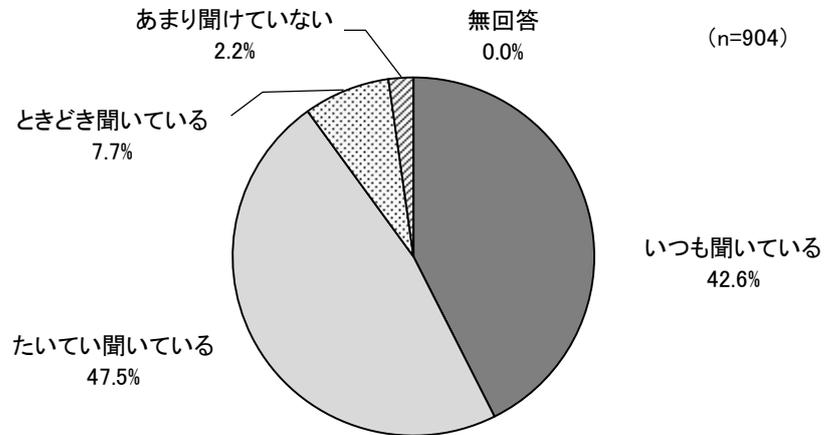
生活困難度別にみると、いずれも「ほぼ毎日食べる」が最も多くなっています。「ほぼ毎日食べる」は一般層が最も多く、次いで周辺層、困窮層となっています。



## (2) 子育て全般について

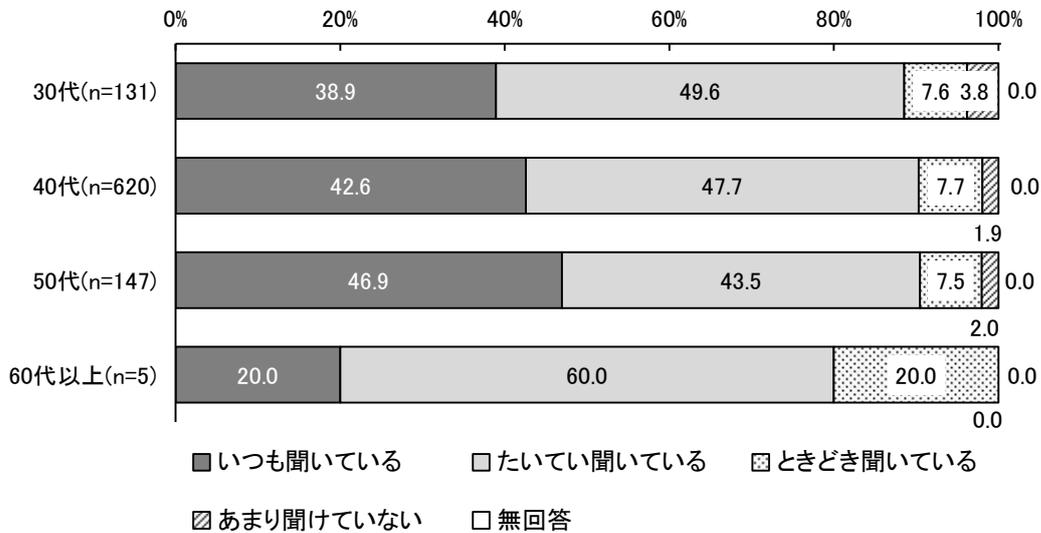
問8 あなたは、普段、お子さんの話を聞くようにしていますか。

「たいてい聞いている」が47.5%で最も多く、次いで「いつも聞いている」が42.6%、「ときどき聞いている」が7.7%、「あまり聞けていない」が2.2%となっています。



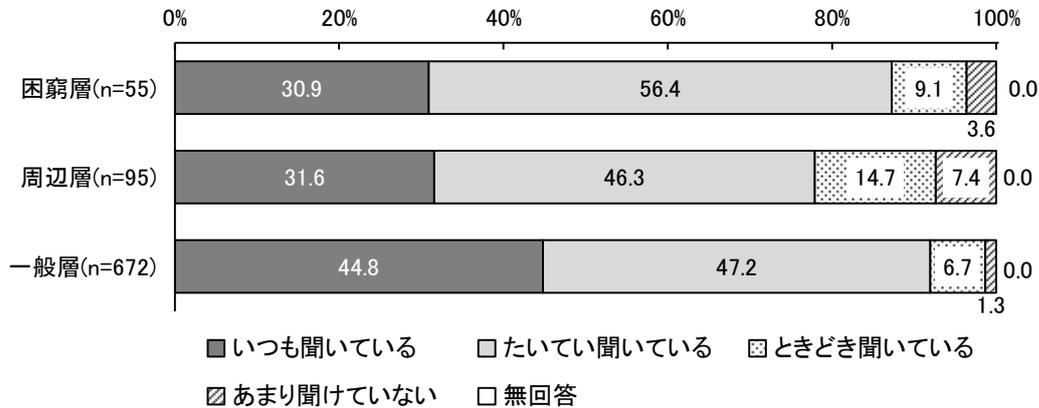
### 【年齢別】

年齢別にみると、50代では「いつも聞いている」が最も多く、他の年齢では「たいてい聞いている」が多くなっています。30～50代では、年齢が上がるにつれて、「いつも聞いている」の割合が増加していきます。



### 【生活困難度別】

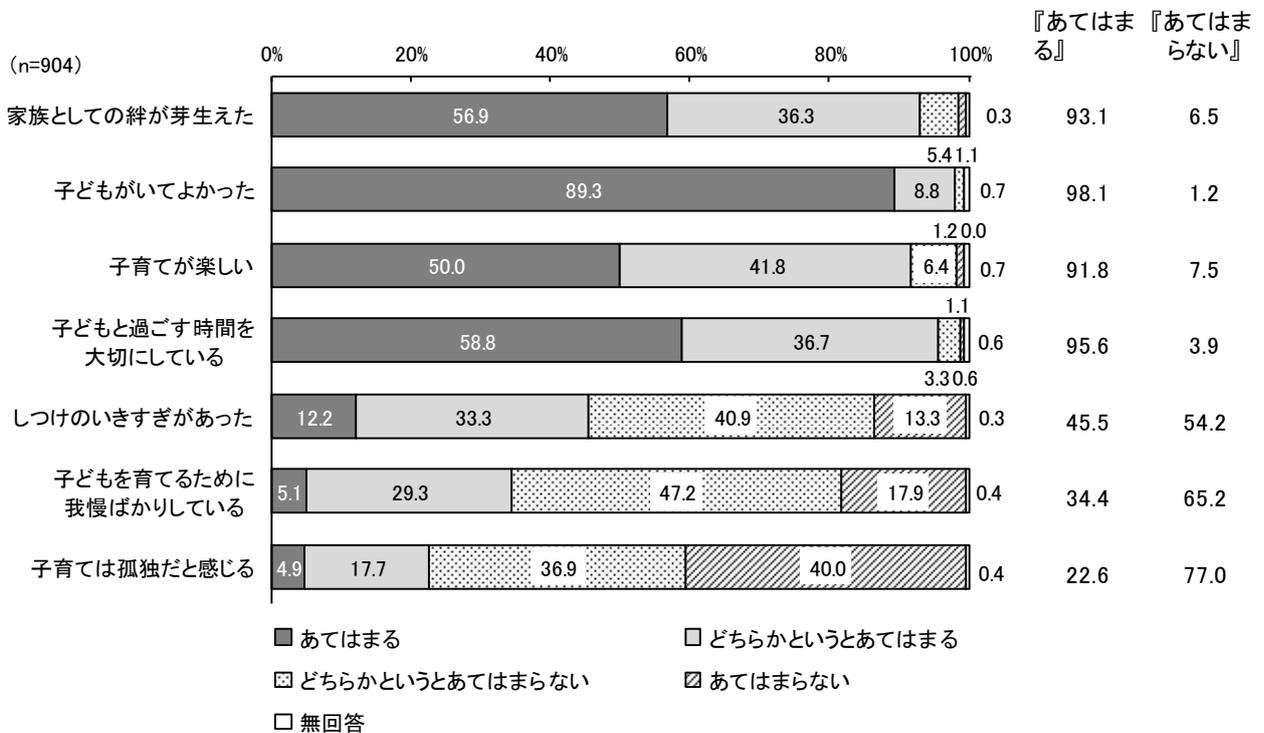
生活困難度別にみると、いずれも「たいてい聞いている」が最も多く、困窮層 56.4%、周辺層 46.3%、一般層 47.2%となっています。



問9 あなたは、これまでの子育ての中で次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。

『あてはまる』(=「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)は「子どもがいてよかった」98.1%が最も多く、次いで「子どもと過ごす時間を大切にしている」95.6%、「家族としての絆が芽生えた」93.1%となっています。

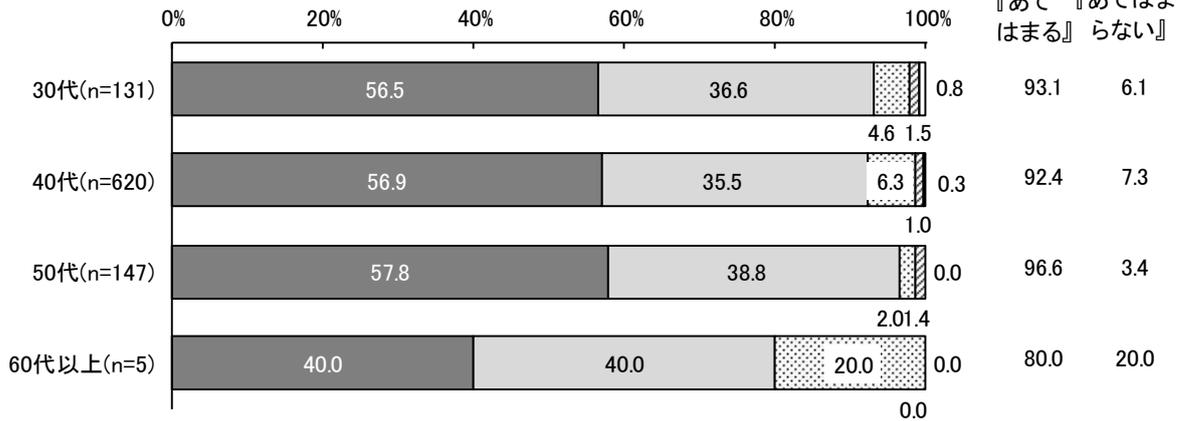
『あてはまらない』(=「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」)は「子育ては孤独だと感じる」77.0%が最も多く、次いで「子どもを育てるために我慢ばかりしている」65.2%、「しつけのいきすぎがあった」54.2%となっています。



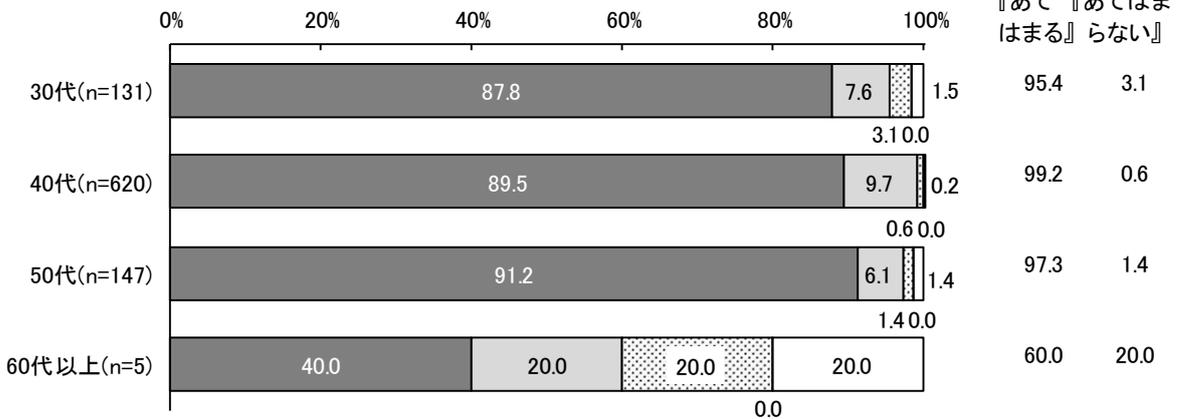
### 【年齢別】

年齢別にみると、「子育てが楽しい」、「しつけのいきすぎがあった」の「あてはまる」ではが30代から50代へ年齢が上がるにしたがって、減少の傾向が見られます。

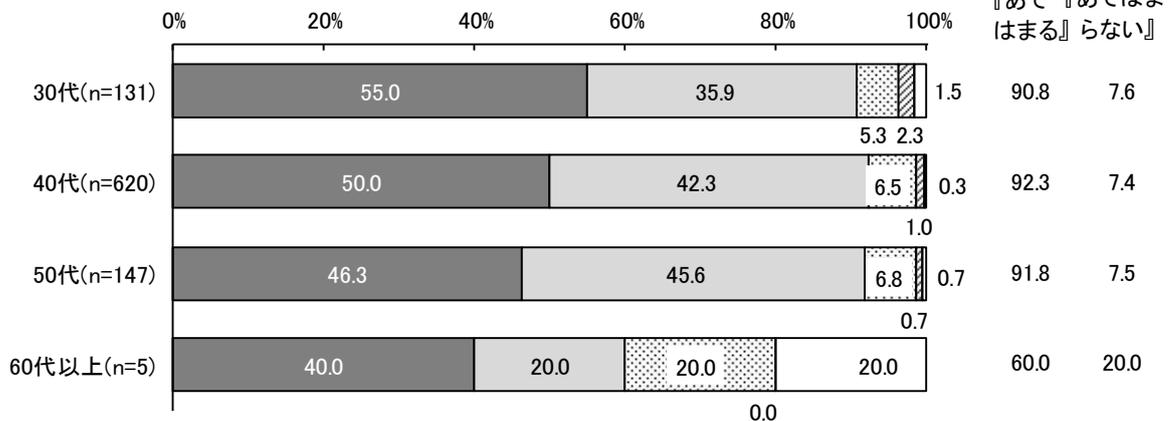
〈家族としての絆が芽生えた〉



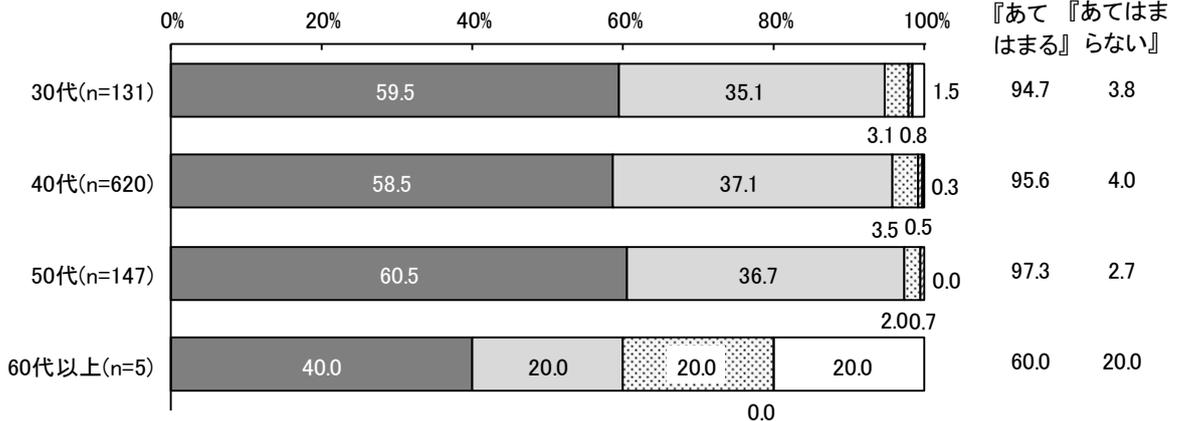
〈子どもがいてよかった〉



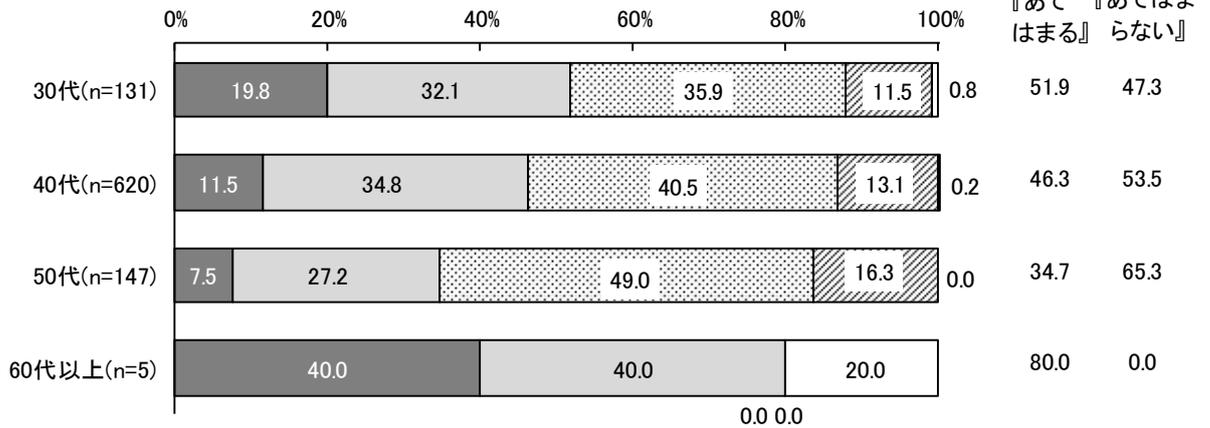
〈子育てが楽しい〉



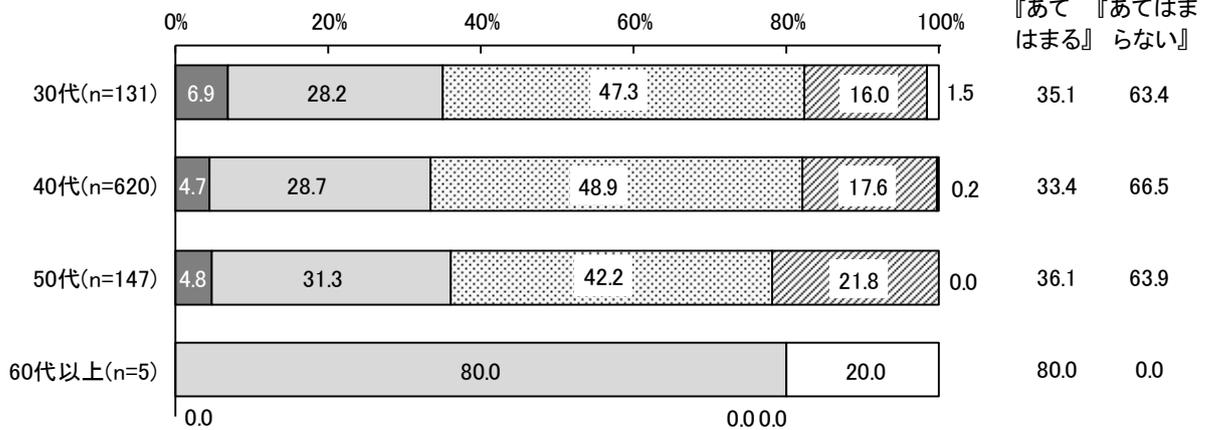
〈子どもと過ごす時間を大切にしている〉



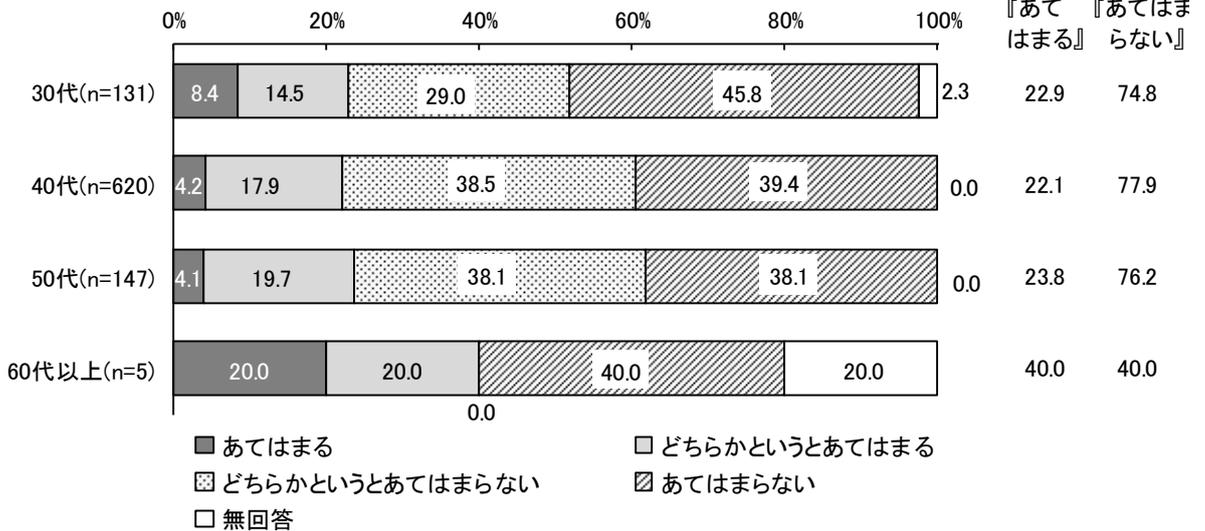
〈しつけのいきすぎがあった〉



〈子どもを育てるために我慢ばかりしている〉



〈子育ては孤独だと感じる〉



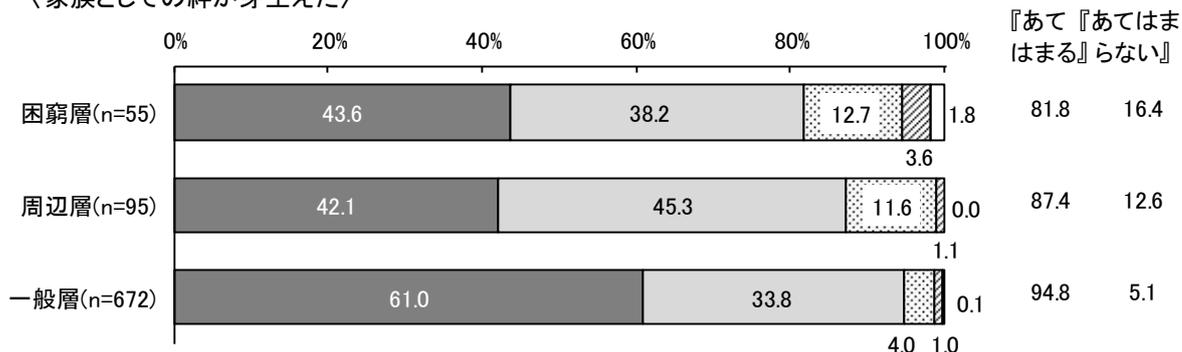
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、「子どもがいてよかった」で『あてはまる』は周辺層が最も多く、次いで一般層、困窮層となっています。P37 の他の項目では『あてはまる』は一般層が最も多く、次いで周辺層、困窮層となっています。

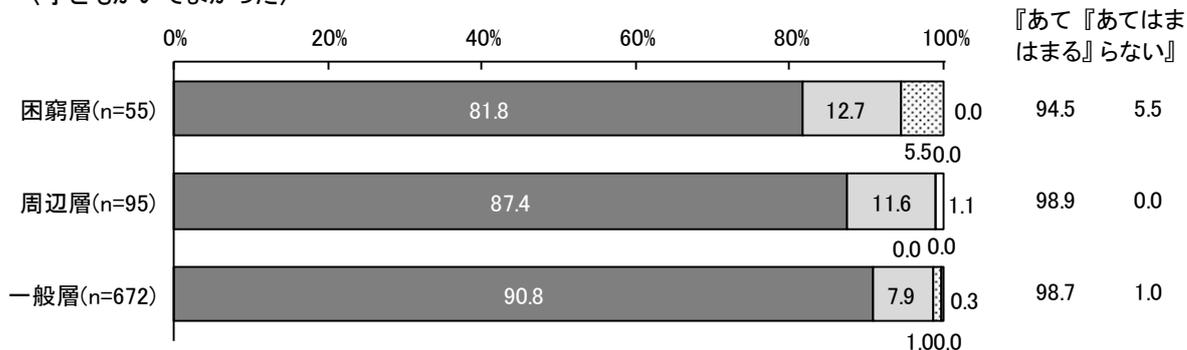
「しつけのいきすぎがあった」では『あてはまる』は困窮層が最も多く、次いで一般層、周

辺層となっています。P38 他の項目では『あてはまる』は困窮層が最も多く、次いで周辺層、一般層となっています。

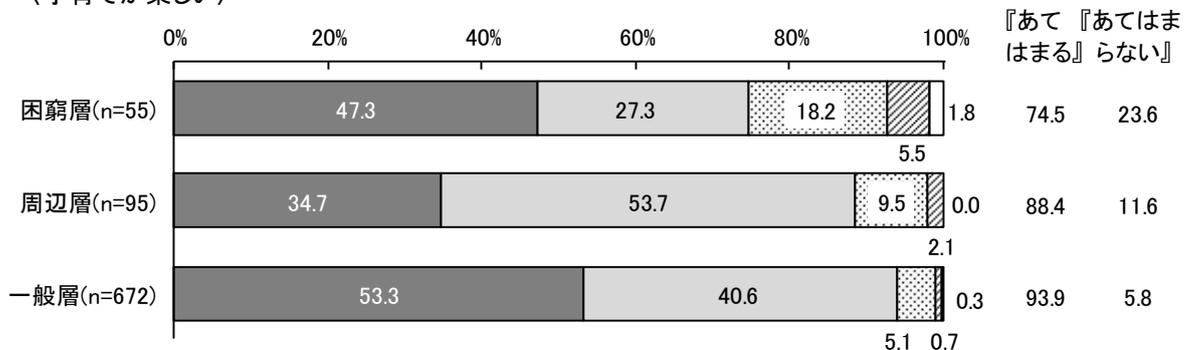
〈家族としての絆が芽生えた〉



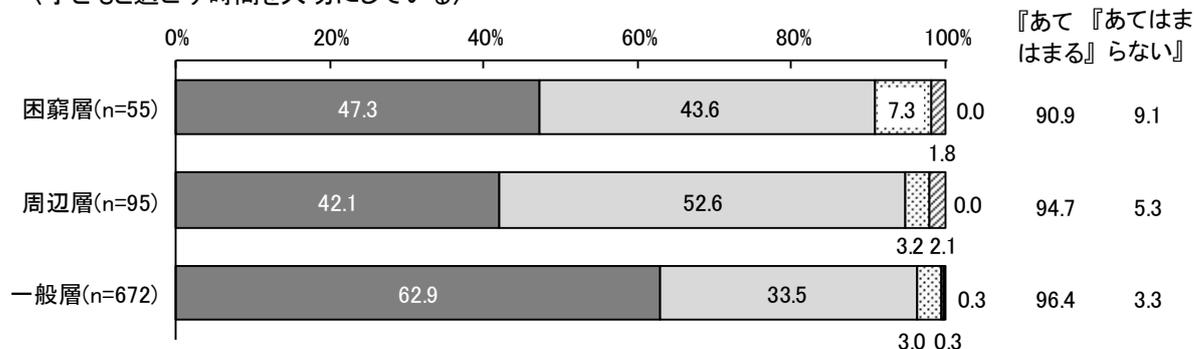
〈子どもがいてよかった〉



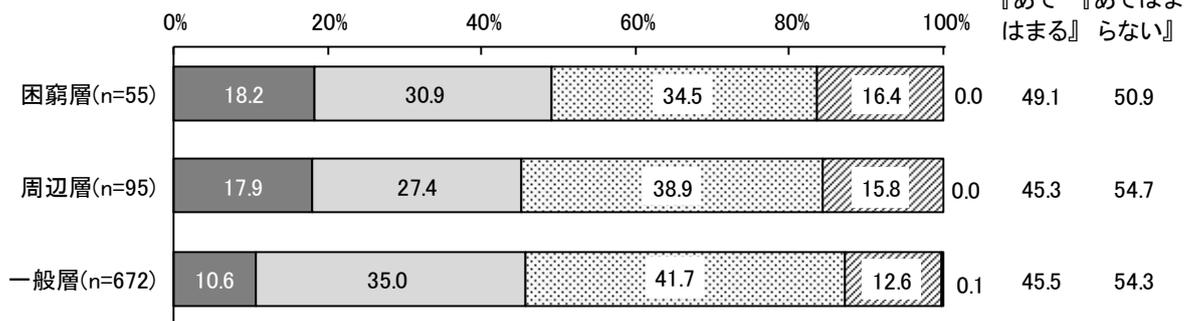
〈子育てが楽しい〉



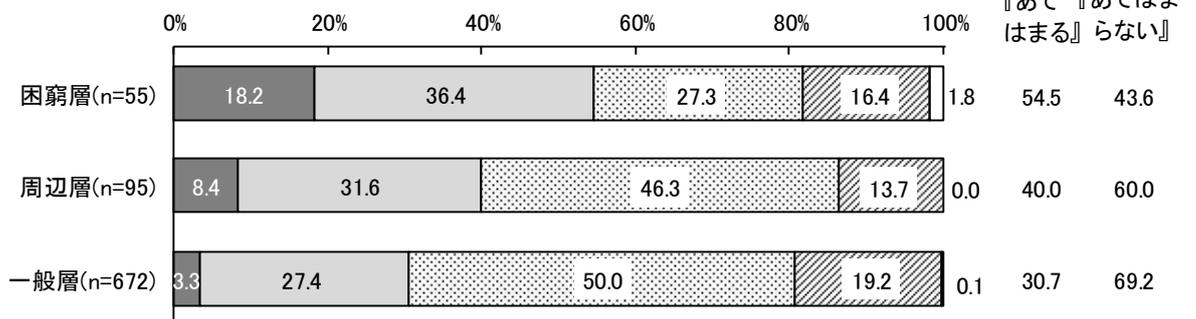
〈子どもと過ごす時間を大切にしている〉



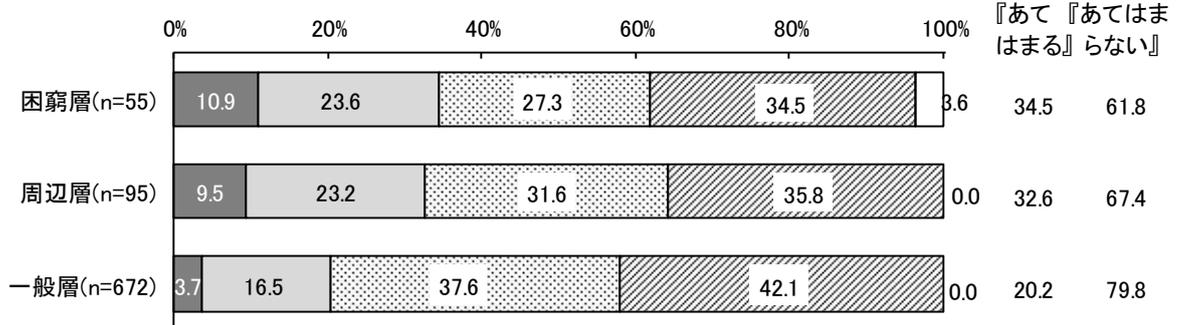
〈しつけのいきすぎがあった〉



〈子どもを育てるために我慢ばかりしている〉



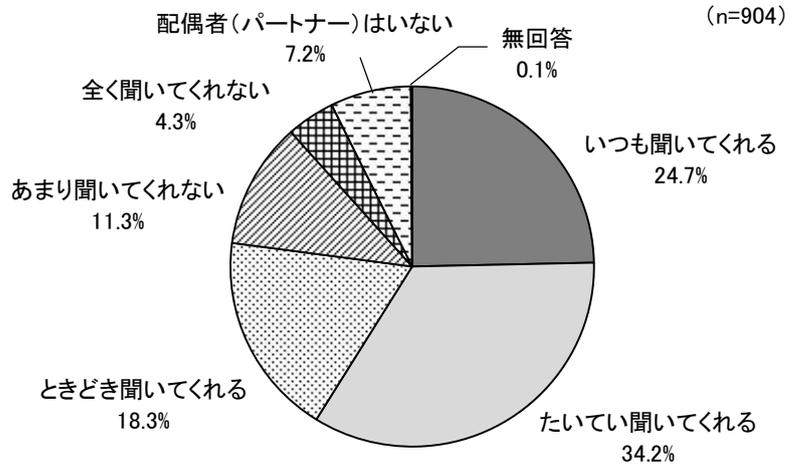
〈子育ては孤独だと感じる〉



- あてはまる
- どちらかというにあてはまる
- ▨ どちらかというにあてはまらない
- ▩ あてはまらない
- 無回答

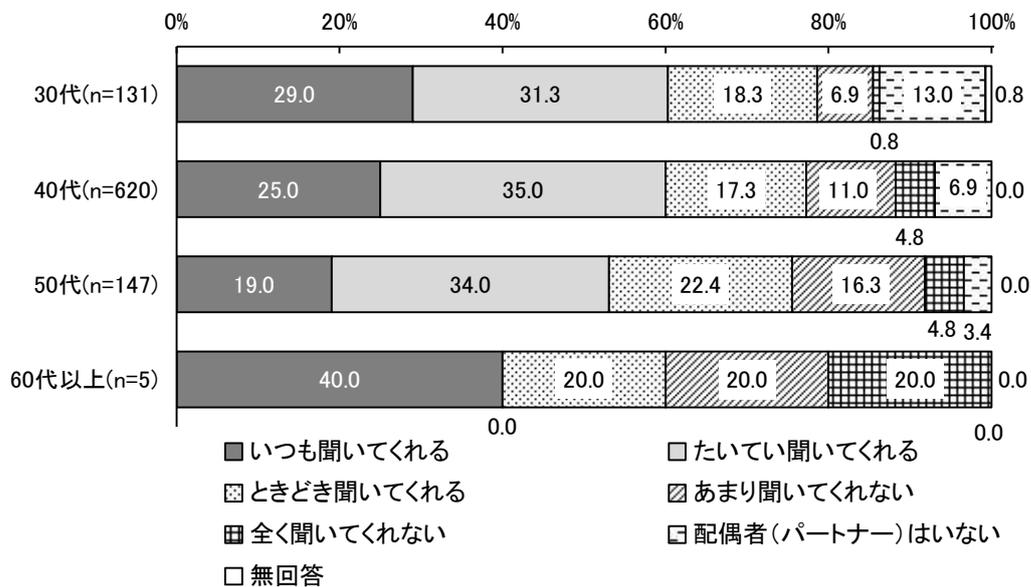
問 10 配偶者（パートナー）は、あなたの悩みや心配ごとなどの話を聞いてくれますか。

「たいてい聞いてくれる」が34.2%で最も多く、次いで「いつも聞いてくれる」が24.7%、「ときどき聞いてくれる」が18.3%、「あまり聞いてくれない」が11.3%、「配偶者（パートナー）はいない」が7.2%、「全く聞いてくれない」が4.3%となっています。



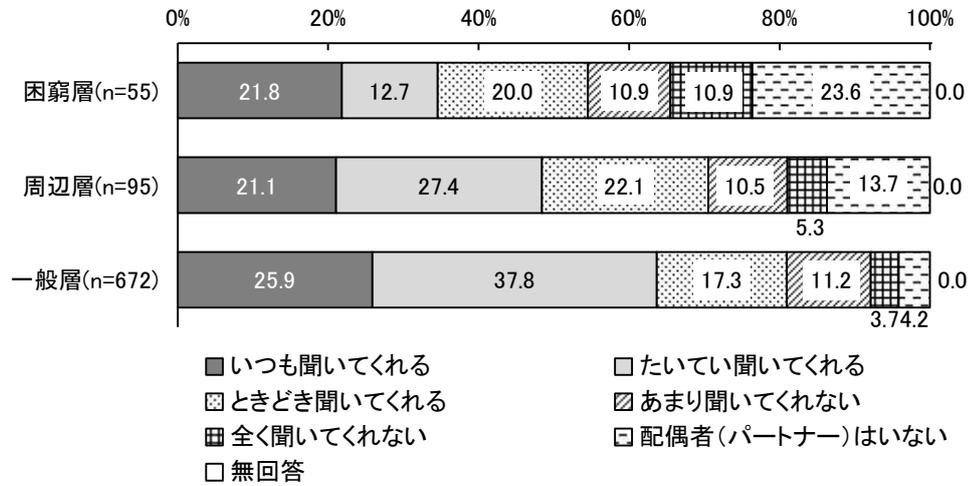
【年齢別】

年齢別にみると、30代から50代では「たいてい聞いてくれる」が多くなっています。50代では「ときどき聞いてくれる」が2割以上となっています。



### 【生活困難度別】

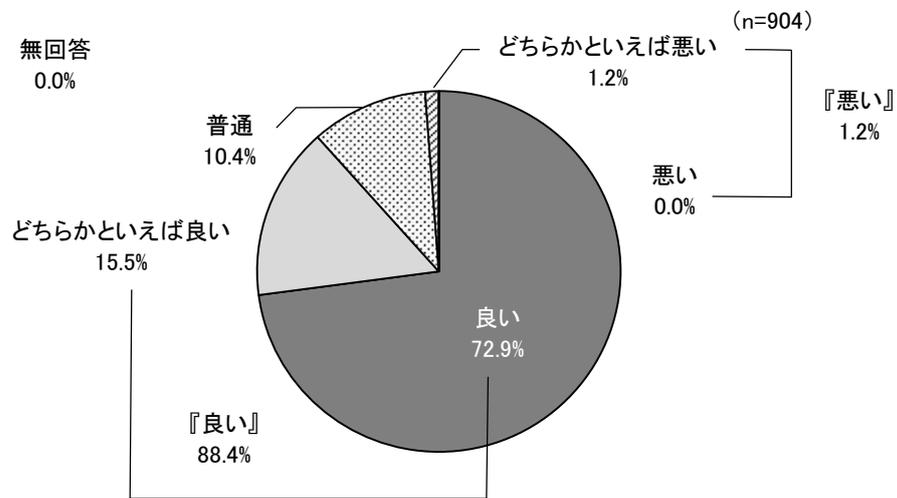
生活困難度別にみると、一般層、周辺層では「たいてい聞いてくれる」が、困窮層では「配偶者（パートナー）はいない」が最も多くなっています。



### (3) お子さんについて

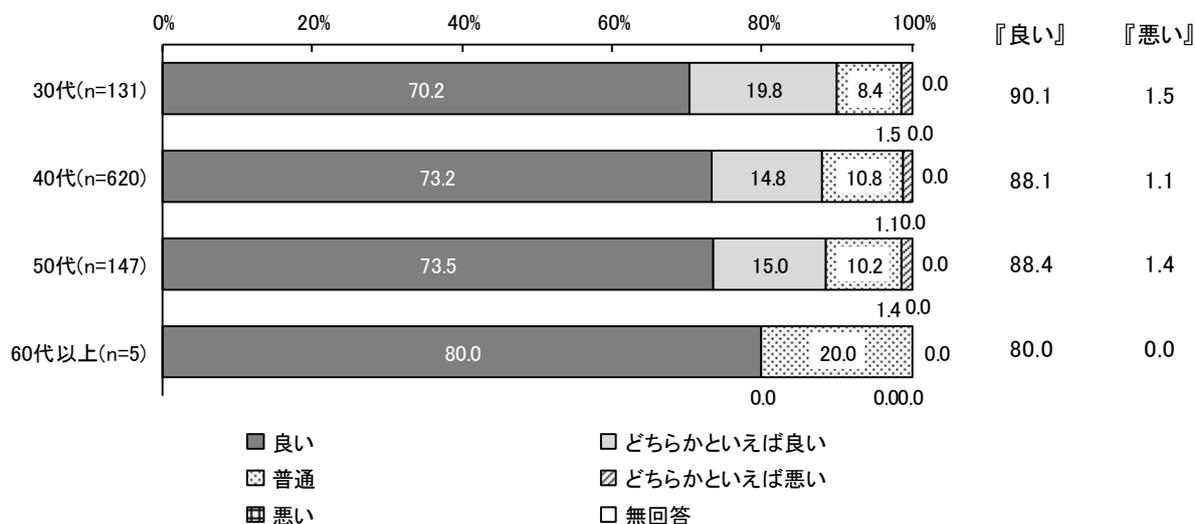
問 11 お子さんの健康状態についてうかがいます。

『良い』（＝「良い」＋「どちらかといえば良い」）が 88.4%、「普通」が 10.4%、『悪い』（＝「どちらかといえば悪い」＋「悪い」）が 1.2%となっています。



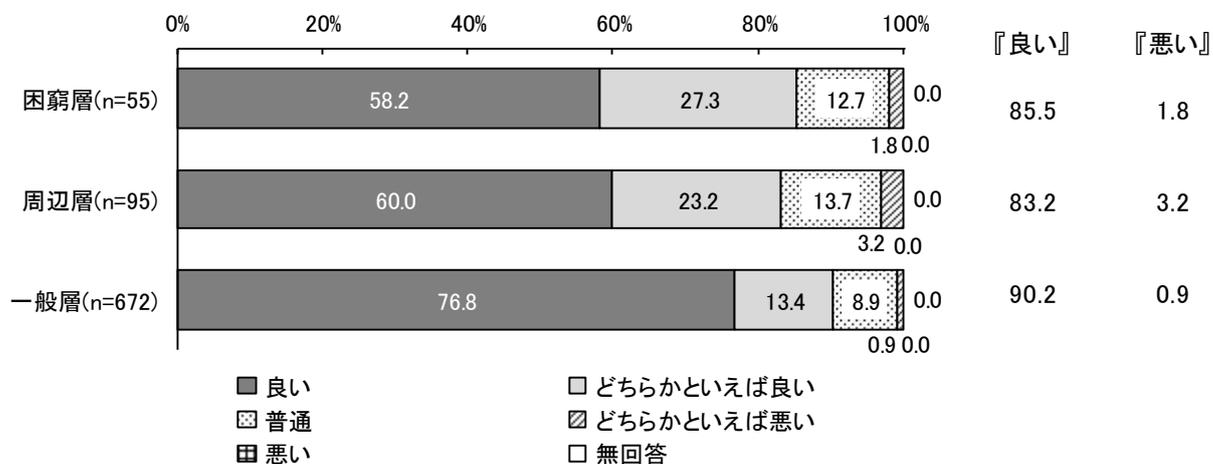
### 【年齢別】

年齢別にみると、いずれも「良い」が最も多くなっています。『良い』はいずれも8割以上となっており、30代は90.1%となっています。



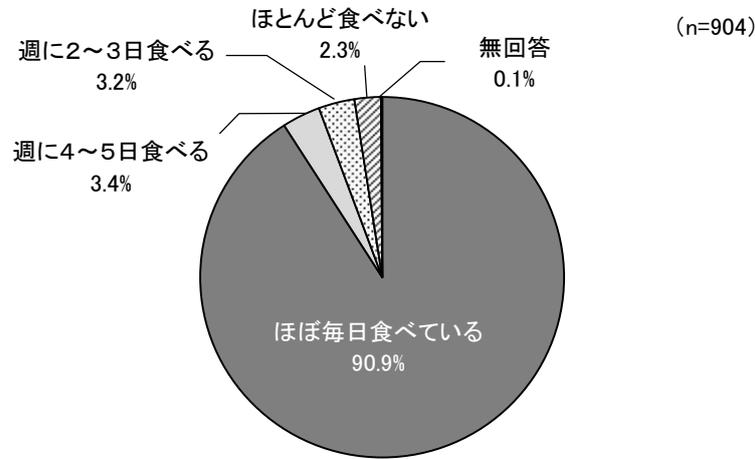
### 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、いずれも『良い』は8割以上となっており、一般層では90.2%となっています。いずれも「良い」が最も多く、一般層76.8%、周辺層60.0%、困窮層58.2%となっています。



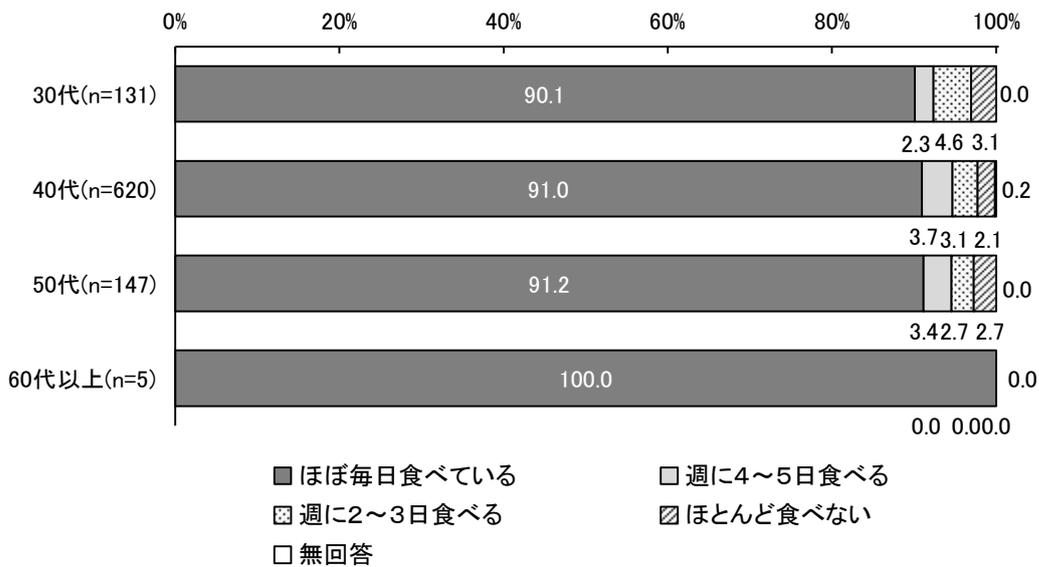
問 12 お子さんは朝食を食べていますか。

「ほぼ毎日食べている」が90.9%で最も多く、次いで「週に4～5日食べる」が3.4%、「週に2～3日食べる」が3.2%、「ほとんど食べない」が2.3%となっています。



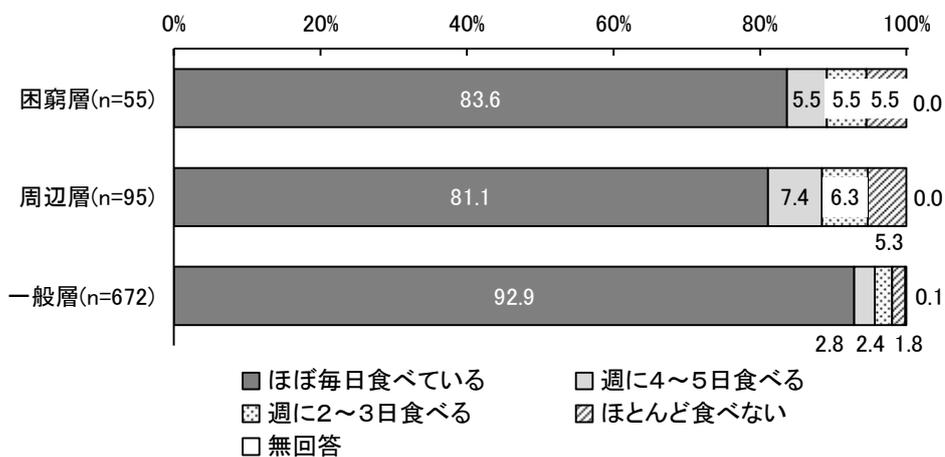
【年齢別】

年齢別にみると、いずれも「ほぼ毎日食べている」が最も多くなっています。



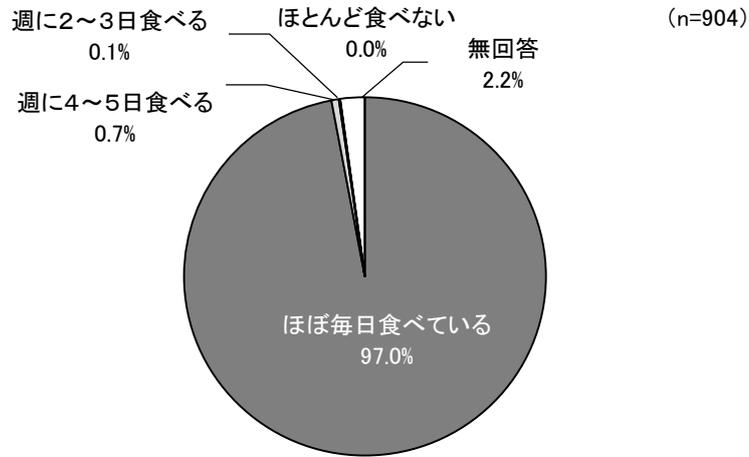
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、いずれも「ほぼ毎日食べている」が多くなっています。



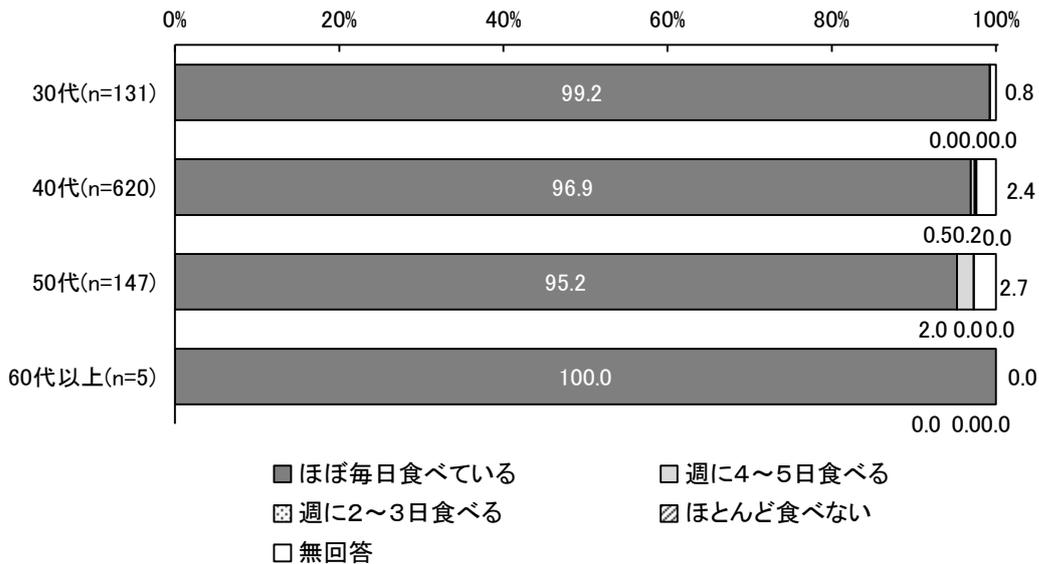
問 13 お子さんは夕食を食べていますか。

「ほぼ毎日食べている」が97.0%で最も多く、次いで「週に4～5日食べる」が0.7%、「週に2～3日食べる」が0.1%となっています。



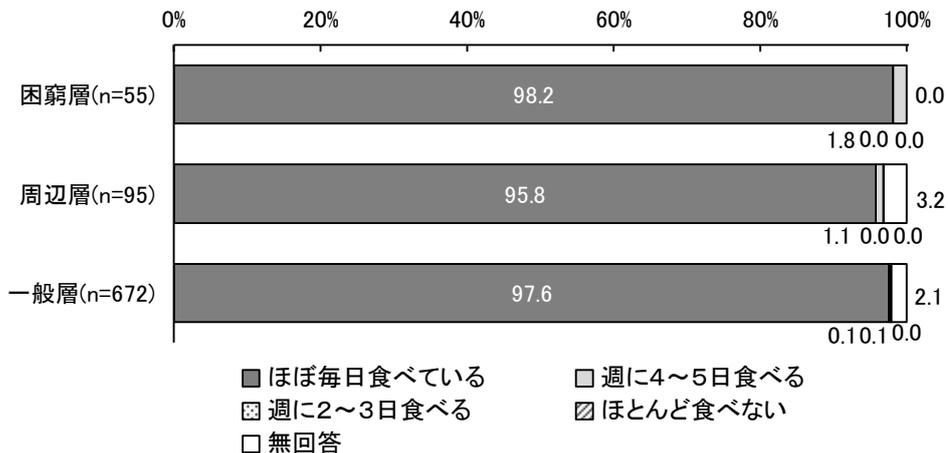
【年齢別】

年齢別にみると、いずれも「ほぼ毎日食べている」が最も多くなっています。またいずれも朝食を「毎日食べている」割合よりも多くなっています。



【生活困難度別】

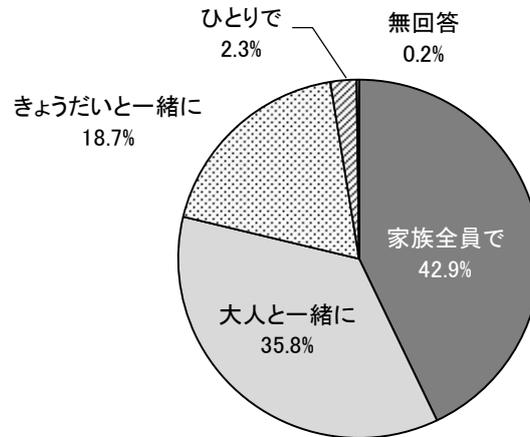
生活困難度別にみると、いずれも「ほぼ毎日食べている」が最も多くなっています。またいずれも朝食を「毎日食べている」割合よりも多く、9割を超えています。



問 14 お子さんは、誰と食事をすることが多いですか。

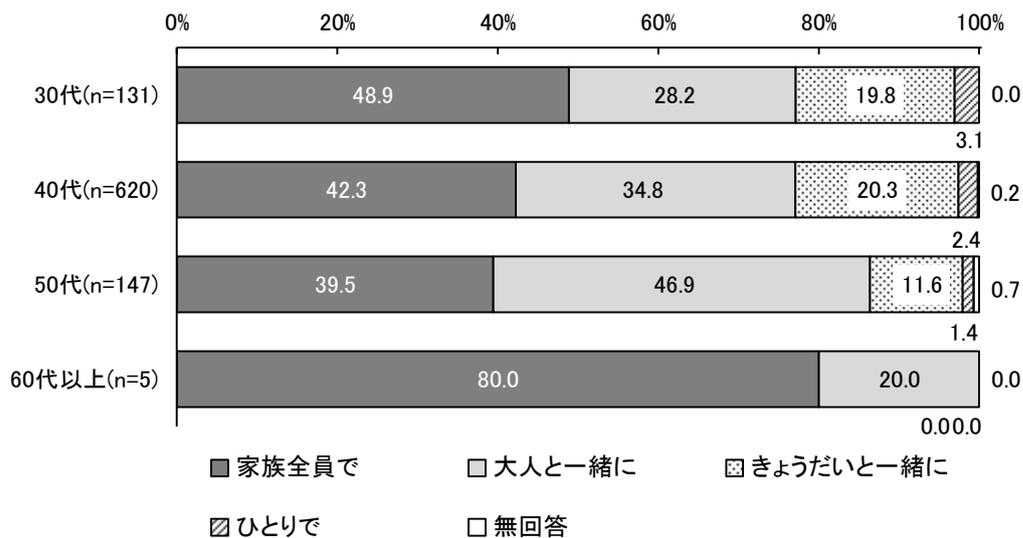
「家族全員で」が42.9%で最も多く、次いで「大人と一緒に」が35.8%、「きょうだいと一緒に」が18.7%、「ひとりで」が2.3%となっています。

(n=904)



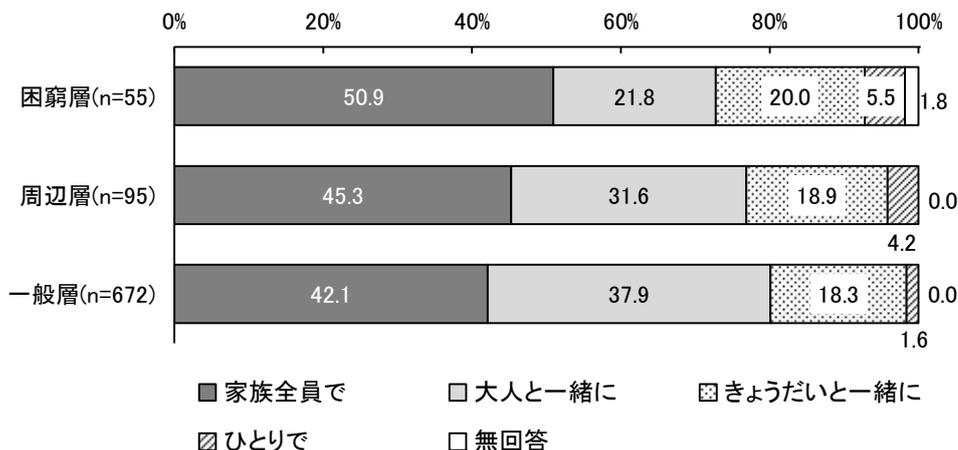
【年齢別】

年齢別にみると、50代を除き、「家族全員で」が最も多くなっています。50代では「大人と一緒に」が最も多くなっています。「ひとりで」は30代が最も多くなっています。



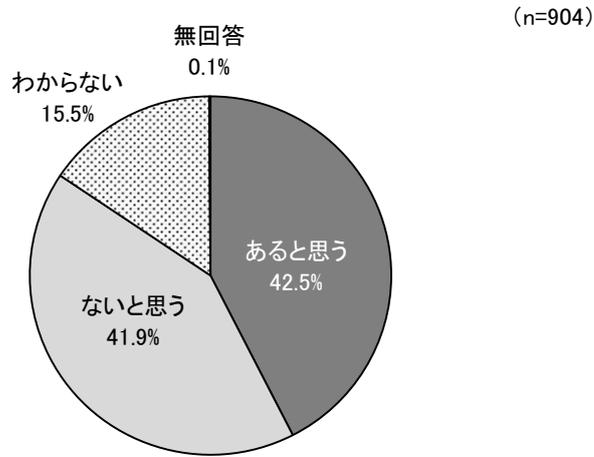
【生活困難度別】

生活困難度別にみると、いずれも「家族全員で」が最も多く、次いで「大人と一緒に」、「きょうだいと一緒に」となっています。



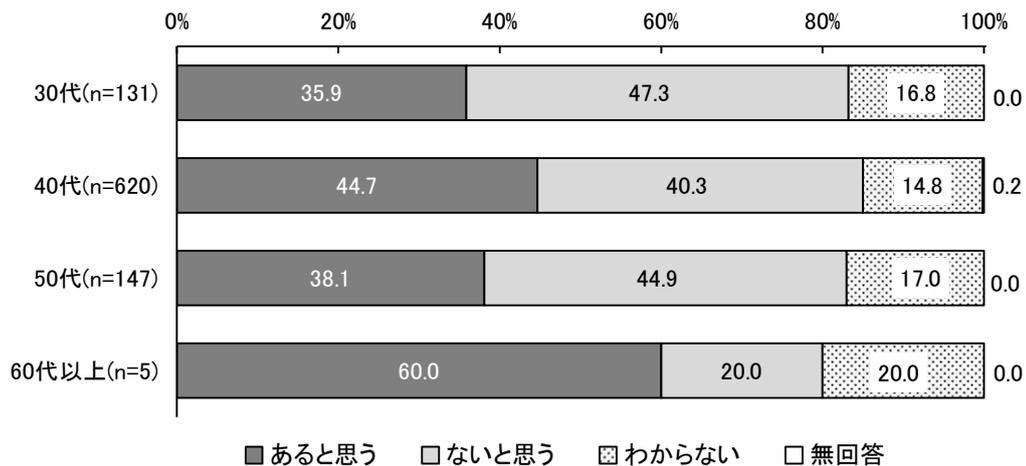
問 15 お子さんは、今、心配ごとや悩みがありますか。

「あると思う」が 42.5% で最も多く、次いで「ないと思う」が 41.9%、「わからない」が 15.5% となっています。



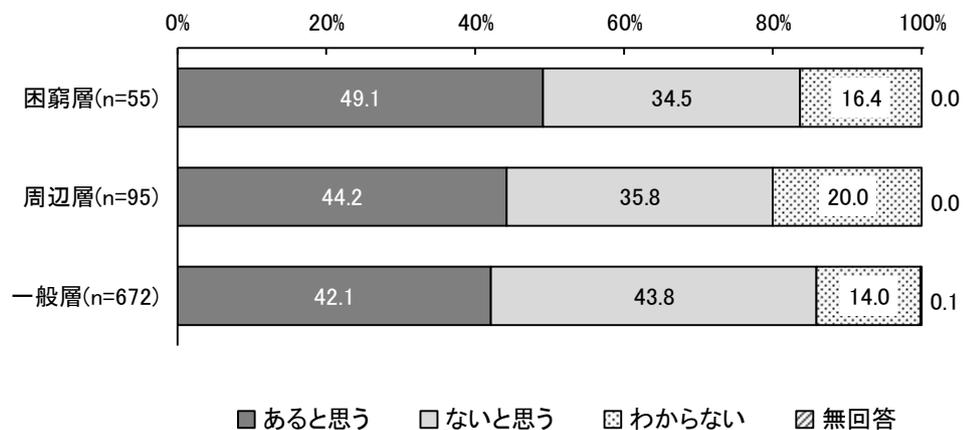
【年齢別】

年齢別にみると、30代、50代では「あると思う」より「ないと思う」の方が多く、40代、60代以上では「ないと思う」より「あると思う」の方が多くなっています。



【生活困難度別】

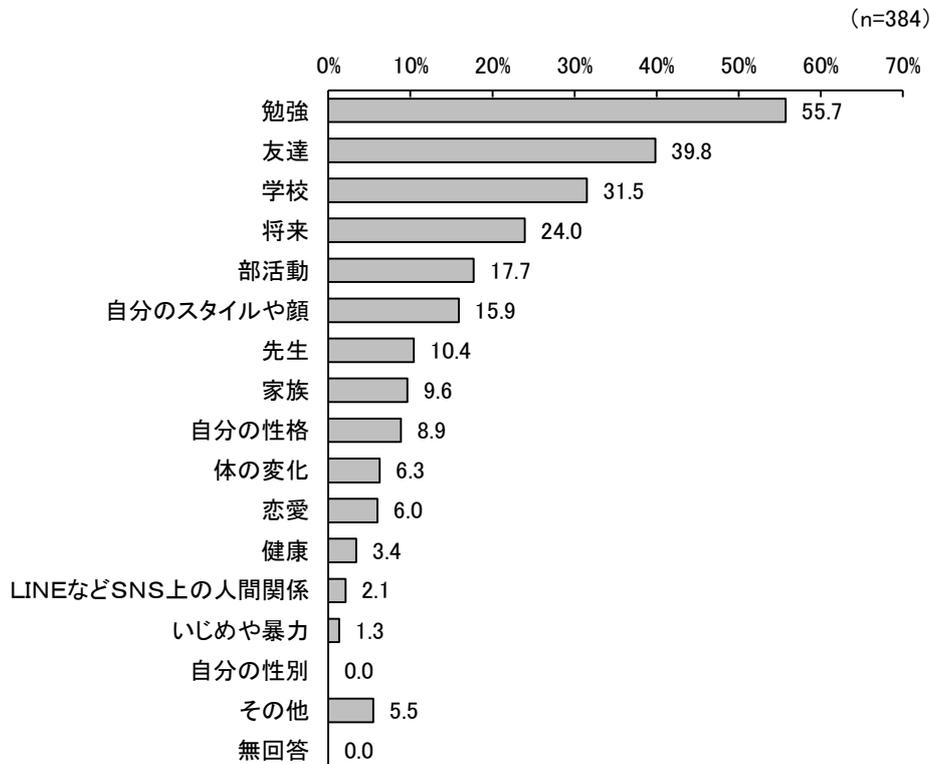
生活困難度別にみると、困窮層、周辺層では「ないと思う」より「あると思う」の方が多く、一般層では「あると思う」より「ないと思う」の方が多くなっています。



問 15 で「あると思う」と回答した方

問 15-1 お子さんの心配ごとや悩みはどのようなことだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

「勉強」が 55.7% で最も多く、次いで「友達」が 39.8%、「学校」が 31.5%、「将来」が 24.0%、「部活動」が 17.7%、「自分のスタイルや顔」が 15.9% となっています。



【年齢・生活困難度別】

年齢別にみると、いずれも「勉強」が最も多く、次いで「友達」となっています。

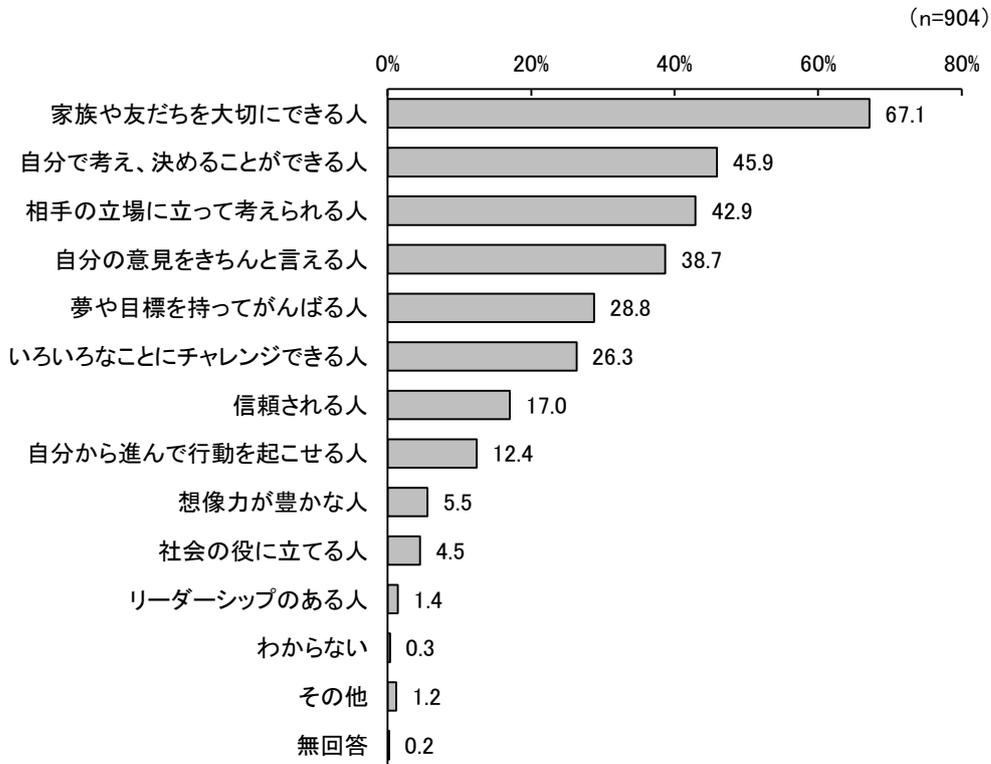
生活困難度別にみても同様に、いずれも「勉強」が最も多く、次いで「友達」となっています。

単位: %

	(n=)	家族	友達	LINEなどSNS上の人間関係	学校	勉強	先生	部活動	恋愛	健康	将来	自分の性別	自分の性格	自分のスタイルや顔	体の変化	いじめや暴力	その他	無回答
30代	47	8.5	44.7	4.3	42.6	48.9	10.6	12.8	10.6	2.1	21.3	0.0	4.3	14.9	6.4	0.0	6.4	0.0
40代	277	10.5	38.6	1.8	31.0	56.7	9.7	15.5	5.1	3.2	24.2	0.0	9.0	17.3	6.9	1.4	4.7	0.0
50代	56	5.4	39.3	1.8	25.0	53.6	14.3	33.9	7.1	5.4	25.0	0.0	12.5	10.7	1.8	1.8	7.1	0.0
60代以上	3	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
困窮層	27	7.4	44.4	7.4	33.3	51.9	14.8	11.1	11.1	7.4	22.2	0.0	7.4	18.5	7.4	7.4	3.7	0.0
周辺層	42	9.5	47.6	2.4	38.1	50.0	9.5	21.4	4.8	7.1	21.4	0.0	11.9	26.2	7.1	2.4	4.8	0.0
一般層	283	10.6	38.9	1.4	29.7	55.5	9.9	18.7	4.6	2.1	23.3	0.0	7.8	13.4	6.4	0.7	6.4	0.0

問 16 あなたは、お子さんに将来どのような人になってほしいですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

「家族や友だちを大切にできる人」が67.1%で最も多く、次いで「自分で考え、決めることができる人」が45.9%、「相手の立場に立って考えられる人」が42.9%となっています。



### 【年齢・生活困難度別】

年齢別にみると、30～50代で「家族や友だちを大切にできる人」が最も多くなっています。次いで40、50代では「自分で考え、決めることができる人」が多く、30代では「自分の意見をきちんと言える人」が多くなっています。

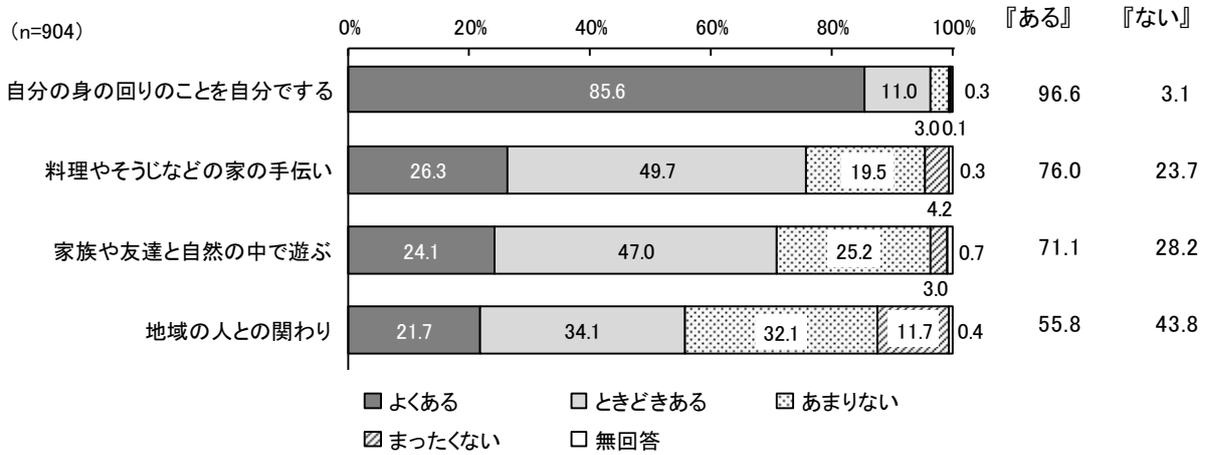
生活困難度別にみると、いずれも「家族や友だちを大切にできる人」が最も多くなっています。次いで一般層、周辺層では「自分で考え、決めることができる人」が多く、困窮層では「自分の意見をきちんと言える人」が多くなっています。

単位: %

	(n=)	リーダーシップのある人	自分の意見をきちんと言える人	いろいろなことにチャレンジできる人	家族や友だちを大切にできる人	自分から進んで行動を起こせる人	想像力が豊かな人	夢や目標を持ってがんばる人	自分で考え、決めることができる人	相手の立場に立って考えられる人	信頼される人	社会の役に立てる人	わからない	その他	無回答
30代	131	4.6	43.5	29.8	67.9	16.0	2.3	22.9	39.7	41.2	13.7	3.1	0.8	3.1	0.8
40代	620	0.8	37.7	26.6	69.4	9.8	6.3	28.2	46.6	42.9	17.7	4.4	0.3	1.1	0.2
50代	147	1.4	36.7	21.8	58.5	19.0	5.4	35.4	49.7	44.9	17.0	6.8	0.0	0.0	0.0
60代以上	5	0.0	80.0	20.0	20.0	40.0	0.0	60.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
困窮層	55	1.8	45.5	25.5	60.0	14.5	10.9	38.2	40.0	41.8	10.9	1.8	0.0	1.8	0.0
周辺層	95	2.1	41.1	26.3	69.5	13.7	2.1	25.3	49.5	45.3	16.8	2.1	0.0	1.1	0.0
一般層	672	1.3	37.6	26.5	67.9	12.5	5.5	28.1	45.1	43.6	18.8	4.9	0.1	0.9	0.3

問 17 あなたは、次のようなことをお子さんにどれだけ経験させていますか。

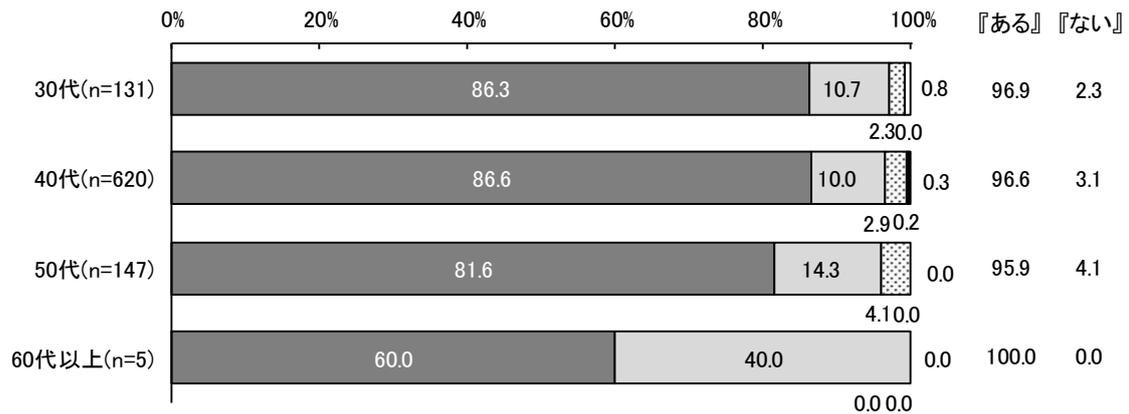
『ある』（＝「よくある」＋「時々ある」）は「自分の身の回りのことを自分でする」が最も多く、次いで「料理やそうじなどの家の手伝い」、「家族や友達と自然の中で遊ぶ」となっています。



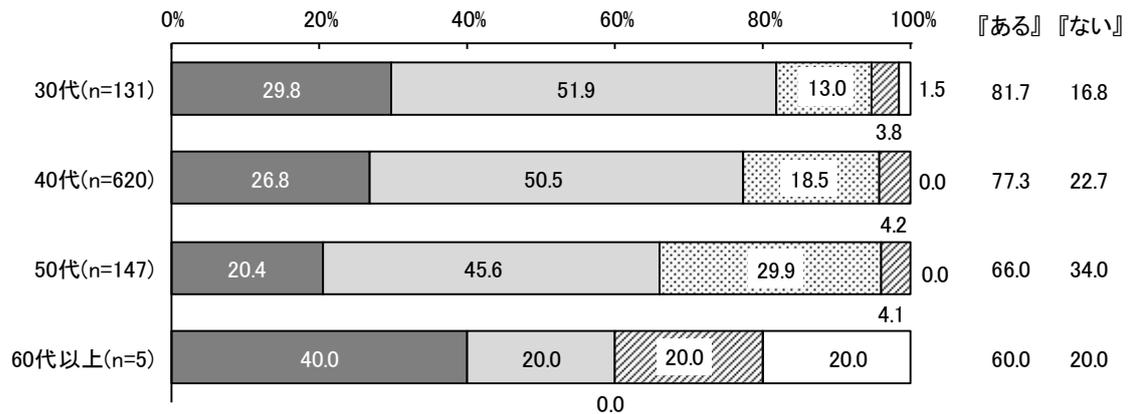
【年齢別】

年齢別にみると、『ある』は「地域の人との関わり」以外では30代、次いで40代、50代と多くなっています。「地域の人との関わり」は40代が最も多くなっています。

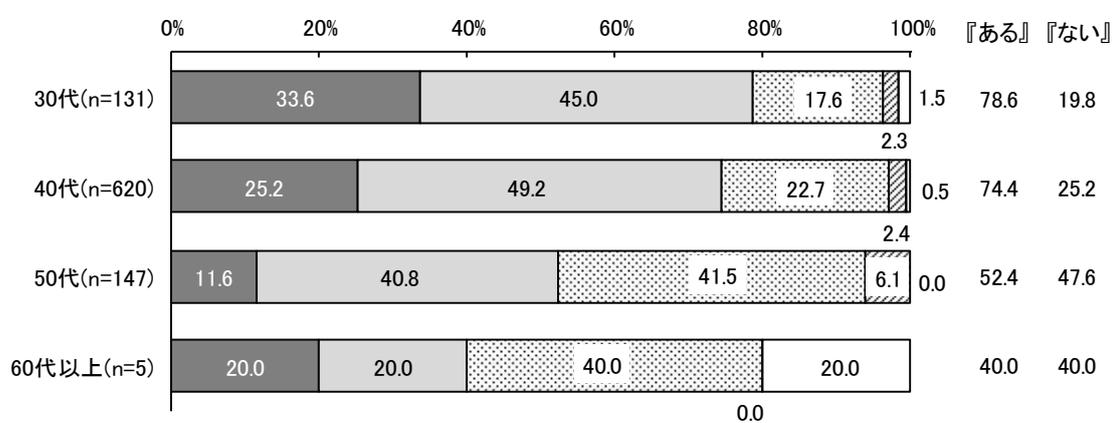
〈自分の身の回りのことを自分でする〉



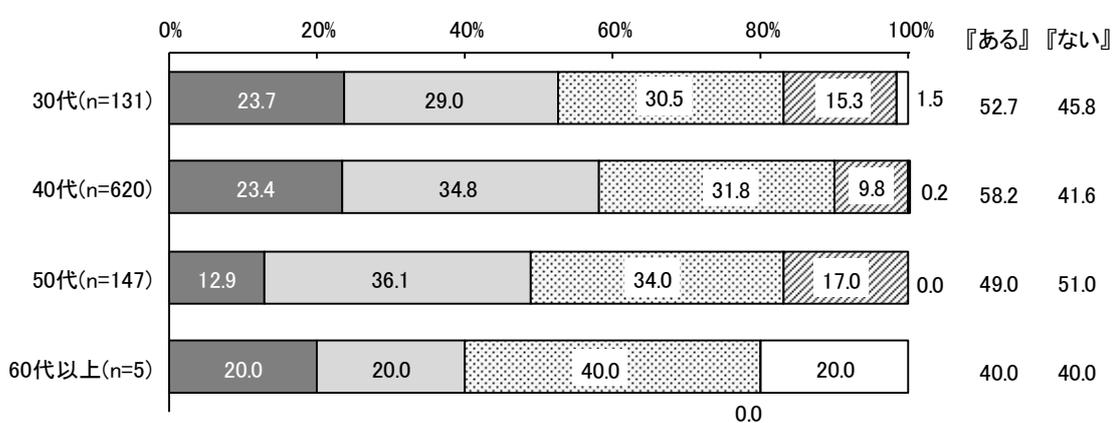
〈料理やそうじなどの家の手伝い〉



〈家族や友達と自然の中で遊ぶ〉



〈地域の人との関わり〉



■ よくある □ ときどきある ▨ あまりない ▩ まったくない □ 無回答

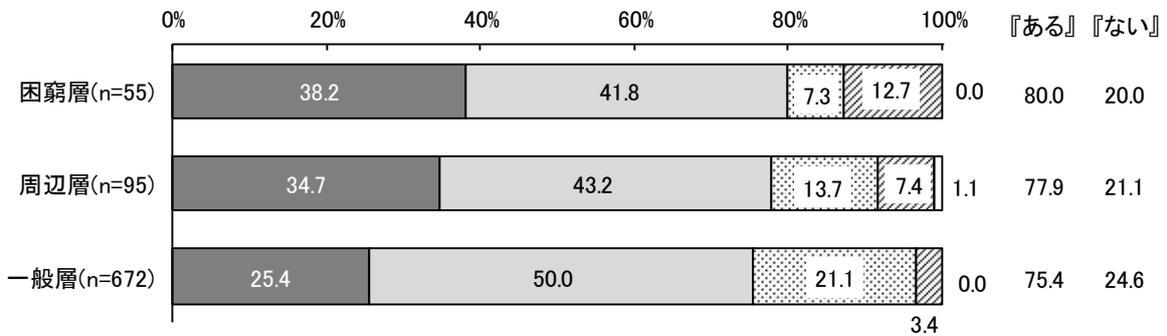
## 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、『ある』は「自分の身の回りのことを自分でする」、「地域の人との関わり」では一般層が最も多く、「料理やそうじなどの家の手伝い」、「家族や友達と自然の中で遊ぶ」では困窮層が最も多くなっています。

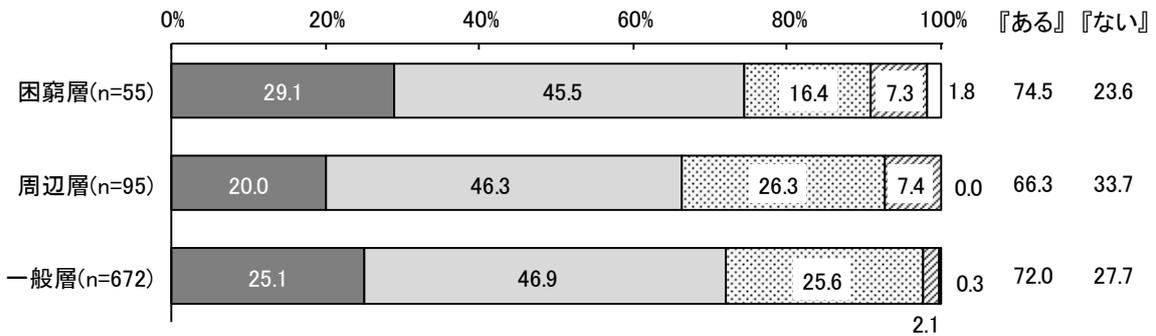
### 〈自分の身の回りのことを自分でする〉



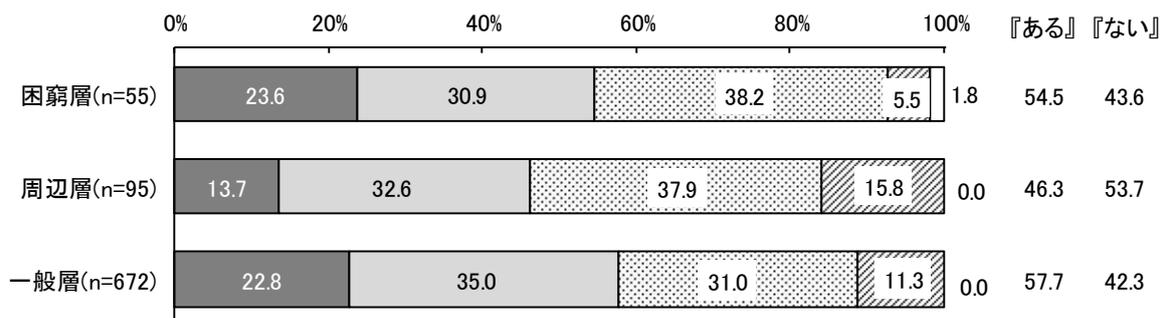
### 〈料理やそうじなどの家の手伝い〉



### 〈家族や友達と自然の中で遊ぶ〉



### 〈地域の人との関わり〉

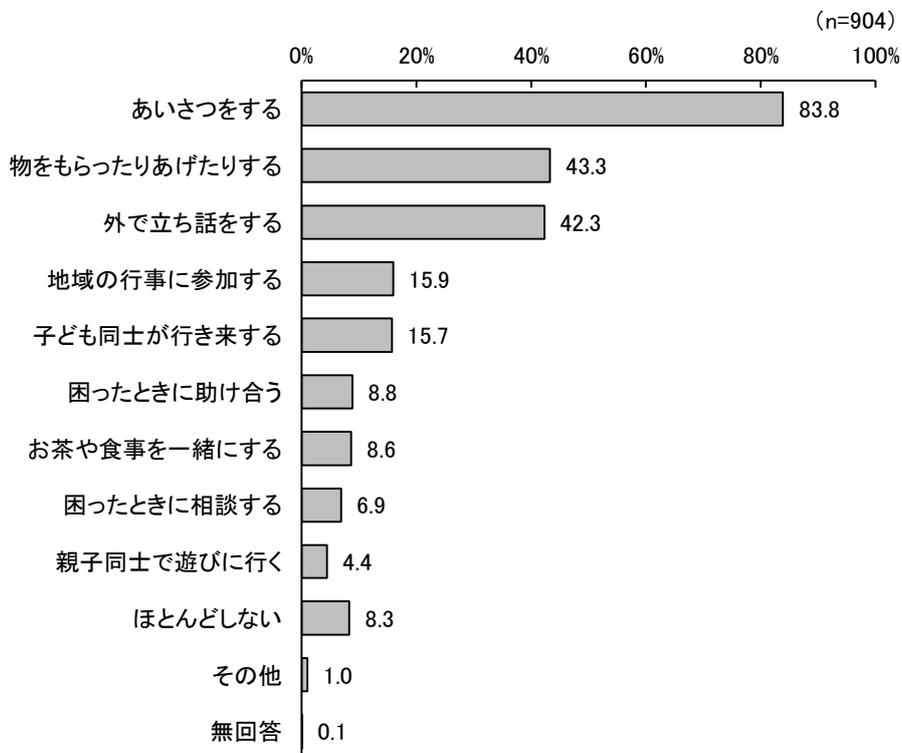


■ よくある □ ときどきある ▨ あまりない ▩ まったくない □ 無回答

#### (4) 地域や友人・知人、社会との関係について

問 18 あなたのご家庭での近所づきあいはいかがですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

「あいさつをする」が83.8%で最も多く、次いで「物をもらったりあげたりする」が43.3%、「外で立ち話をする」が42.3%となっています。



#### 【年齢・生活困難度別】

年齢別にみると、いずれも「あいさつをする」が最も多くなっています。次いで30、40代では「物をもらったりあげたりする」が多く、50代では「外で立ち話をする」が多くなっています。また「地域の行事に参加する」は40代が最も多くなっています。

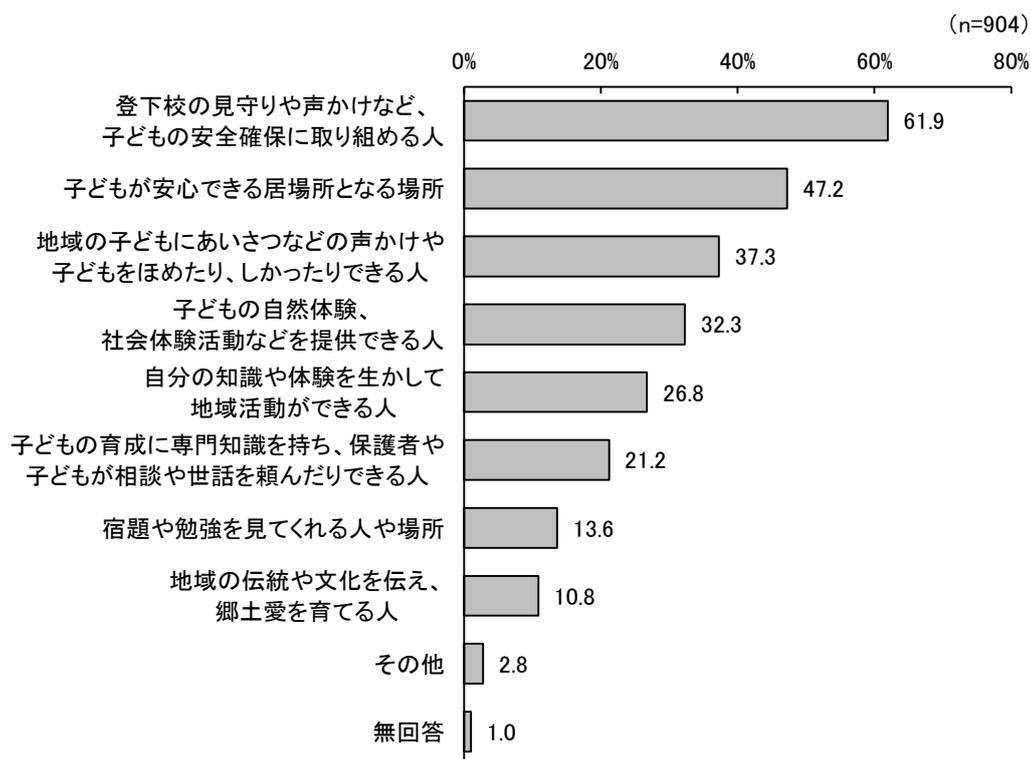
生活困難度別にみると、いずれも「あいさつをする」が最も多くなっています。次いで一般層、周辺層では「物をもらったりあげたりする」が多く、困窮層では「外で立ち話をする」が多くなっています。

単位: %

	(n=)	あいさつをする	外で立ち話をする	物をもらったりあげたりする	お茶や食事を一緒にする	困ったときに相談する	困ったときに助け合う	子ども同士が行き来する	親子同士で遊びに行く	地域の行事に参加する	ほとんどしない	その他	無回答
30代	131	80.9	37.4	42.0	6.1	3.8	5.3	21.4	4.6	13.0	9.2	3.1	0.8
40代	620	85.3	42.6	43.9	8.9	7.4	8.2	16.3	4.5	17.3	7.6	0.6	0.0
50代	147	79.6	46.3	42.2	10.2	7.5	15.0	8.2	4.1	13.6	9.5	0.7	0.0
60代以上	5	100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
困窮層	55	81.8	47.3	45.5	3.6	5.5	3.6	10.9	3.6	16.4	10.9	0.0	0.0
周辺層	95	87.4	36.8	41.1	6.3	6.3	6.3	13.7	3.2	15.8	10.5	2.1	0.0
一般層	672	83.8	42.3	43.3	9.4	6.5	9.8	16.4	4.8	15.5	7.6	0.7	0.0

問 19 子どもの育成を支援するため、「地域」では特にどのような人や場所が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める人」が 61.9%で最も多く、次いで「子どもが安心できる居場所となる場所」が 47.2%、「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」が 37.3%、「子どもの自然体験、社会体験活動などを提供できる人」が 32.3%、「自分の知識や体験を生かして地域活動ができる人」が 26.8%、「子どもの育成に専門知識を持ち、保護者や子どもが相談や世話を頼んだりできる人」が 21.2%となっています。



#### 【年齢・生活困難度別】

年齢別にみると、30～50代では「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める人」が最も多く、次いで「子どもが安心できる居場所となる場所」、「地域の子どもにあいさつなどの声掛けや子どもをほめたり、しかったりできる人」となっています。

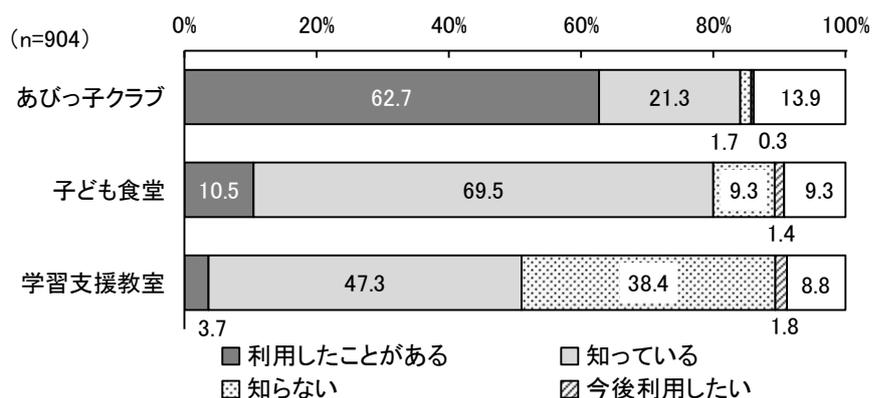
生活困難度別にみると、いずれも「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める人」が最も多く、次いで「子どもが安心できる居場所となる場所」、「地域の子どもにあいさつなどの声掛けや子どもをほめたり、しかったりできる人」となっています。

単位：%

	(n=)	自分の知識や体験を生かして地域活動ができる人	子どもの自然体験 社会体験活動などを提供できる人	地域の伝統や文化を伝え 郷土愛を育てる人	地域の子どもにあひさつなどの声かけや子どもをほめたりしかなかったりできる人	子どもの育成に専門知識を持ち 保護者や子どもが相談や世話を頼んだりできる人	登下校の見守りや声かけなど子どもの安全確保に取り組める人	宿題や勉強を見てくれる人や場所	子どもが安心して居場所となる場所	その他	無回答
30代	131	26.7	28.2	7.6	33.6	18.3	63.4	15.3	51.1	3.1	2.3
40代	620	25.8	34.4	11.3	38.5	20.2	62.1	14.0	47.4	2.6	1.0
50代	147	31.3	27.2	11.6	34.7	27.9	62.6	8.8	42.2	3.4	0.0
60代以上	5	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	60.0	60.0	0.0	0.0
困窮層	55	25.5	29.1	1.8	34.5	27.3	60.0	21.8	45.5	3.6	0.0
周辺層	95	25.3	31.6	7.4	30.5	24.2	56.8	17.9	54.7	3.2	1.1
一般層	672	26.3	31.4	12.1	37.8	21.3	63.5	12.1	47.3	2.2	1.0

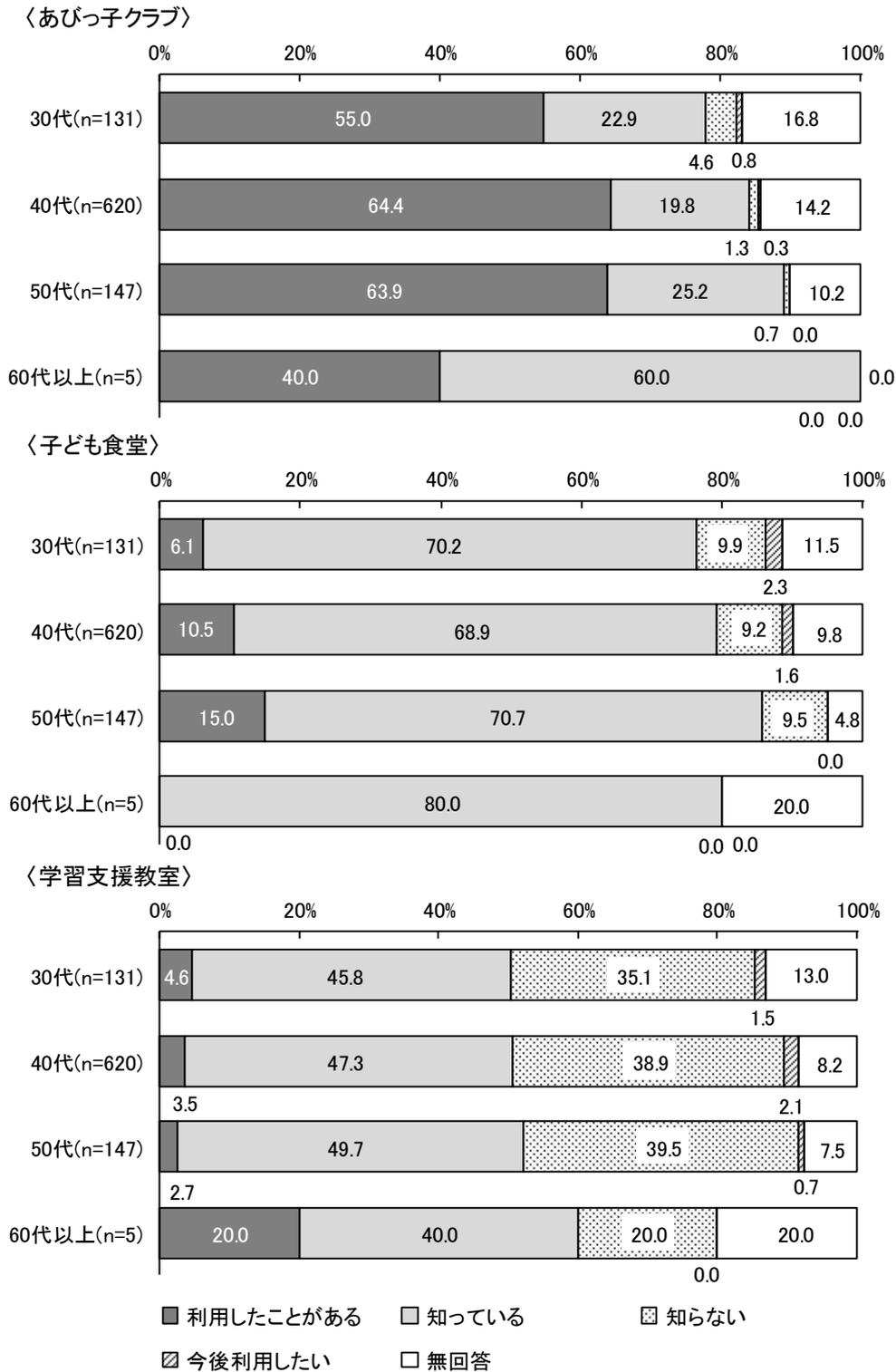
問 20 次の子どもの居場所について、あてはまるものをすべて選んでください。

「あびっ子クラブ」では「利用したことがある」が、「子ども食堂」、「学習支援教室」では「知っている」が最も多くなっています。



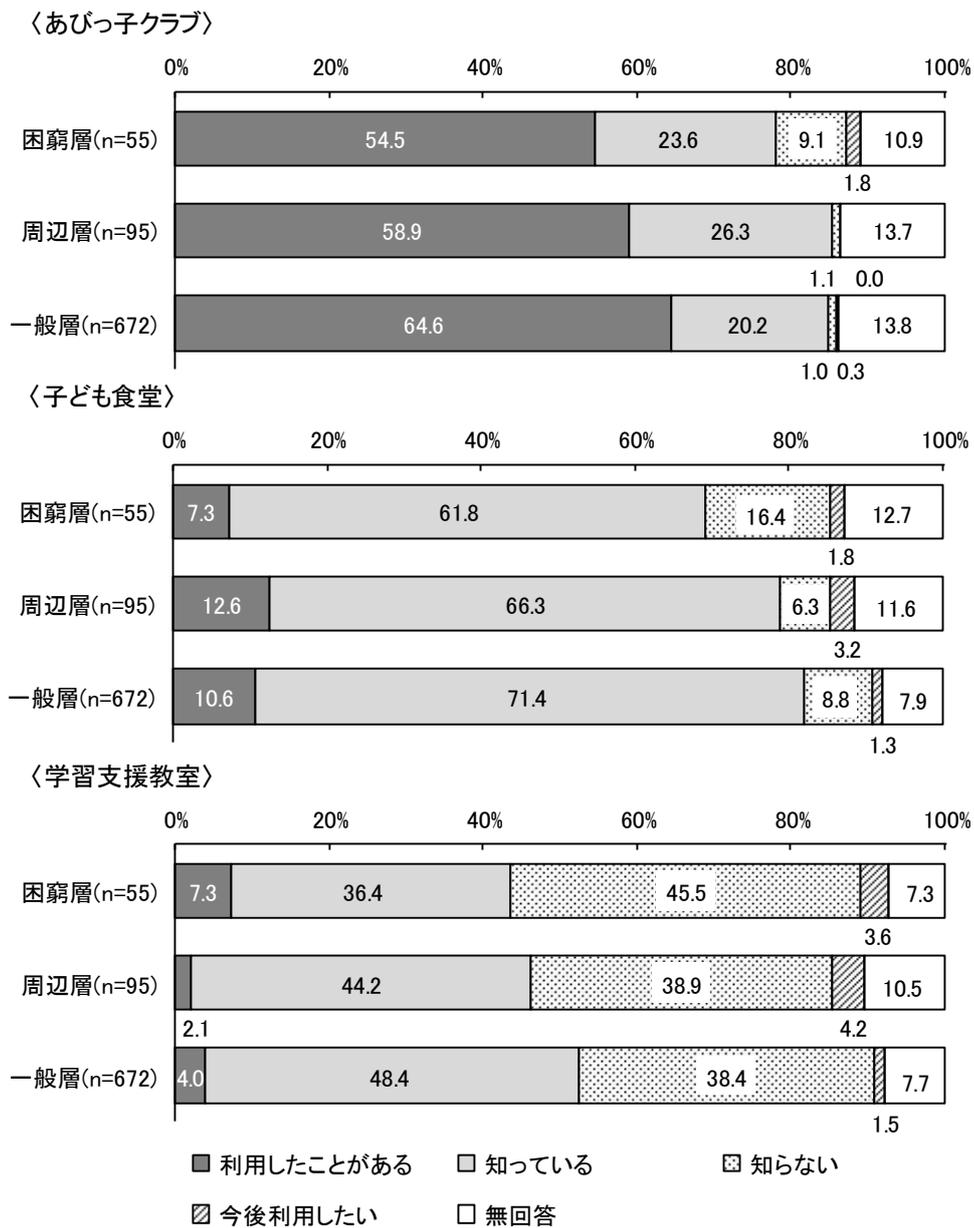
【年齢別】

年齢別にみると、30～50代で「あびっ子クラブ」では「利用したことがある」は5割以上となっており、「知っている」は約2割となっています。一方、「子ども食堂」では、「利用したことがある」は2割以下であり、「知っている」は約7割となっています。「学習支援教室」では「利用したことがある」は1割未満で、「知っている」は5割弱となっています。「知らない」は4割弱となっています。



## 【生活困難度別】

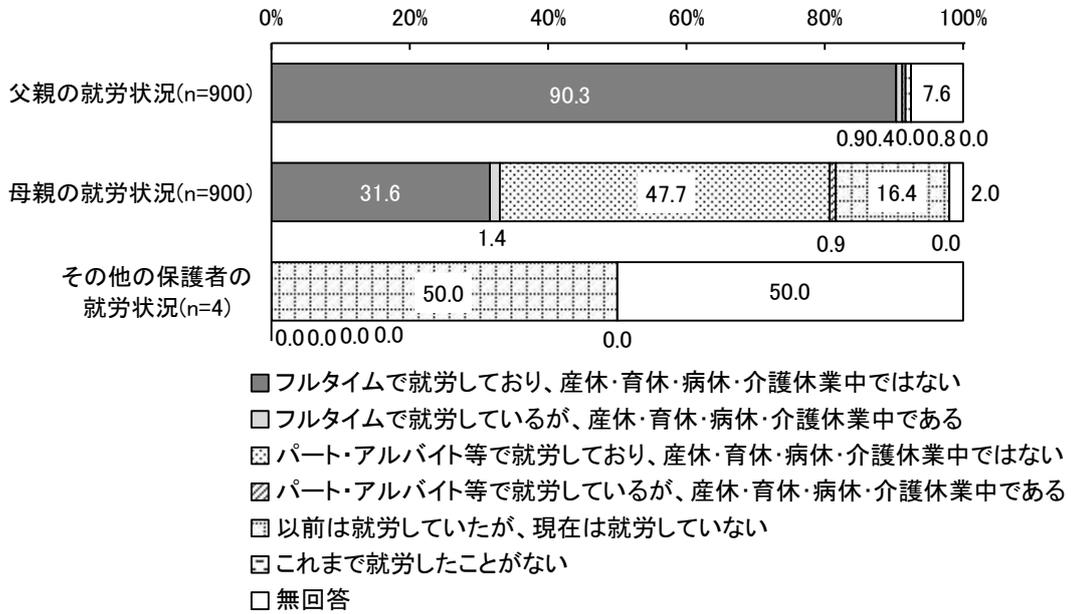
生活困難度別にみると、「あびっ子クラブ」では「利用したことがある」は一般層が最も多く、次いで周辺層、困窮層となっています。「子ども食堂」では「利用したことがある」は周辺層が最も多く、次いで一般層、困窮層となっており、「知っている」では一般層が最も多く、次いで周辺層、困窮層となっています。「学習支援教室」では「利用したことがある」は困窮層が最も多く、次いで一般層、周辺層となっており、「知っている」では一般層が最も多く、次いで周辺層、困窮層となっています。「知らない」は困窮層が最も多くなっています。



## (5) 家庭の就労等について

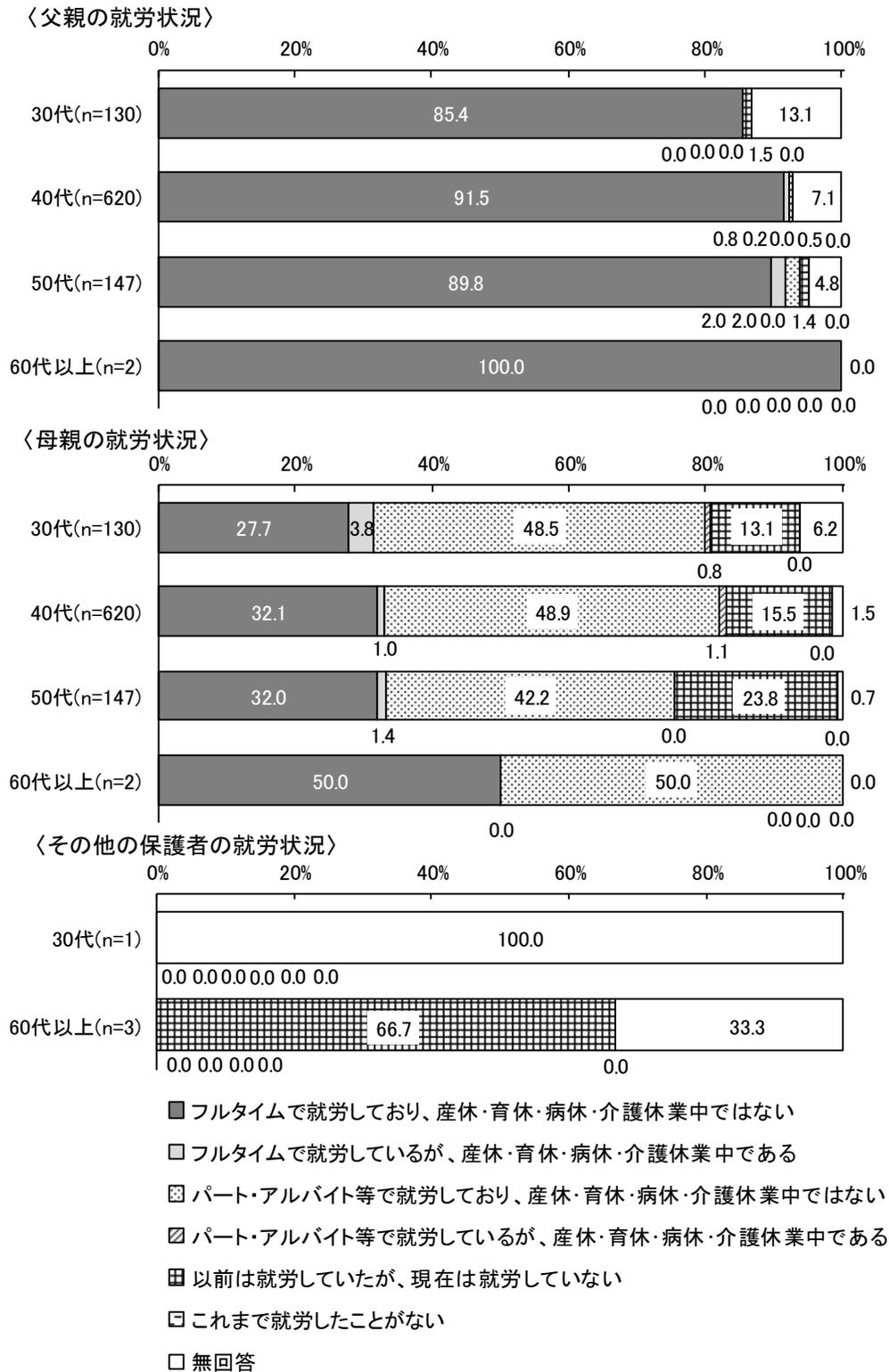
問 21 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（ひとり親家庭の場合にご本人のみの記入をお願いします。）

父親はフルタイムで就業（休業中ではない）が 90.3%で最も多く、母親はパート・アルバイト等で就業（休業中ではない）が 47.7%で最も多くなっています。



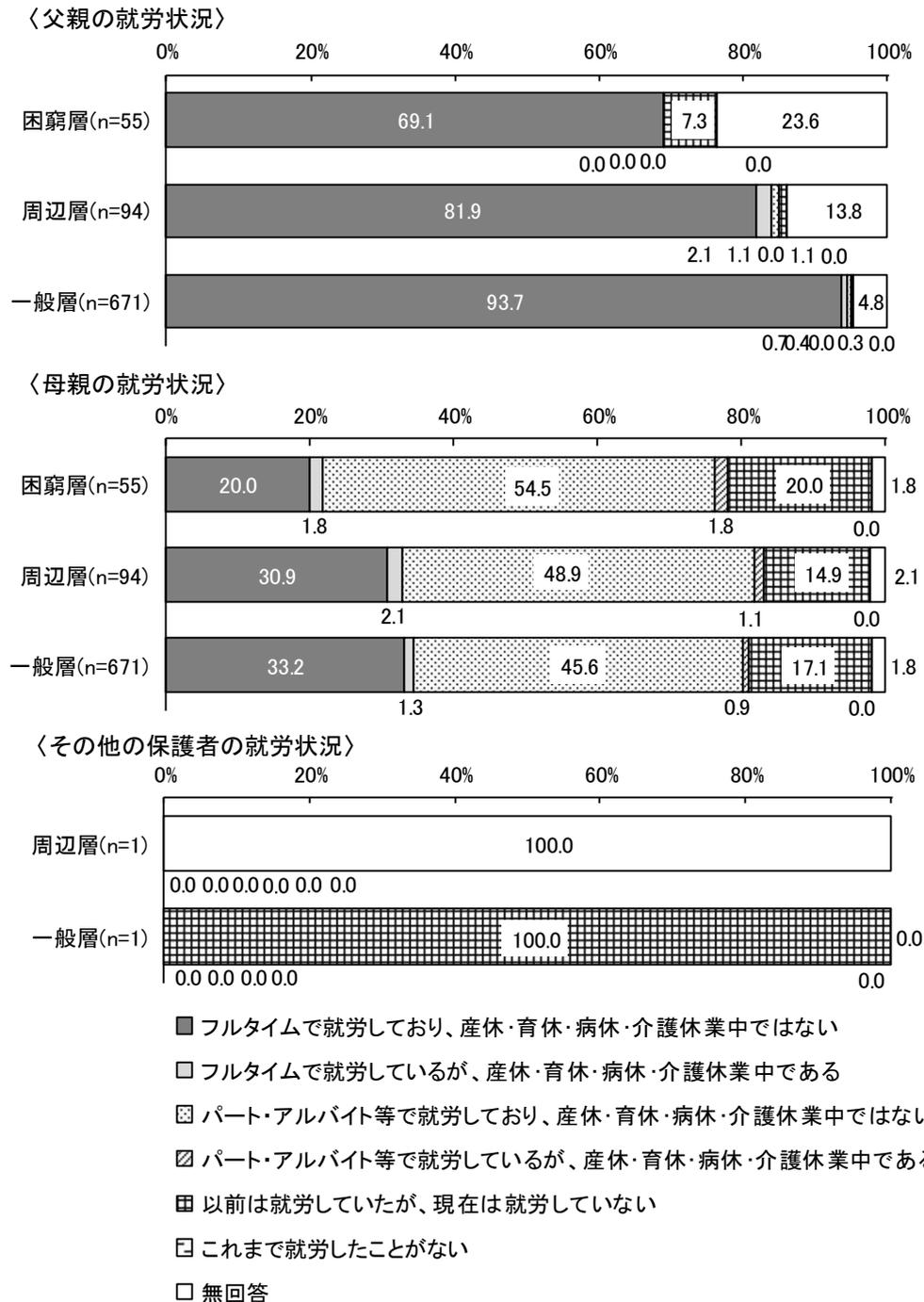
【年齢別】

年齢別にみると、「父親」ではいずれもフルタイムで就業（休業中ではない）が多くなっています。「母親」ではいずれもパート・アルバイト等で就業（休業中ではない）が多くなっていますが、50代では「以前は就労していたが、現在就労していない」が多くなっています。



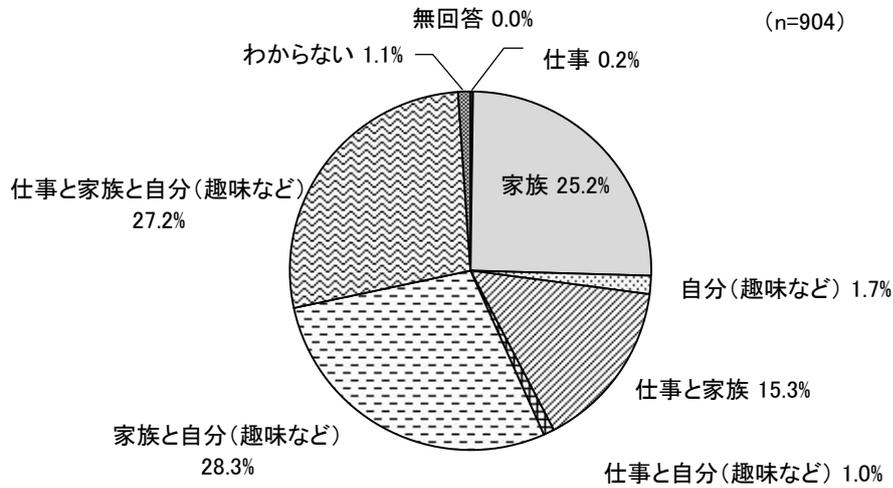
## 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、「父親」、「母親」ともにフルタイムで就業（休業中ではない）は一般層が最も多く、次いで周辺層、困窮層が多くなっています。



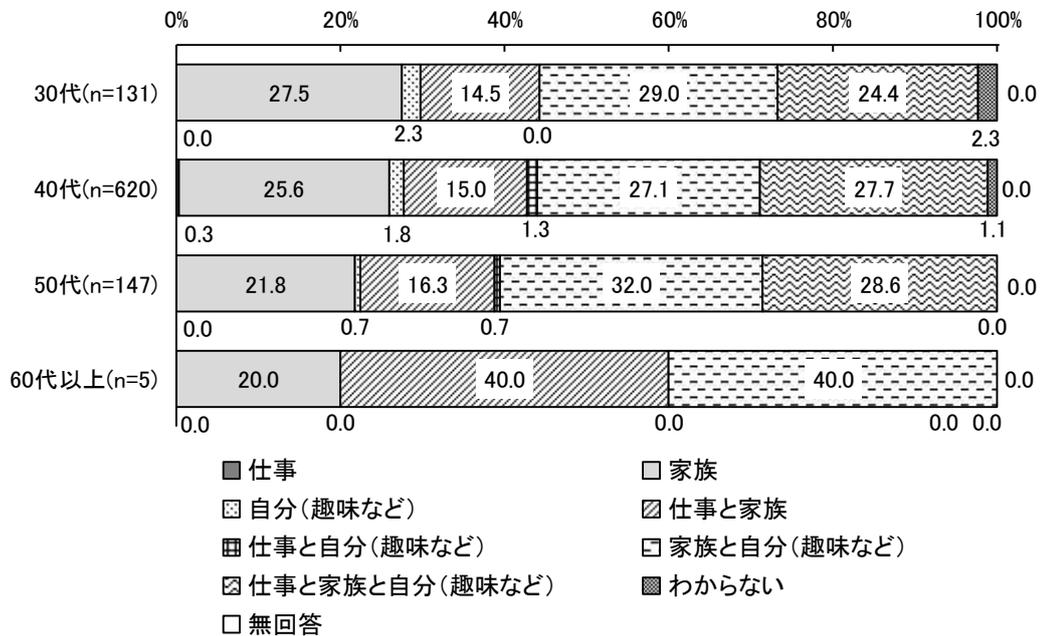
問 22 あなたは生活の中で何を優先したいですか。あなたの希望に最も近いものを選んでください。

「家族と自分（趣味など）」が 28.3% で最も多く、次いで「仕事と家族と自分（趣味など）」が 27.2%、「家族」が 25.2% となっています。



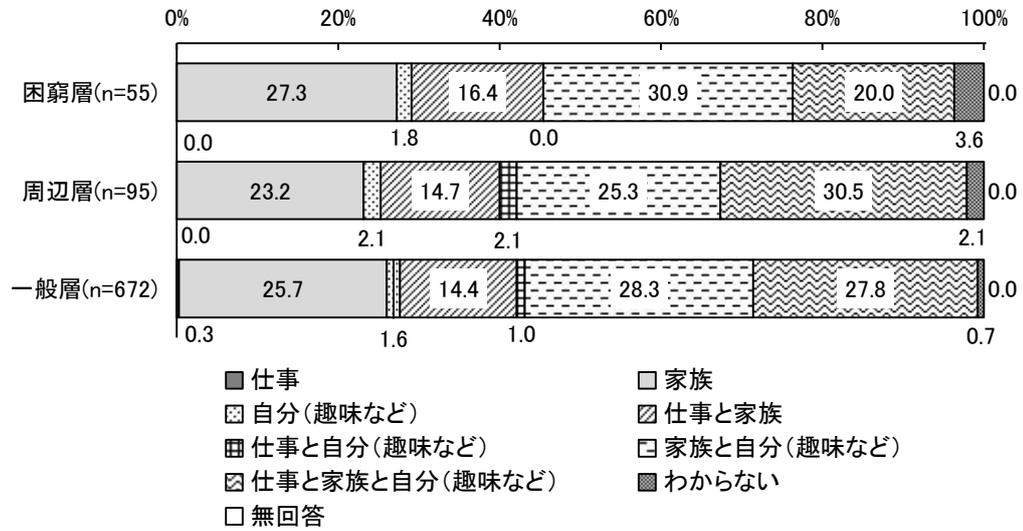
### 【年齢別】

年齢別にみると、30代と50代で「家族と自分（趣味など）」、40代で「仕事と家族と自分（趣味など）」が最も多くなっています。年齢が上がるに従い、「家族」は減少し、「家族と自分（趣味など）」、「仕事と家族」などが増加していきます。



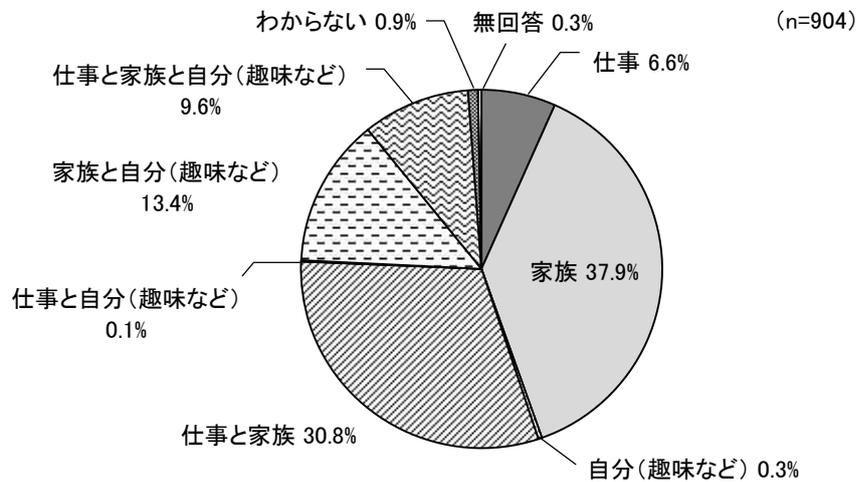
### 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困窮層、一般層では「家族と自分（趣味など）」が最も多く、周辺層では「仕事と家族と自分（趣味など）」が最も多くなっています。



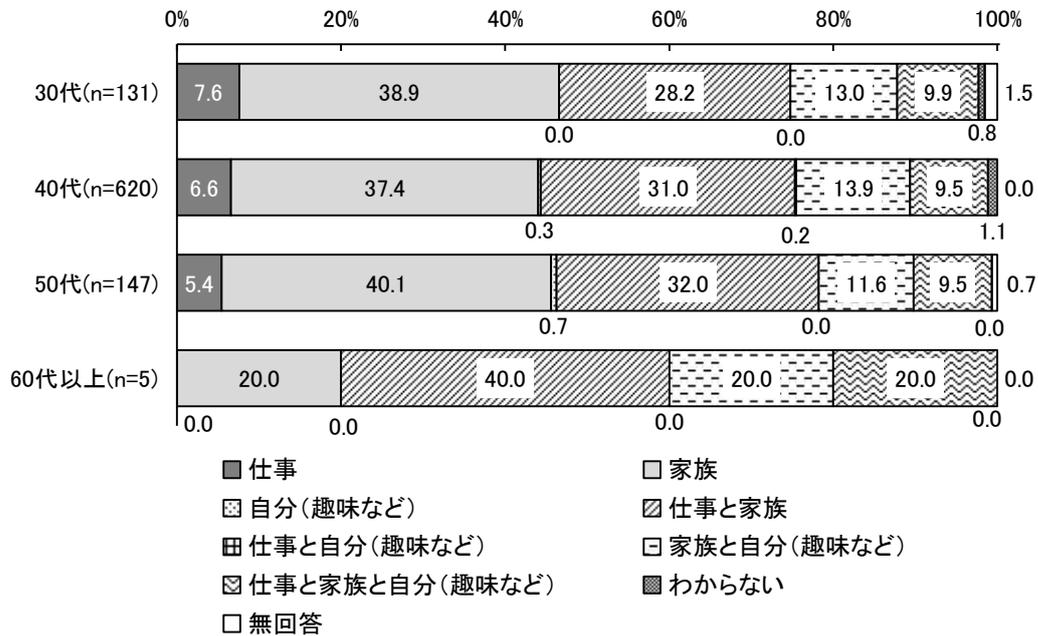
問 23 あなたは生活の中で何を優先していますか。あなたの現実に最も近いものを選んでください。

「家族」が37.9%で最も多く、次いで「仕事と家族」が30.8%、「家族と自分（趣味など）」が13.4%となっています。現実では自分を優先できている人は少なくなっています。



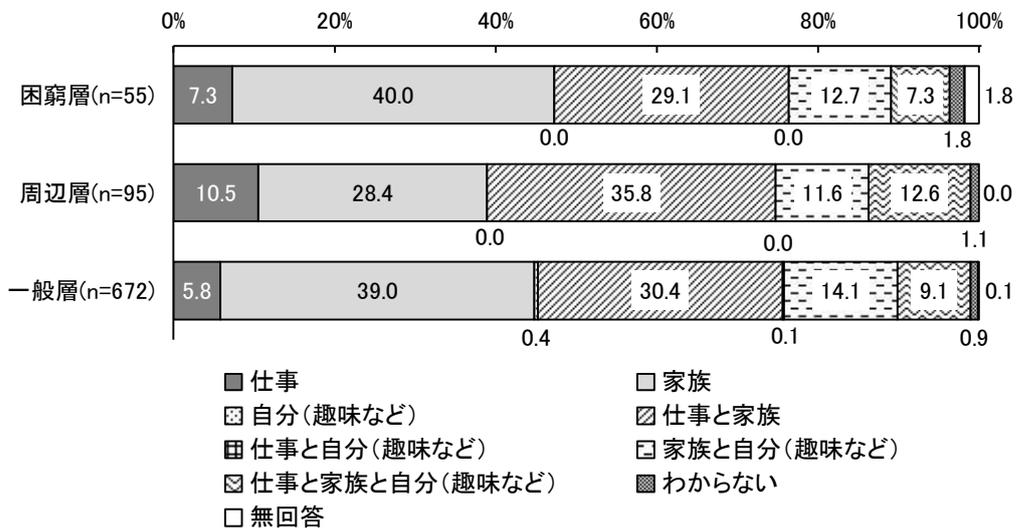
### 【年齢別】

年齢別にみると、30～50代で「家族」が最も多く、次いで「仕事と家族」、「家族と自分（趣味など）」となっています。



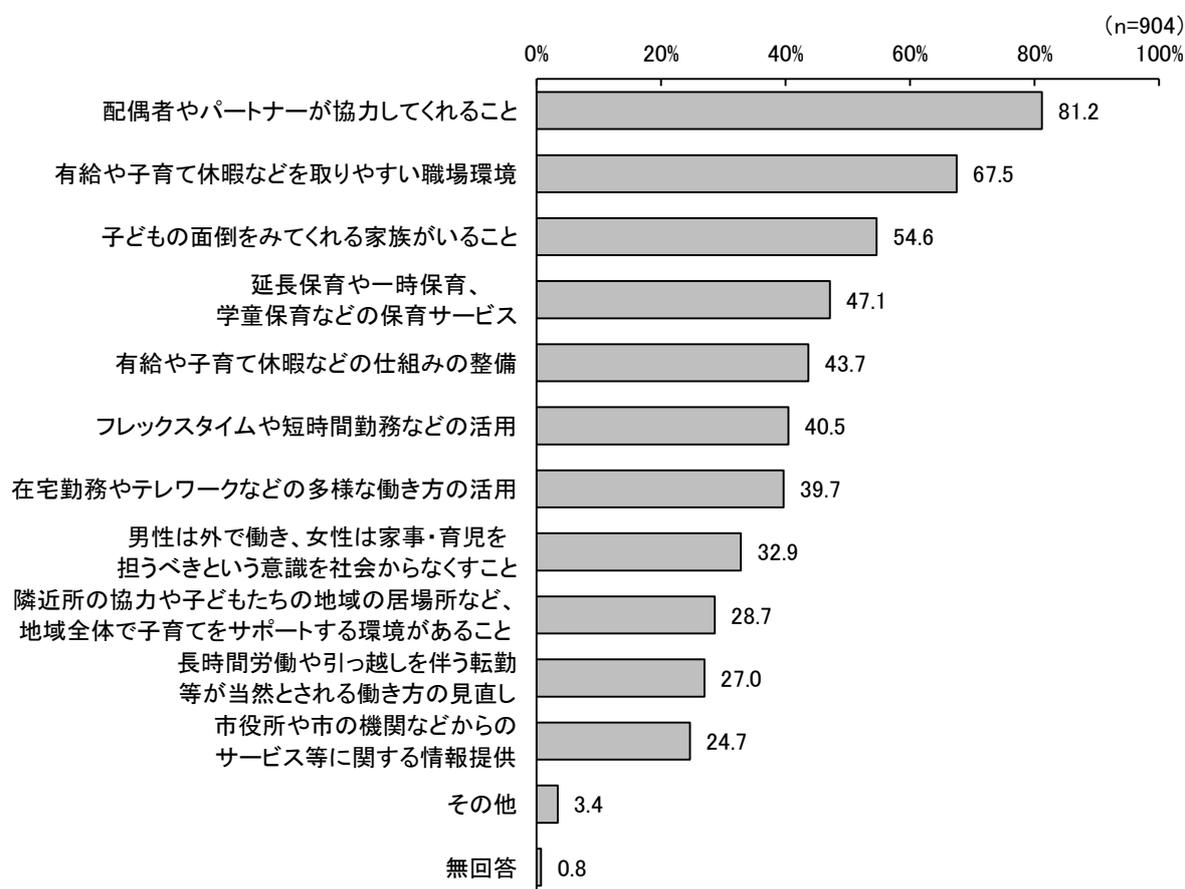
### 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困窮層、一般層では「家族」が最も多く、周辺層では「仕事と家族」が最も多くなっています。



問 24 仕事と子育てを両立する上で必要なことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

「配偶者やパートナーが協力してくれること」が81.2%で最も多く、次いで「有給や子育て休暇などを取りやすい職場環境」が67.5%、「子どもの面倒をみてくれる家族がいること」が54.6%となっています。



### 【年齢・生活困難度別】

年齢別にみると、いずれも「配偶者やパートナーが協力してくれること」が最も多くなっています。次いで30～50代では「有給や子育て休暇などを取りやすい職場環境」、「子どもの面倒をみってくれる家族がいること」が多くなっています。

生活困難度別にみると、いずれも「配偶者やパートナーが協力してくれること」が最も多く、次いで「有給や子育て休暇などを取りやすい職場環境」、「子どもの面倒をみってくれる家族がいること」となっています。

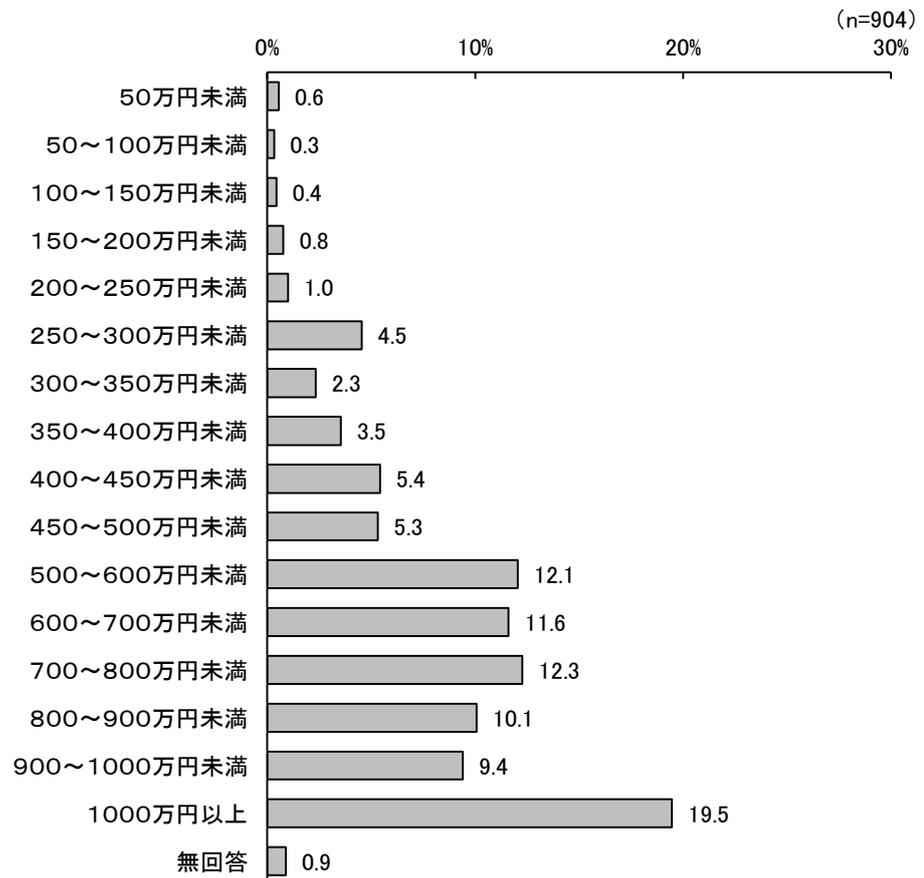
単位：％

	(n=)	延長保育や一時保育 学童保育などの保育サービス	配偶者やパートナーが協力してくれること	子どもの面倒をみってくれる家族がいること	有給や子育て休暇などの仕組みの整備	有給や子育て休暇などを取りやすい職場環境	在宅勤務やテレワークなどの多様な働き方の活用	フレックスタイムや短時間勤務などの活用	隣近所の協力や子どもたちの地域の居場所など、地域全体で子育てをサポートする環境があること	市役所や市の機関などからのサービス等に関する情報提供	男性は外で働き 女性は家事 育児を担うきょう意識を社会からなくすこと	長時間労働や引越しを伴う転勤等が当然とされる働き方の見直し	その他	無回答
30代	131	42.7	78.6	55.7	46.6	66.4	34.4	34.4	22.9	22.9	33.6	22.1	3.1	0.8
40代	620	49.0	82.1	56.6	45.2	70.0	41.3	40.6	30.6	24.7	33.1	27.7	3.7	0.6
50代	147	42.9	81.0	46.9	36.1	59.9	38.8	45.6	25.9	25.9	32.0	28.6	2.0	1.4
60代以上	5	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0
困窮層	55	30.9	63.6	54.5	43.6	61.8	21.8	20.0	20.0	23.6	27.3	21.8	10.9	1.8
周辺層	95	38.9	74.7	55.8	34.7	65.3	29.5	35.8	25.3	24.2	35.8	25.3	6.3	2.1
一般層	672	49.4	84.4	54.9	45.7	68.6	42.6	43.5	29.3	25.3	34.2	28.1	2.1	0.4

## (6) 現在の暮らしについて

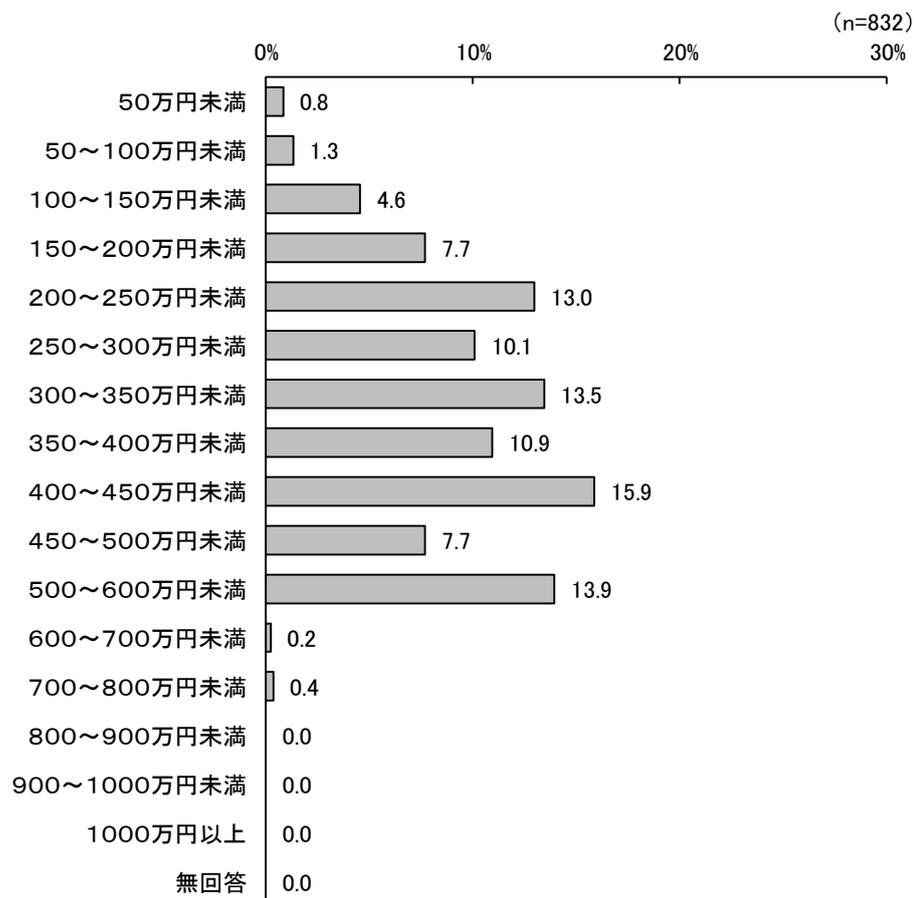
問 25 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。

「1000万円以上」が19.5%で最も多く、次いで「700～800万円未満」が12.3%、「500～600万円未満」が12.1%、「600～700万円未満」が11.6%、「800～900万円未満」が10.1%、「900～1000万円未満」が9.4%となっています。



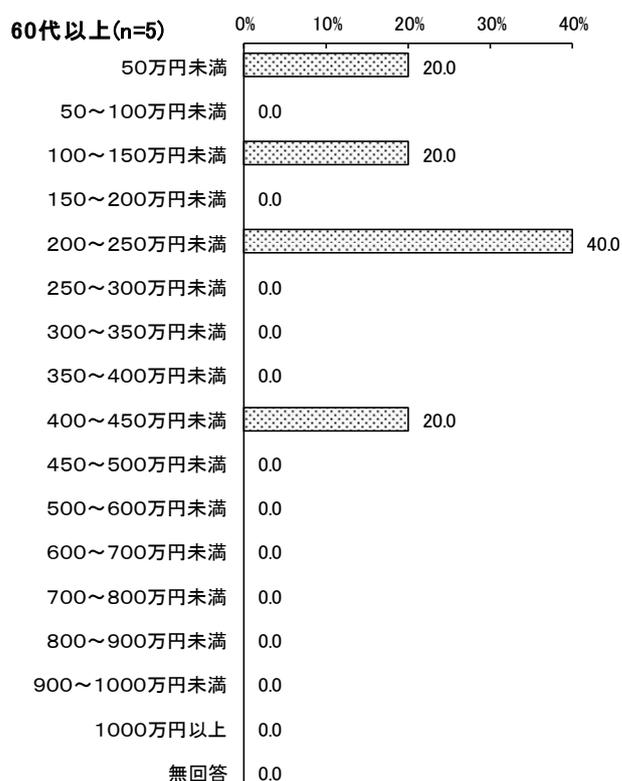
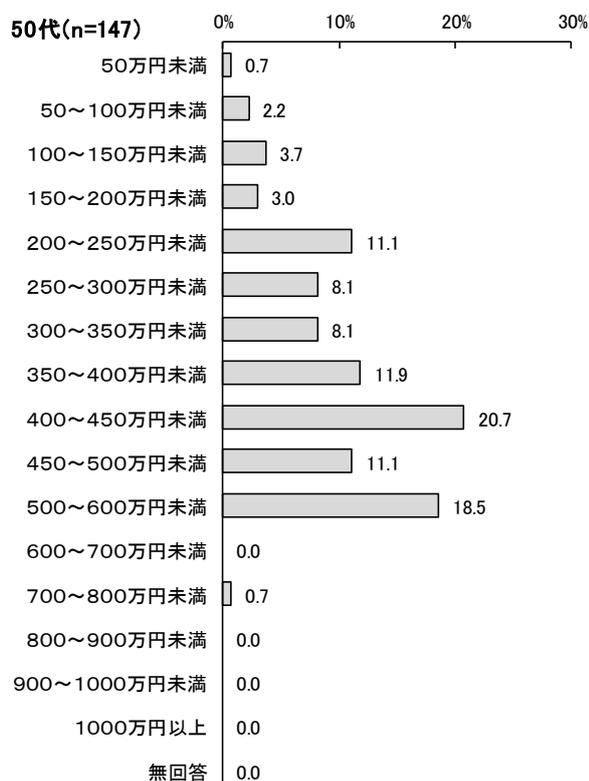
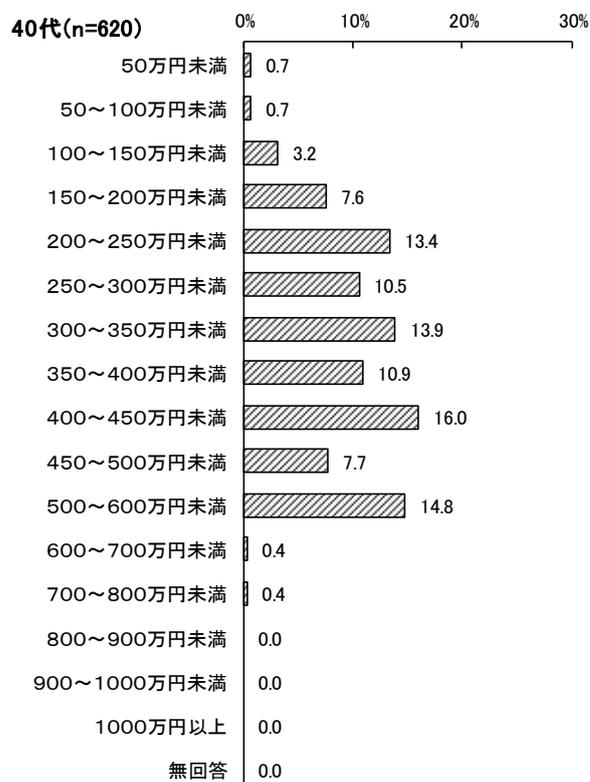
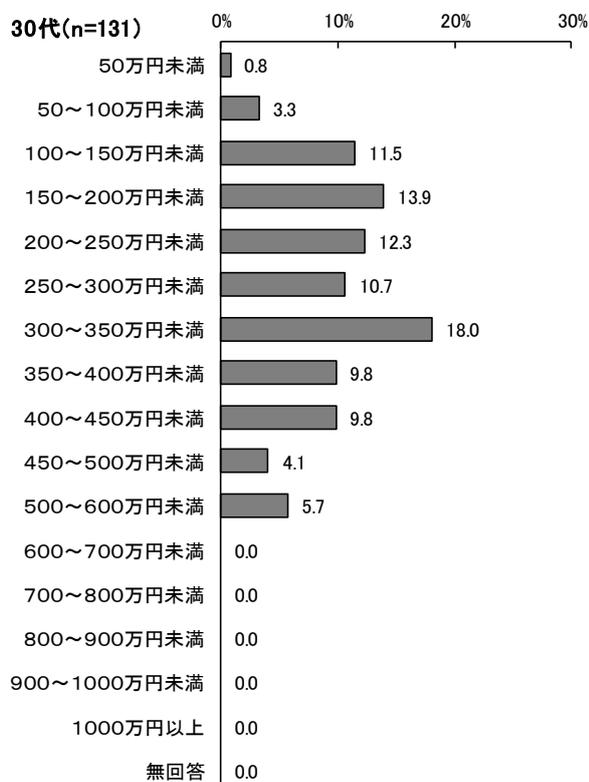
### 【等価世帯所得】の分析結果

等価世帯所得とは世帯全体の収入を世帯全体の人数の平方根（ $\sqrt{\text{世帯人員数}}$ ）で割ることで算出される値です。算出に用いた値について、世帯全体の収入は問25の回答の中央値とし、「250万円～300万円未満」では275万円、「50万円未満」では50万円、「1000万円以上」では1000万円を用いています。世帯人員数は問5の回答から算出しています。問25及び問5の回答がない場合は、算出不能のため、対象外となっています。



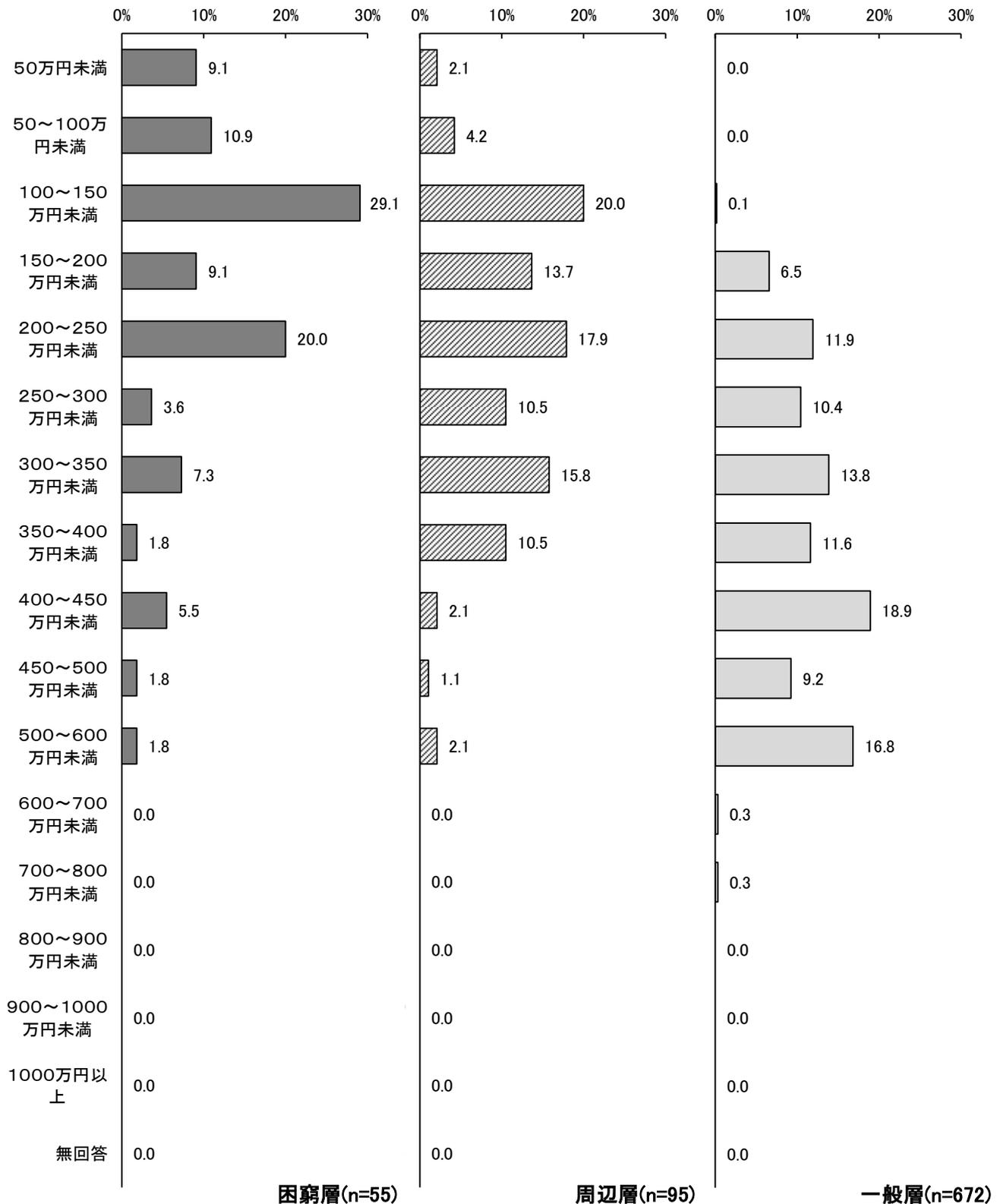
## 【年齢別】

年齢別にみると、30代は「300～350万円未満」が最も多く、次いで「150～200万円未満」、「200～250万円未満」となっています。40代は「400～450万円未満」が最も多く、次いで「500～600万円未満」、「300～350万円未満」となっています。50代は「400～450万円未満」が最も多く、次いで「500～600万円未満」、「350～400万円未満」となっています。



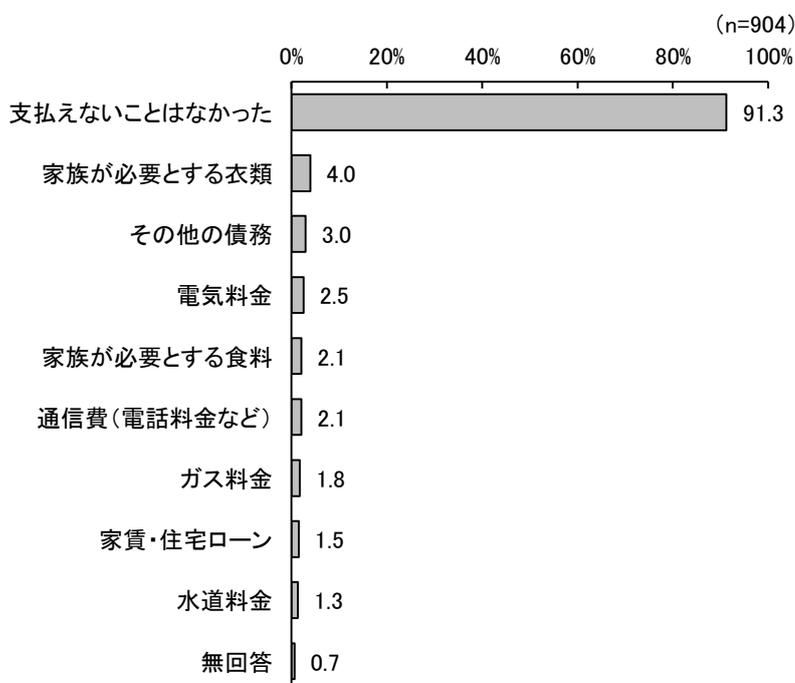
### 【生活困難度別】

生活困難度別にみると、困窮層は「100～150万円未満」が最も多く、250万円未満が8割弱を占めています。周辺層は「100～150万円未満」が最も多く、250万円未満は6割弱を占めています。一般層は「400万円～450万円未満」が最も多く、250万円未満は2割弱を占めています。



問 26 過去1年間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料、衣類を買えないことがありましたか。また、次の料金を支払えないことがありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

「支払えないことはなかった」が 91.3%で最も多く、次いで「家族が必要とする衣類」が 4.0%、「その他の債務」が 3.0%、「電気料金」が 2.5%、「家族が必要とする食料」が 2.1%、「通信費（電話料金など）」が 2.1%となっています。



### 【年齢・生活困難度別】

年齢別にみると、いずれも「支払えなかったことはなかった」が一番多くなっています。40、50代の「支払えなかったことはなかった」の割合は9割を超えています。30代では8割弱となっています。また支払いができない項目では「家族が必要とする衣類」が多くなっています。

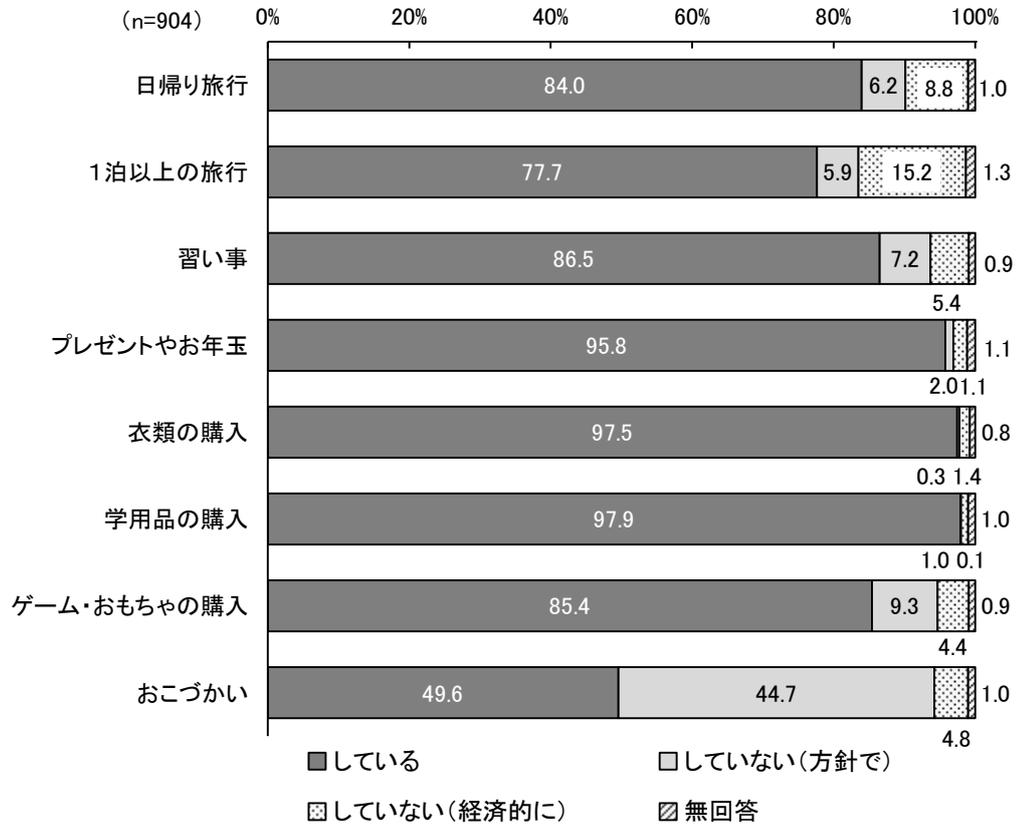
生活困難度別にみると、周辺層、一般層で「支払えなかったことはなかった」が最も多くなっている一方で、困窮層では14.5%となっています。困窮層では「家族が必要とする衣類」が最も多く、次いで「電気料金」、「その他の債務」となっています。

単位: %

	(n=)	家族が必要とする食料	家族が必要とする衣類	通信費 電話料金など	電気料金	ガス料金	水道料金	家賃 住宅ローン	その他の債務	支払えなかった	無回答
30代	131	6.1	9.9	3.8	5.3	5.3	3.8	6.1	3.1	78.6	2.3
40代	620	1.3	3.4	1.8	2.3	1.1	0.8	0.8	3.2	92.9	1.0
50代	147	2.0	1.4	2.0	1.4	1.4	1.4	0.7	1.4	95.9	0.0
60代以上	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0
困窮層	55	27.3	45.5	27.3	30.9	18.2	14.5	16.4	29.1	14.5	0.0
周辺層	95	4.2	10.5	3.2	5.3	5.3	3.2	4.2	9.5	75.8	0.0
一般層	672	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問 27 あなたの家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

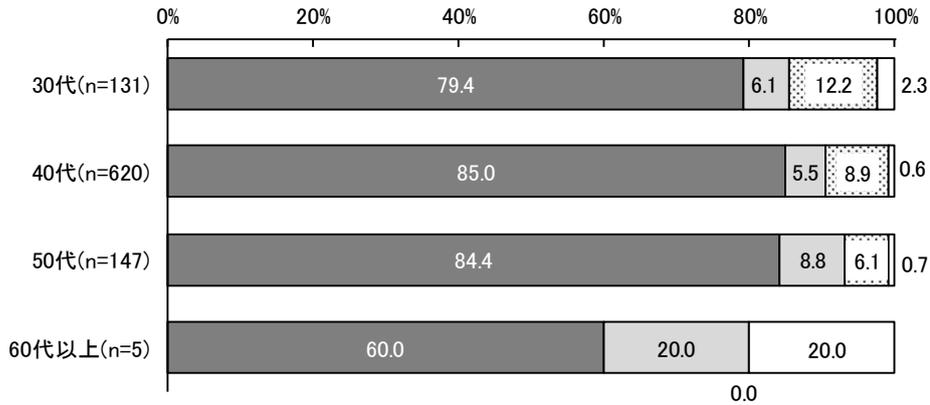
「している」は「学用品の購入」97.9%が最も多く、次いで「衣類の購入」、「プレゼントやお年玉」が多くなっています。「1泊以上の旅行」、「おこづかい」を除き、8割以上となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、「1泊以上の旅行」、「習い事」の「している」で30代は40、50代よりも少なくなっています。30～50代の「ゲーム・おもちゃの購入」で50代は30代よりも「している」が少なくなっていますが、「おこづかい」では30代よりも多くなっています。

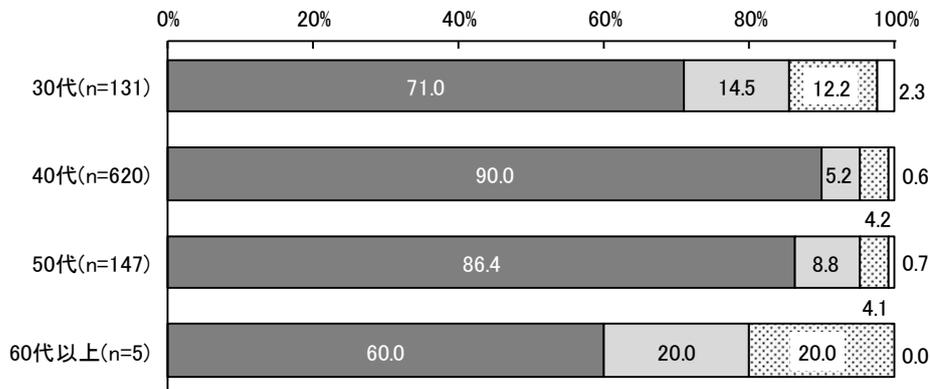
〈日帰り旅行〉



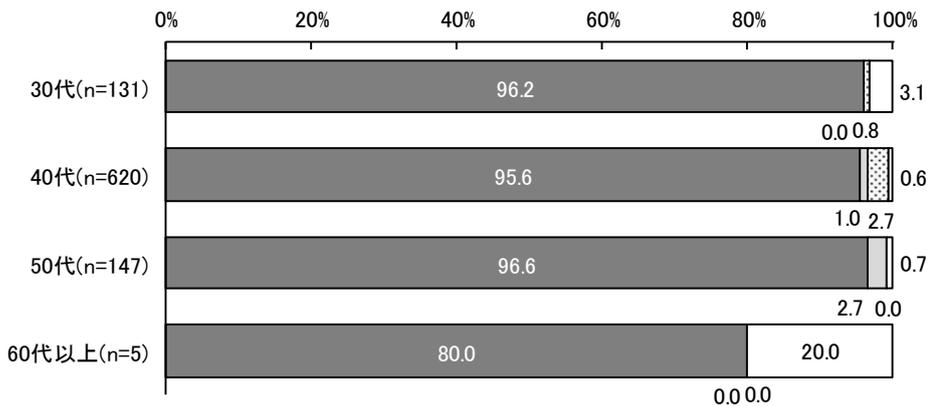
〈1泊以上の旅行〉



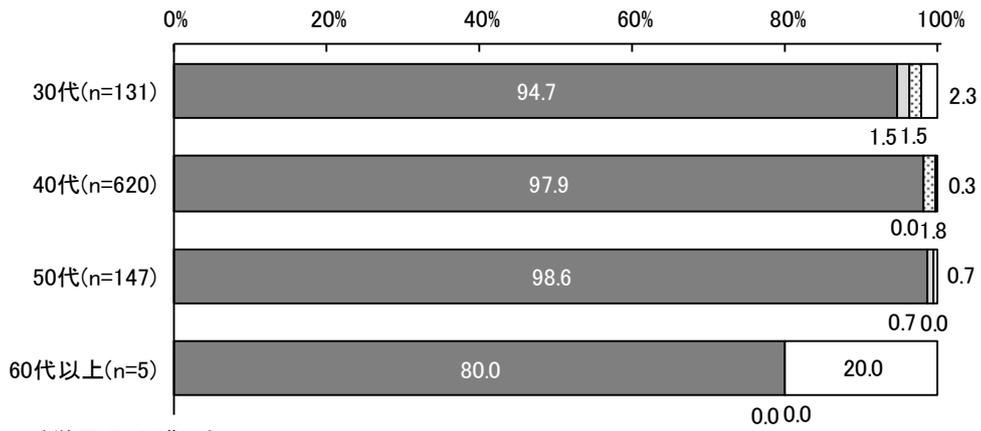
〈習い事〉



〈プレゼントやお年玉〉



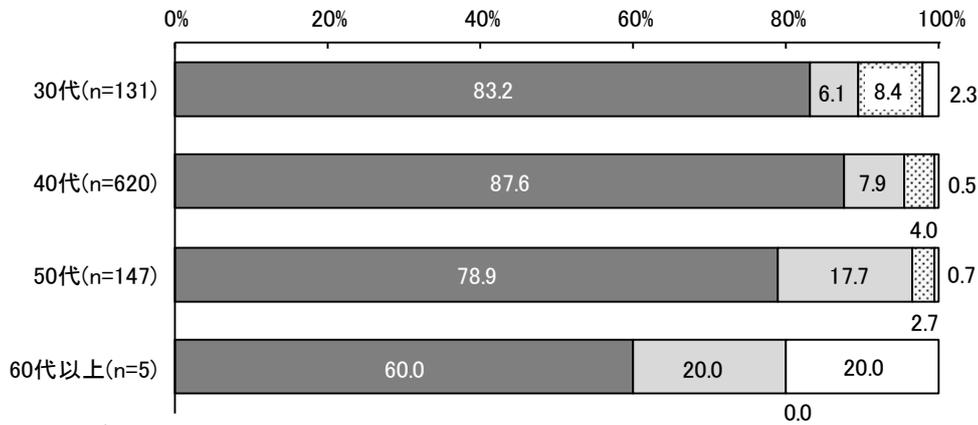
〈衣類の購入〉



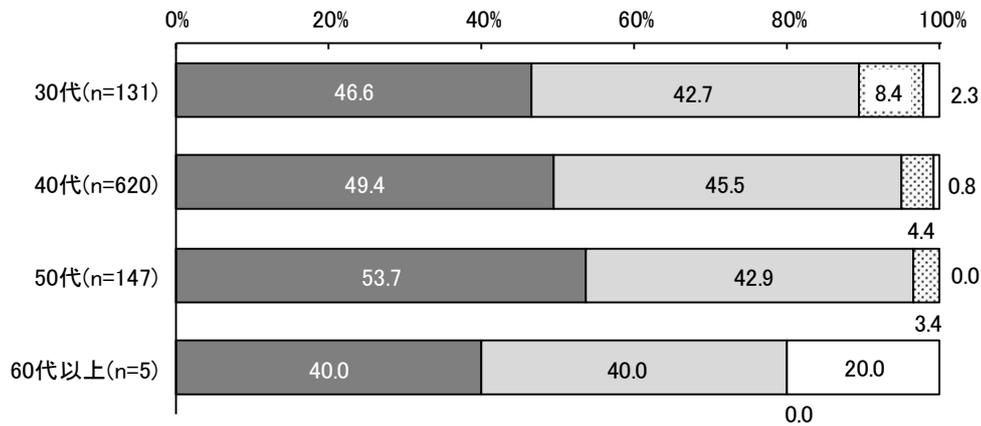
〈学用品の購入〉



〈ゲーム・おもちゃの購入〉



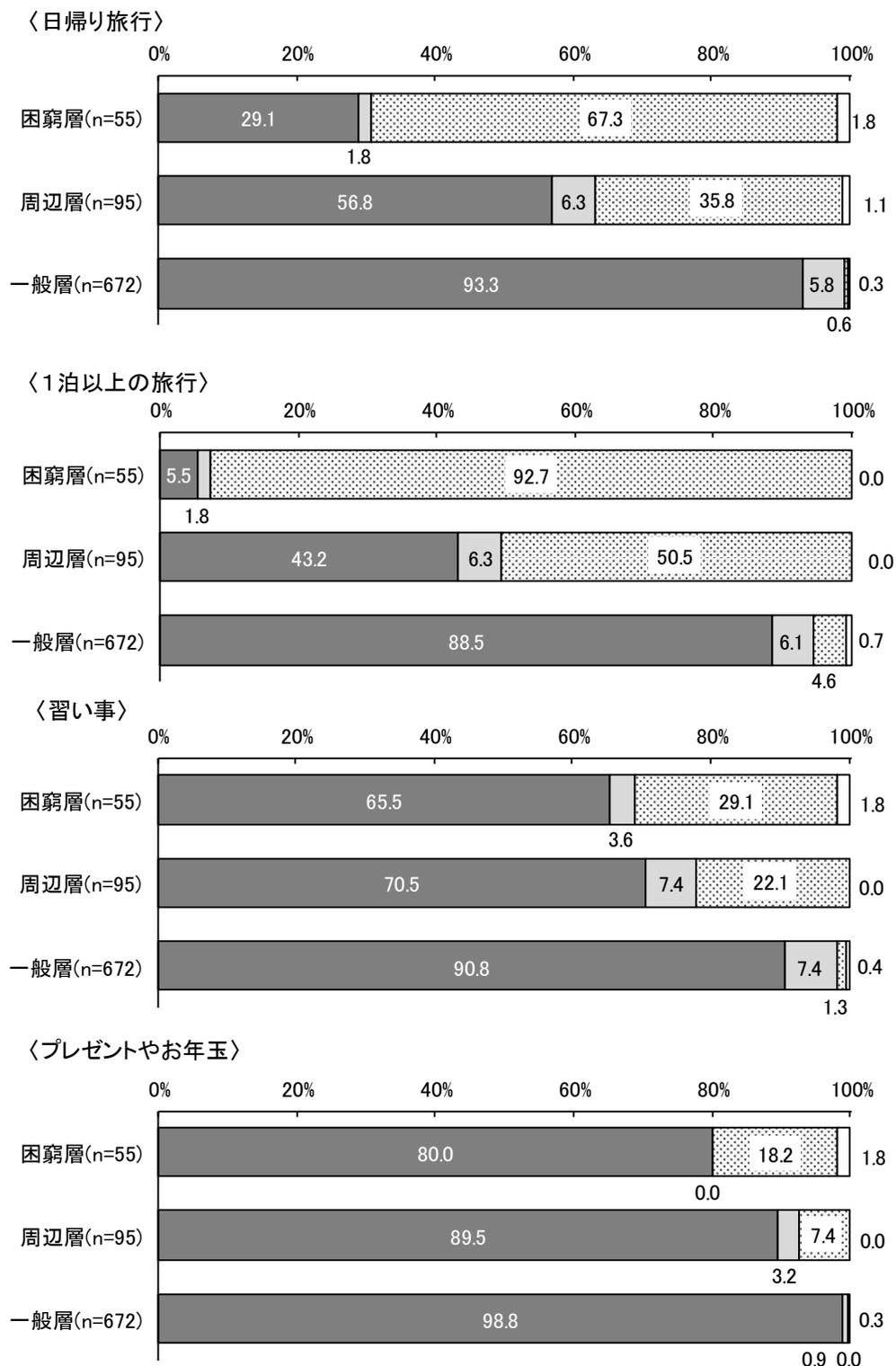
〈おこづかい〉



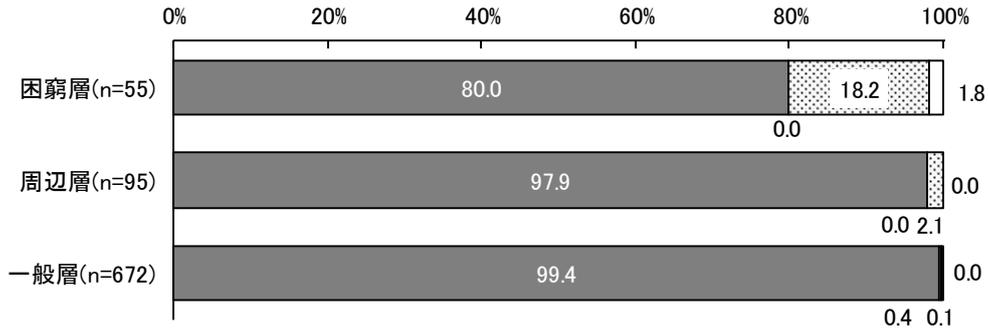
■ している □ していない(方針で) ▨ していない(経済的に) □ 無回答

## 【生活困難度別】

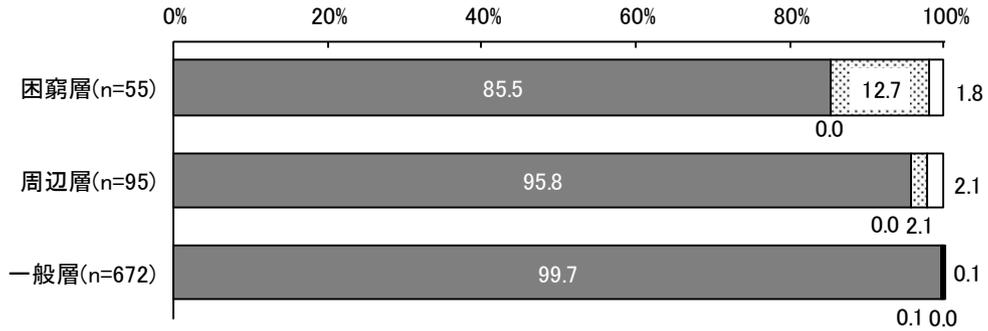
生活困難度別にみると、「おこづかい」を除き、「している」は一般層が最も多く、次いで周辺層、困窮層となっています。「おこづかい」では「している」は周辺層が最も多く、次いで一般層、困窮層となっています。



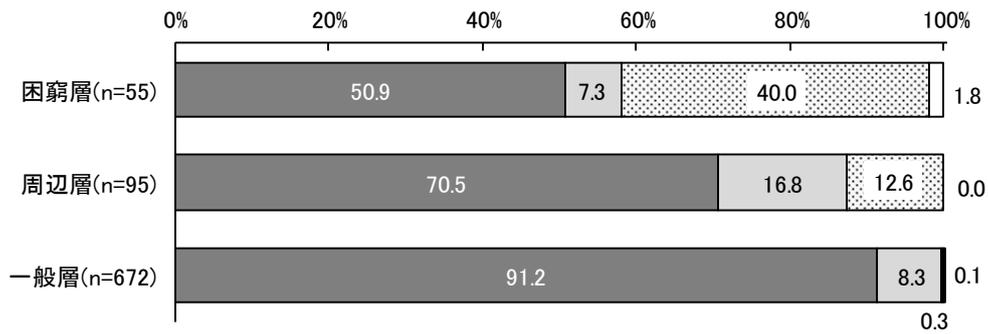
〈衣類の購入〉



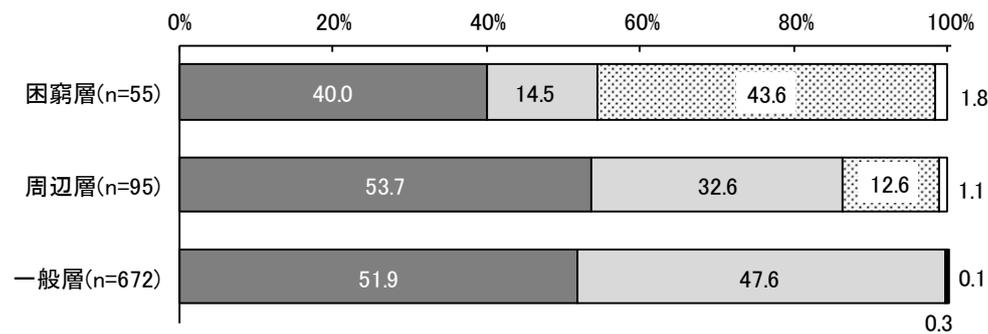
〈学用品の購入〉



〈ゲーム・おもちゃの購入〉



〈おこづかい〉

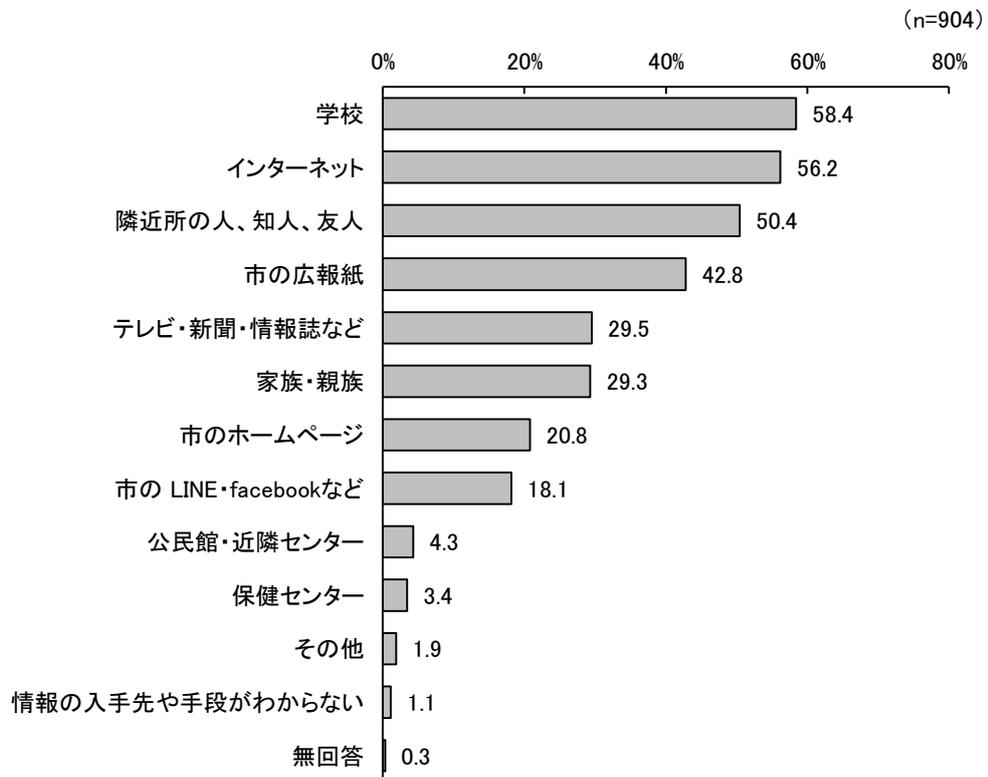


■ している □ していない(方針で) ▨ していない(経済的に) □ 無回答

## (7) 子育てに関する情報や相談などについて

問 28 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

「学校」が 58.4%で最も多く、次いで「インターネット」が 56.2%、「隣近所の人、知人、友人」が 50.4%となっています。



### 【年齢・生活困難度別】

年齢別にみると、40代以上で「学校」が最も多く、30代では「インターネット」が最も多くなっています。「インターネット」は40代では2番目に多く、50代では「隣近所の人、知人、友人」に次いで、3番目に多くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「学校」が最も多く、次いで「インターネット」となっています。周辺層では「インターネット」が最も多く、次いで「学校」となっています。困窮層では「学校」が最も多く、次いで「隣近所の人、知人、友人」となっています。

単位: %

	(n=)	市の広報紙	市のホームページ	市のLINE facebook など	インターネット	テレビ・新聞・情報誌など	家族・親族	友人	隣近所の人 知人	学校	公民館 近隣センター	保健センター	その他	情報の入手先や手段がわからない	無回答
30代	131	26.0	14.5	16.0	60.3	22.9	33.6	37.4	46.6	4.6	5.3	5.3	0.8	2.3	
40代	620	44.2	22.3	19.5	56.0	29.5	30.2	52.6	60.6	4.4	3.2	1.3	1.3	0.0	
50代	147	52.4	19.0	13.6	53.1	34.7	21.8	53.7	59.2	4.1	2.0	1.4	0.0	0.0	
60代以上	5	20.0	40.0	20.0	60.0	40.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
困窮層	55	25.5	16.4	12.7	29.1	12.7	20.0	45.5	52.7	7.3	0.0	3.6	7.3	0.0	
周辺層	95	40.0	22.1	13.7	56.8	31.6	30.5	47.4	55.8	3.2	3.2	2.1	1.1	0.0	
一般層	672	45.2	21.3	19.6	58.6	30.8	30.2	51.5	59.7	4.5	4.2	1.6	0.6	0.1	

問 29 最後に、子どもについてや、子育て支援・教育に関するご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

子どもや我孫子市の子育て支援・教育に関しての意見を、自由記入方式でたずねました。215人（全体の23.8%）の回答者から計318件の意見があり、その内容を項目別にまとめると、以下のようになります。意見については、延べ件数でまとめています。

大分類	小分類	回答件数	順位
(1) 幼稚園・保育園・認定こども園等について	①施設整備(保育園の増設、待機児童の解消等)	0	43
	②受け入れの充実(時間外、長期休暇等)	2	27
	③保育料の見直し	0	43
	④入園条件の見直し	0	43
	⑤保育内容の充実	0	43
	⑥人員体制の充実	0	43
	⑦その他	1	35
(2) 小学校について	①教育内容の充実と見直し	21	7
	②登下校時の安全確保	2	27
	③校舎、設備の改修	2	27
	④いじめ	0	43
	⑤給食、給食費	7	12
	⑥PTA、学校と保護者の関わり	7	12
	⑦不登校	9	10
	⑧その他	25	4
(3) 中学校について	①教育内容の充実と見直し	22	6
	②登下校時の安全確保	2	27
	③校舎、設備の改修	2	27
	④いじめ	0	43
	⑤給食、給食費	7	12
	⑥PTA、学校と保護者の関わり	7	12
	⑦不登校	9	10
	⑧その他	27	3
(4) 学童保育室について	①施設整備(保育室の増設、待機児童の解消等)	4	18
	②受け入れの充実(時間外、長期休暇等)	1	35
	③利用料の見直し	0	43
	④利用条件の見直し	3	22
	⑤保育内容、活動内容の充実	0	43
	⑥人員体制の充実	1	35
	⑦その他	1	35

(5)あびっ子クラブについて	あびっ子クラブについて	3	22
(6)高校、高等教育について	高校、高等教育について	1	35
(7)子育て支援全般について	①情報発信	2	27
	②相談先の充実	3	22
	③母子保健(健診等)	0	43
	④子育て支援施設	0	43
	⑤一時預かり事業	1	35
	⑥病児・病後児保育事業	1	35
	⑦経済的支援(医療費助成、児童手当等)	33	1
	⑧ひとり親支援	0	43
	⑨障害児支援	1	35
	⑩学習支援	4	18
	⑪その他	2	27
(8)子育て環境について	①公園の整備	10	9
	②子どもの居場所(公共施設等)の充実	14	8
	③運動施設(プール、サッカー場等)の充実	6	16
	④交通手段	0	43
	⑤歩道の整備	0	43
	⑥安全対策(防犯等)	3	22
	⑦商業施設等	0	43
	⑧医療機関の充実	3	22
	⑨地域のつながり	2	27
	⑩イベントの充実	4	18
	⑪その他	4	18
(9)その他	①市政について	25	4
	②アンケートについて	5	17
	③その他	29	2

その内、多くの意見が見られた項目について、主な意見を抜粋して掲載します。

(件)

(7)－⑦経済的支援(医療費助成、児童手当等)	33
<p>・学校に関わる教材、制服、ジャージ全ての物は無料にして頂きたいです、学校の集金、必要なものなど購入が困難です。</p> <p>・非課税世帯やひとり親等ばかりに支援金を支給するのではなく多子世帯（4人以上）への支援を手厚くして頂きたい。支援金も欲しい。多子世帯は決して裕福な家ではなく生活は火の車で貧乏です。税金をきちんと払っていて将来の担い手が沢山いるのに手当も無く口には出しませんが事実生活が困ってます。学校の支払いもまともに出来てません。早急なお願いです！多子世帯は税金支払いを均等割にしたり中学までは学校に関する支払いは免除したり現金を支給したりしてほしいです。</p> <p>・子育ての時期において1番経済的に厳しくなるのは、子どもが高校特に私立、大学生になった時です。現在は物価も高く、社会保険料も上がる一方で手取り収入の増加が期待できません。</p>	
(3)－⑧その他	27
<p>・先生の人数を増やしてもう少し余裕のある教育ができれば良いと思う。</p> <p>・学校間の格差を感じる 学校の特色と言ったらそれまでだが、公立なので均質にしてほしい</p> <p>・あと思春期の子供に対し、消臭スプレーや制汗剤などを禁止している学校がありますが、においによるいじめや子供の自尊心に影響がある可能性もあるため、そのようなことは撤回してもらいたいと思います。そのようなことは市としてなくしていけるように努めていただければと思います。昔の価値観だと思いますため、現代に合わせていただければと思います。</p>	
(2)－⑧その他	25
<p>・ここ数年、教師の体調不良等で先生の数に足りずに、教頭先生や他の専門家目の先生が担任を務める事態が起きています。</p> <p>・小学校の卒業式の華やかな服装の廃止 特に女の子の袴。着せられない家庭や子供もいることへの配慮が我孫子市は全くない。1人で脱ぎ履きできないような心配を伴う服装は着るべきでない。早く廃止にしてください。 中学校の制服やジャージなどの価格見直し。デザインやジャージ、カバンのデザイン見直しばかりでなく価格をもっとリーズナブルにしてほしい。リサイクルを学校でもっと推奨する活動をしてほしい。図書館のように放課後や試験前に自由に静かな環境で勉強できる場所を学校内に作って欲しい。</p>	